Pioneer

コードレス留守番

システム名

TF–EV550D/EV553D/EV554D

ティーエフ イー ブイ ディー イー ブイ ディー イー ブイ ディー

取扱説明書

（保証書付）

このたびは、パイオニアのコードレス留守番電話機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。

お買い上げ時、本機は固定電話から携帯電話へのおトクな通話サービス（0033モバイル）をそのままご利用いただけるように携帯通話プリセット機能が設定されています。「ひかり電話」、構内交換機（PBX）などをご利用の場合は、電話をかけられない場合がありますので、設定を解除してください。
（くわしくは、24ページをご覧ください。）

ND ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ

NTTへのサービス申し込みが必要です。（有料）
お買い上げ時、本機はナンバー・ディスプレイが設定されています。（76ページ）

お客様相談室 本製品のお問い合わせ窓口

東日本地区：TEL. 所沢 04-2949-5131

西日本地区：TEL. 大阪 06-6533-0099

専用FAX：所沢 04-2949-5501

●電話番号をよくご確認の上、市外局番より、お間違えのないようおかけください。
●名称、所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

当社はJBRC会員です。

Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

お使いになる前に
準備
電話機能
ホームテレホン
留守番機能
電話帳
ナンバー・ディスプレイ
ドアホン
携帯通話プリセット
お好みで変える
必要なときは
困ったときは

目　次

機能名称から探すときは、「さくいん」が便利です。（154ページ）

ナンバー・ディスプレイ

ドアホン

携帯通話プリセット機能

お好みで変える（音質・音量など）

必要なときは

困ったときは

安全上のご注意——必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で案内しています。その表示と意味は次のようになっています。

■ 表示内容を無視して誤った取扱をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
⚠警告	死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。

■ 下記の ⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容です。

■ 下記の 🚫 記号は禁止(してはいけないこと)を示しています。

■ 下記の ❗ や 記号は行動を強制したり指示する内容です。

●充電池（ニッケル水素電池）の取扱について

⚠危険

充電池の液もれや、発熱・破裂により、やけどやけがのおそれがありますので、次のことをしないでください。充電するときや、充電池を使用するときは必ず次のことを守ってください。

- 指定以外の充電池を使用しない
- プラス（＋）、マイナス（－）を逆にして使用しない
- 本機の子機専用の充電池として使用し、他の機器には使用しない
- 本機の子機に装着のうえ、専用の充電器で充電し、他の充電器では充電しない
- 火の中に投入したり、加熱したりしない
- 分解・改造・ハンダ付けしない
- プラス（＋）、マイナス（－）を針金等の金属で接続しない
- ふたで充電池コードをはさまない、破損させない

禁止

充電池の“液”が目に入ると危険

失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

次ページへつづく

●充電池（ニッケル水素電池）の取扱について（つづき）

⚠警告

充電池（ニッケル水素電池）のビニールカバーをはがしたり、キズをつけない

禁止

発煙・発火の原因となります。

水や海水につけたり濡らさない

禁止

充電池の発熱やサビの原因となります。

充電池を使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、変色・変形、その他今までと異なることに気が付いたときは、機器から充電池を取り出し、使用を中止する

充電池の“液”が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流す

皮膚に障害をおこすおそれがあります。

⚠注意

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

禁止

充電池の液もれ、発熱・破裂させる原因となることがあります。

充電温度範囲は、5～35℃です。
この温度範囲以外で充電すると、液もれ、発熱、充電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

高温になる場所で使用したり、放置したりしない

禁止

充電池の液もれ、性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

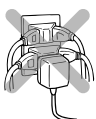
充電池は（乳）幼児の手の届かない所に保管し、（乳）幼児が機器から取り出さないように注意する

●ACアダプターおよび電源プラグの取扱について

⚠警告

タコ足配線はしない、また、ホットカーペットや床暖房の上に置かない

禁止

火災・過熱の原因となります。

濡れた手でACアダプターにさわらない

禁止

感電の原因となります。

●ACアダプターおよび電源プラグの取扱について（つづき）

⚠警告

電源電圧（AC100V）以外では使用しない

禁止

付属以外のACアダプターは使用しない

禁止

雷が鳴り出したら、安全のため、早めにACアダプターおよび電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

火災・感電・故障の原因となります。

ACアダプターおよび電源プラグの刃や周辺に付着したほこりや金属などを取り除く

ACアダプターおよび電源プラグのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたり、束ねたりしない

禁止

万一、コードが傷んだときは（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

熱でコードの被覆が溶ける原因になるので、ACアダプターおよび電源プラグのコードをストーブなどの熱器具に近づけない

禁止

発熱の原因になるので、ACアダプターおよび電源プラグはゆるみのあるコンセントに差し込まない

禁止

コードを傷める原因になるので、ACアダプターおよび電源プラグを抜くときは必ず本体を持って抜く

火災・感電の原因となることがあります。

ACアダプターおよび電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となることがあります。また、ACアダプターおよび電源プラグの刃に触れると感電の原因となることがあります。

なお、壁面にあるコンセントにはACアダプターの上下を逆に差し込まないでください。（逆に差し込むと外れやすくなります。）

ACアダプターおよび電源プラグに付着したほこりなどは、乾いた布で定期的に取り除く

プラグなどにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。

次ページへつづく

●本体の取扱について

⚠警告

ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しない

禁止

家庭用電話機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカー、または工事店にお問い合わせください。

次のような場所や条件で使用しない（本機の電波で、誤作動による事故の原因となることがあります。）

禁止

- 病院内などの使用を禁止された場所
- 医用電気機器に近い場所
  （手術室・集中治療室・CCU※など）
  ※CCU…冠状動脈疾患監視病室
- 自動ドア・火災報知器などの自動制御機器に近い場所
- 心臓ペースメーカーの装着部位から約22cm以内の位置

煙が出たり、変なにおいがするときはACアダプターまたは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐにACアダプターまたは電源プラグをコンセントから抜き、内部などを開けずに煙が出なくなるのを確認して修理窓口または販売店に修理をご依頼ください。
特に電話機が異常に熱くなっている場合は、やけどの危険性がありますので、絶対に触らないでください。お客様による修理、確認などは危険ですので絶対におやめください。

電源コードは、壁や柱などに固定しない

禁止

固定すると、被覆や芯線を傷つけてしまい、火災の原因となります。

分解・改造しない
（改造は法律により禁止されています。）

分解禁止

開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない

禁止

万一、入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

風呂やシャワー室では使用しない

水場での使用禁止

本機の上や近くに水などの入った容器や小さな金属物を置かない、水をこぼさない、小さな金属を中に入れない

禁止

水などで濡らさない

禁止

万一、内部に水などが入ったときはACアダプターまたは電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

火災・感電・故障の原因となります。

安全上のご注意

⚠注意

■次のような場所に設置しない

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

火災・感電・故障の原因となることがあります。

禁止

- 直射日光の当たるところ
- ホットカーペットや床暖房の上

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

禁止

極端に寒いところや暑いところ、急激な温度変化のあるところ

故障の原因となることがあります。

禁止

不安定な場所や振動の多いところ

落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。

禁止

■その他

受話器の受話部や子機のレシーバー・スピーカーに吸着物がないか確認してから使う

受話器の受話部や子機のレシーバー・スピーカーの磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し思わぬけがをすることがあります。また、音がでないなどの故障の原因となることがあります。

充電器の上に、コインや指輪などの金属を置かない

金属物が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

禁止

壁掛けにするときは落下しないようにしっかり固定する

落下すると、けが・故障の原因となることがあります。

子機の呼出音が鳴る部分（スピーカー）には絶対に耳を近づけない（突然呼出音が鳴ります。）

事故やけがの原因となることがあります。

禁止

長期間電話機を使用しないときは、安全のため必ずACアダプターおよび電源プラグをコンセントから抜き、子機の充電池を外す

電源プラグを抜く

次ページへつづく

ご使用にあたってのお願い

本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡していただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**となります。くわしくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

携帯通話プリセット機能（98～103ページ）について

BBフォンなどのIP電話をご利用の場合は、「携帯通話プリセット機能」の設定の変更が必要です。
また、次の場合は、必ず「携帯通話プリセット機能」を解除してください。

- NTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話」ご利用時
- NTT東日本・NTT西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス※ご利用時
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）接続時
- IP電話のご利用などで固定電話から携帯電話への通話サービスをご利用にならない場合

※…「直収電話サービス」とは、NTTの回線を経由しないで、直接お客様とサービス事業者を結ぶ電話サービスのことです。（例：KDDIのメタルプラス、ソフトバンクテレコムのおとくライン、J:COMのJ:COM PHONEなど）直収電話サービスにつきましては、各固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

音声のとぎれや雑音を避けるために

- ファクシミリ・電子レンジ・テレビ・冷蔵庫・蛍光灯・スピーカー・パソコンなどと相互に影響を及ぼす場合は約3m以上離すか、電源を別のコンセントに接続してください。

- 磁気や蛍光灯などは、子機の通話がとぎれる原因となります。
- テレビ・ラジオなどは、雑音や画面が乱れるなど受信障害の原因となります。
- AV･OA機器などは、子機の呼出音が鳴らない原因となることがあります。
- 他の機器（携帯電話など）の充電器やACアダプターなどは、子機の通話がとぎれたり、呼出音が鳴らない原因となることがあります。
- 1つの部屋にデジタルコードレスホン（親機）を複数設置しないでください。子機の通話がとぎれる原因となります。
- 子機は中央部より下の部分を持って通話してください。子機の上部にアンテナが内蔵されていますので、そこを握ると、通話がとぎれる原因となります。
- 補聴器によっては子機の通話に雑音が入ることがあります。聞きとりにくいときは、親機をお使いください。
- 動きながら通話したり、近くを自動車やバイクが通ると声がとぎれたり雑音が入ることがあります。

電波について

本機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。

移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH－SS方式」、
与干渉距離は約80mです。
本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

●電波干渉によって、雑音が入ったり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約3m以上離してください。無線LAN機器などをお使いのときは、回避チャンネル設定（120ページ）をお試しください。

・無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
・工場や倉庫などの物流管理システム
・火災報知器
・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
・自動制御機器
・アマチュア無線局
・本機以外の2.4GHzのコードレス電話機やファクシミリ
・マイクロ波治療器
・電子レンジ
・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
・鉄道車両や緊急車両の識別システム
・自動ドア
・その他、Bluetooth® 対応機器やVICS（道路交通網システム）など

●本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のためのパーティションの設置や設置場所の移動を行ない互いに干渉が起きないようにしてください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様相談室（151ページ）へお問い合わせください。

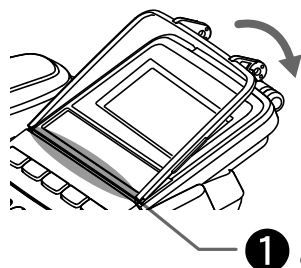
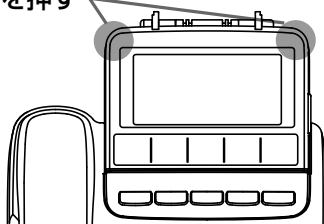
●商品の故障、誤作動または停電などの外部要因で電話が使えなかったことによる付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご承知おきください。

ご注意　　NOTICE
この製品は日本国内向けに製造されたもので、電圧100Vで動作します。
海外では、電話回線や電源電圧の規格が異なりますので、ご使用にはなれません。
For Japanese standards only. This set operates on AC100V.
Due to different standards of telephone line and different power requirements, this set cannot be used outside of Japan.

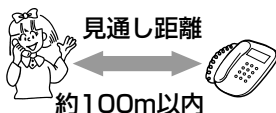
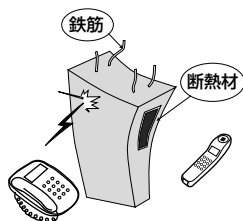
次ページへつづく

操作に関するご注意

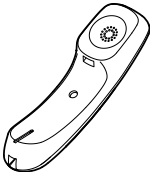
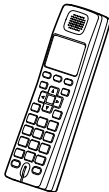
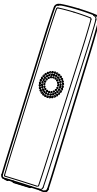
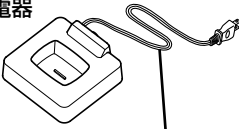
- **登録や設定の操作を行なうときは、必ず、親機は受話器をのせたままで、子機は 切 を押して、通常状態にしてから行なってください。**
- この取扱説明書の説明文（お知らせなど）では、ボタンの表記を 再生 ►/停止 や 上下左右（選択） などの □（四角）で表しています。また、液晶画面に表示される言葉やマークを「回線使用中」、「親機サーチ中」や「圏外」などの「　」（かぎかっこ）で表しています。
- 登録や設定などの操作を間違えたときや、途中で操作を止めるには、親機は 再生 ►/停止 、子機は 切 を押してください。操作の途中で1つ前の操作に戻るときは 機能/録音/戻る を押してください。（一部戻らない場合もあります。）
- 登録や設定の操作の途中で約1分以上操作をしないと、通常状態に戻ります。
- 液晶バックライト、および子機のダイヤルライトは、最後の操作から約30秒で消灯します。
- 設定の途中で設定操作を中止したり、電話がかかってきた場合、設定変更内容は反映されません。そのときは、はじめからやり直してください。
- 親機または子機が外線通話中、ドアホン通話中、ガードメッセージが流れているとき（86～91ページ）などは、登録・設定操作をしても、液晶画面に「使用中」が表示されて警告音が鳴り、操作できない場合があります。液晶画面（15・17ページ）が通常状態に戻ってから、操作してください。
- キータッチ音（106～107ページ）を解除していると、警告音は鳴らなくなります。

カバーが外れたときの装着のしかた

知っておいていただきたいこと

子機の使用について

- 電磁誘導による充電の方式をとっています。（無接点充電）
  AMラジオなどが近くにあると雑音が入ることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また、親機で通話中などに雑音が入ることがありますので、親機と充電器を約1m以上離してご使用ください。
- 電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電できない場合があります。
- 充電器から磁力線がでていますので、磁気に弱いもの（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、自動改札定期券など）を近づけないでください。磁気に弱いものは使えなくなることがあります。）
- **”傍受”にご注意ください。デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話は親機を使用することをおすすめします。**
- **親機と子機は、見通し距離約100m以内でお使いください。**
  あらかじめ親機と子機の電波が届く範囲をご確認ください。通話中、電波が届かなくなると「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ、ピピピ」と警告音が鳴り、液晶画面に「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「Y圏外」が表示され、警告音が鳴ってから、約30秒後に子機の通話が切れます。

- **電波が届きにくいときは親機に近づくか場所を変えてください。**
  子機の通話がとぎれたり、雑音の原因となります。
  【電波を届きにくくするもの】
  鉄筋、鉄骨を使用した建物や構造物、コンクリート壁、
  金属の扉、金属箔のついた断熱材、金属製の壁や家具など
- 子機の呼出音は親機より約1～2秒遅れて鳴ります。
- 子機が充電器上にあるときに ［☎］ や ［内線/保留/文字］ を押しても、機能は、はたらきません。
- 子機の液晶画面に、「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「Y圏外」が表示されているときは、親機に近づいてください。表示が消えないときは、［☎］、［内線/保留/文字］、または［ハンズフリー］ のいずれかを押してください。親機の電源が入っていても、子機が親機から離れすぎたり、使用環境によっては「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「Y圏外」が表示されることがあります。

クイック通話（設定・解除操作は、114～115ページをご覧ください。）

子機を充電器からとるだけで、［☎］を押さなくても電話をかけたり、受けたりすることができます。お買い上げ時は、クイック通話が「ON」に設定されています。

＊クイック通話が「ON」のときは、約20秒以内にダイヤルしてください。ダイヤルしないと、転倒などによる誤動作防止のための警告音が「ピーッ、ピーッ…」と鳴り、自動的に電話が切れます。

クイック通話が「OFF」のとき（**見てから通話**）

- 子機を充電器からとって電話番号を入力し、その番号を確認してから電話をかけることができます。
- ナンバー・ディスプレイ加入時、電話がかかってきたときは、子機を充電器からとり、かけてきた相手の電話番号を確認してから、［☎］を押して通話することができます。

商品の確認

■本体（一式）

■付属品

- 親機用ACアダプター　（1個）（電源コード　長さ　約1.8m）
- 取扱説明書（1部）※
- ワンタッチダイヤルお名前シート（1部）
- 操作案内シート（1部）

※…英文などの外国語の取扱説明書はありません。また、本機に関するお問い合わせおよびサポート、取扱説明書の掲載内容につきましては、国内限定とさせていただきます。
Please take notice that manuals written in languages other than Japanese are not available.

さらに別売の専用子機を増設できます（付属の子機を含めて4台まで）

- 増設子機は、販売店でお買い求めください。くわしくは、116ページをご覧ください。

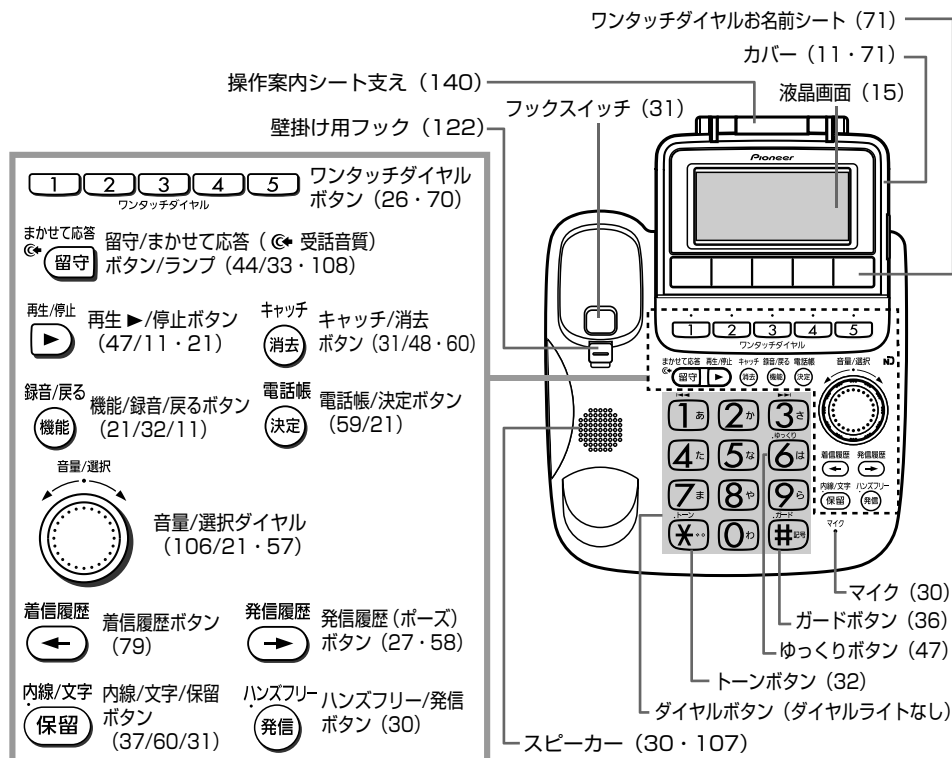
各部のなまえ

（親機）

- （　）内の番号は、本文中に説明している主なページです。

ワンタッチダイヤルお名前シート（71）
カバー（11・71）
操作案内シート支え（140）
液晶画面（15）
フックスイッチ（31）
壁掛け用フック（122）

ワンタッチダイヤルボタン（26・70）
留守/まかせて応答（受話音質）ボタン/ランプ（44/33・108）
再生 ►/停止ボタン（47/11・21）
キャッチ/消去ボタン（31/48・60）
機能/録音/戻るボタン（21/32/11）
電話帳/決定ボタン（59/21）
音量/選択ダイヤル（106/21・57）
着信履歴ボタン（79）
発信履歴（ポーズ）ボタン（27・58）
内線/文字/保留ボタン（37/60/31）
ハンズフリー/発信ボタン（30）

マイク（30）
ガードボタン（36）
ゆっくりボタン（47）
トーンボタン（32）
ダイヤルボタン（ダイヤルライトなし）
スピーカー（30・107）

■電話機の状態により点灯・点滅するボタン／ランプ

ボタン/ランプ名称	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）（例）
留守/まかせて応答ボタン/ランプ	赤	留守セット中<通話録音した用件や未再生の用件なし>（点灯） 留守セット中<通話録音した用件や未再生の用件あり>（点滅）

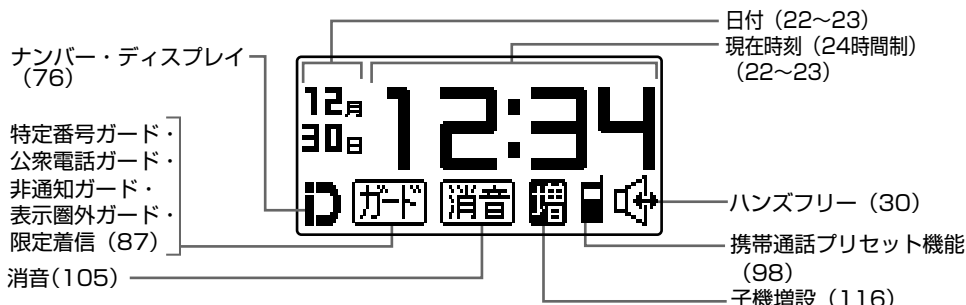
- 電話回線種別（ダイヤル回線 ⇄プッシュ回線）の切りかえスイッチはありません。
（回線種別の設定　21ページ）

次ページへつづく

（親機）

● （　）内の番号は、本文中に説明している主なページです。

親機の液晶画面（16桁表示）（液晶バックライトあり）

説明のために、液晶表示のマークをすべて表示しています。（実際の表示と異なります。）

■操作時の表示例

通常状態1と2は、新規用件の有無により自動的に変わります。選択することはできません。
（通常状態のときは液晶のバックライトが消えています。）

通常状態1（新規用件が録音されていない場合）	通常状態2（新規用件が録音されている場合）	ダイヤル中
日付(22～23) 12月 30日 12:34 現在時刻(24時間制)(22～23)	日付／現在時刻(24時間制)(22～23) 12月24日 12:34 新規用件 3件 新たに録音された用件の数 ● 新しい用件を再生すると（46～47ページ）、新規用件の表示が消えます。	通話時間※ 受話音量（106）／スピーカー音量(107) 0'05 小 大 0312345678 電話番号 ※… 通話時間は目安です。

● 親機の液晶バックライトは、外線着信中や操作したときなどに点灯します。
（応答後や操作終了後、約30秒で自動的に消灯します。常時点灯させることはできません。）

● 実際の液晶画面では、複雑な文字や記号は一部変形もしくは省略して表示されます。

● 電話番号の確認（発信履歴、電話帳、着信履歴、特定番号など）で、液晶画面に一度に表示できる桁数（12桁）を超えた場合は、画面を自動的に切りかえて表示します。

各部のなまえ

（子機）

● （　）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

ワンタッチダイヤルボタン(26・70)

上下左右（選択）ボタン(22・57)

電話帳/決定ボタン（59/22）

発信履歴（ポーズ）ボタン（27・58）

着信履歴ボタン（79）

キャッチ/消去ボタン（31/48・60）

機能/録音/戻るボタン（22/32/11）

発信（受話音質）ボタン（25・108）

切ボタン（11・25）

トーンボタン（32）

ガードボタン（36）

ハンズフリーボタン（30）

内線/保留/文字ボタン（37/31/60）

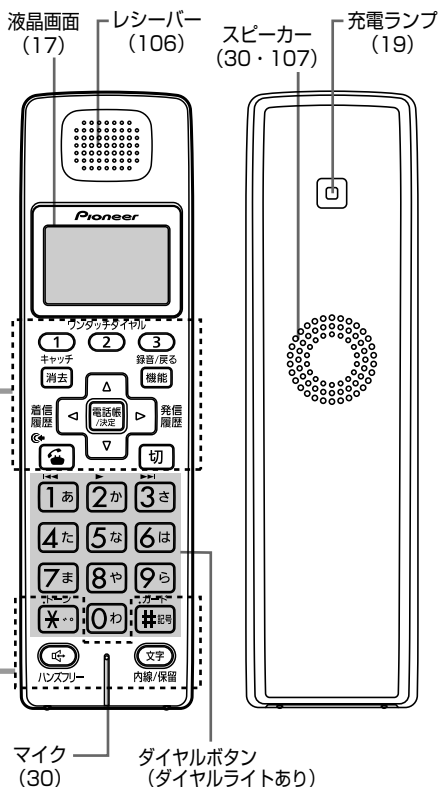
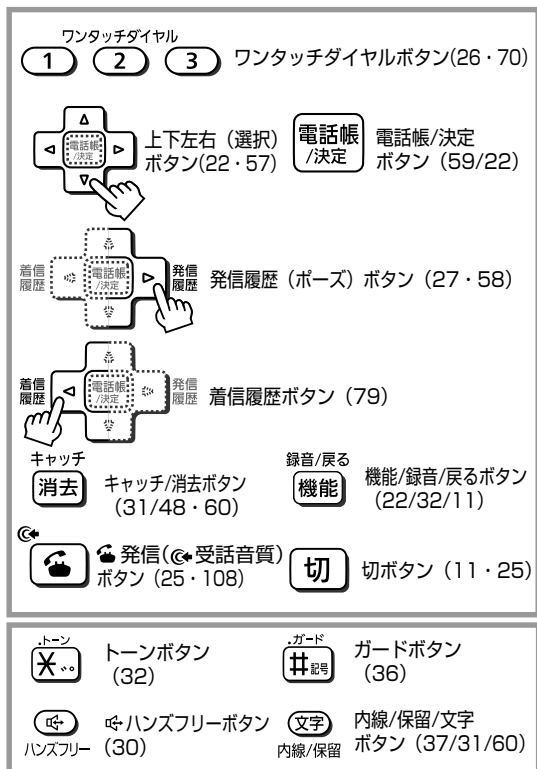
液晶画面（17）

レシーバー（106）

スピーカー（30・107）

充電ランプ（19）

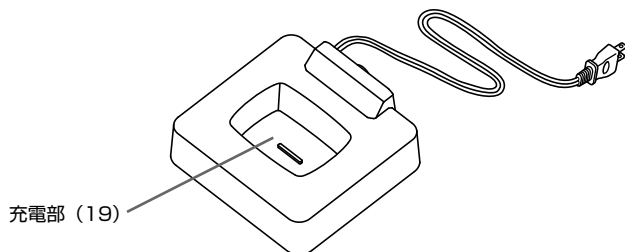
マイク（30）

ダイヤルボタン（ダイヤルライトあり）

● ダイヤルライトは、液晶バックライトに連動して点灯します。

■ 電話機の状態により点灯・点滅するランプ

ランプ名称	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）（例）
充電ランプ	赤	充電中（点灯）、 外線着信中・内線の呼出中および呼出されているとき（早点滅）

充電器

（子機）

●（　）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

子機の液晶画面（14桁表示 ）（液晶バックライトあり）

説明のために、液晶表示のマークをすべて表示しています。（実際の表示と異なります。）

■操作時の表示例

通常状態1と2は、新規用件の有無により自動的に変わります。選択することはできません。
（通常状態のときは液晶バックライトが消えています。）

通常状態1（留守セット時、新規用件が録音されていない場合）	通常状態2（留守セット時、新規用件が録音されている場合）	ダイヤル中・通話中
日付／現在時刻 (24時間制)(22～23) 6月10日 12:30 子機(1) 留守 子機番号や 登録した子機の名称(114～115)	日付／現在時刻(24時間制)(22～23) 12月24日 12:34 新規用件 3件 留守 新たに録音された用件の数 ● 新しい用件を再生すると(46～47ページ)、新規用件の表示が消えます。	通話時間※ 受話音量(106)/スピーカー音量(107) 0'05 音量4 0312345678 電話番号 ※…通話時間は目安です。

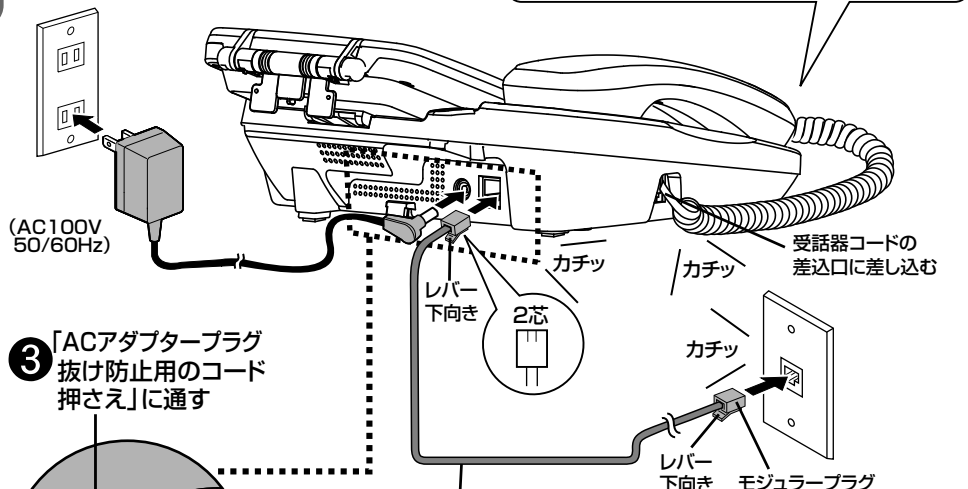
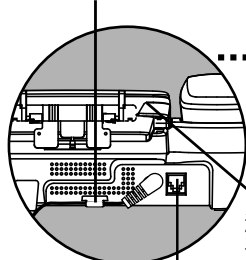
● 子機の液晶バックライトは、外線着信中や操作したときなどに点灯します。
（応答後や操作終了後、自動的に消灯します。常時点灯させることはできません。）

● 実際の液晶画面では、文字や記号は一部変形もしくは省略して表示されます。

● 電話番号の確認（発信履歴、電話帳、着信履歴など）で、液晶画面に一度に表示できる桁数(14桁)を超えた場合は、表示できなかった番号を自動的に切りかえて表示します。

（親機）

❶ 受話器コードを接続し、受話器を親機の上に置く

❷ 親機用ACアダプターを接続する
（デモ画面の表示を開始します。）

❸「ACアダプタープラグ抜け防止用のコード押さえ」に通す

付属の電話機コード※（2芯）

液晶画面は見やすい角度に、手動で調節することができます。
（最大約35度まで）

電話機コードの差込口

❹ 電話機コードを接続する
約5秒後、回線種別の自動設定が始まり、約6～40秒後、設定された回線種別を液晶画面に表示、デモ画面の表示が止まります。
回線種別が正しく設定されていないと、子機は使用できません。（21ページ）

下記の接続方式の場合は、最寄りのNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

3ピンプラグ式	直結配線方式
	または

※…別売のターミナルボックスを接続しないときは、付属の電話機コード（2芯）をお使いください。（92～93ページ）回線側が2芯以外の場合や、中間機器などが存在する場合に、4芯コードや6芯コードを接続すると故障・発熱・火災の原因となることがあります。

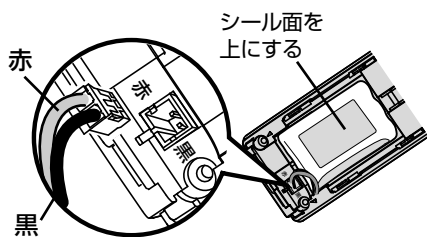
❺ 電話がかけられることを確認する
かけられないときは手動で回線種別を設定してください。（21ページ）

おしらせ

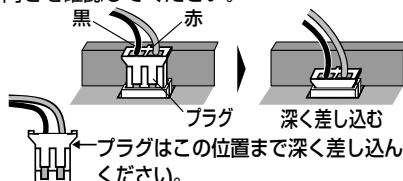
- ファクシミリやOA機器や冷蔵庫などの電源コンセントと同じコンセントにはつながないでください。雑音や誤動作の原因となります。
- 親機用ACアダプターは、使用する際には、常に接続しておいてください。親機用ACアダプターを接続しておかないと、子機は使用できません。また、親機の登録操作や留守番機能などが使用できません。
- 親機用ACアダプターや親機の底は多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
- ファクシミリと接続するときは125ページ、ADSLやISDN回線をご利用の場合は126ページをご覧ください。

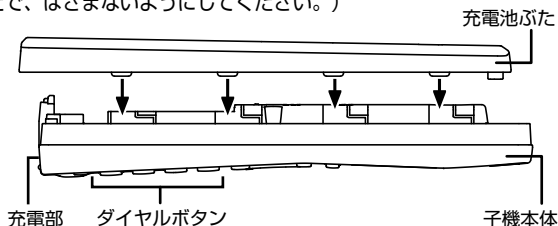
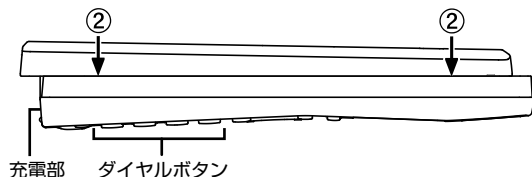
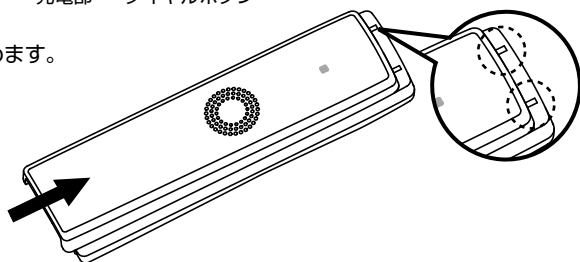
次ページへつづく

（子機）

❶ プラグを差し込み、充電池を入れる（むやみにプラグの抜き差しはしないでください。）

ビニールカバーをはがさないでください。

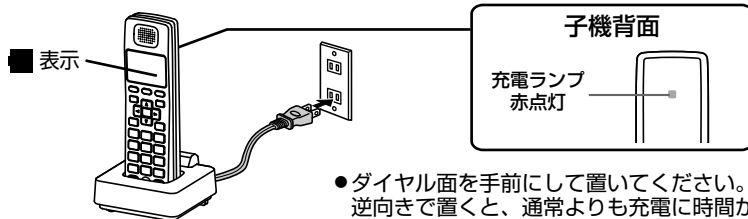
- プラグは逆向きに差し込めないようになっています。固いときは、無理に差し込もうとせず、プラグの向きを確認してください。

←プラグはこの位置まで深く差し込んでください。

❷ 充電池ぶたを閉じる（コードをふたで、はさまないようにしてください。）

①充電池ぶたの左右についている各4カ所（計8カ所）のツメを、子機本体の左右についている各4カ所（計8カ所）の穴に合わせます。

②すき間がないように、充電池ぶたを子機本体に均等に密着させます。

③密着させたまま、充電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて閉めます。

❸ 子機を置き、約10時間以上充電する（▮表示、充電ランプ赤点灯）（約10時間以上充電しても、▮は消えません。充電ランプも赤点灯し続けます。）

- 約10時間以上充電しても、回線種別が正しく設定されていないと、子機は使えません。（21ページ）
- 子機を使ったあとは、必ず、充電器に戻してください。

- ダイヤル面を手前にして置いてください。逆向きで置くと、通常よりも充電に時間がかかります。

子機の充電

使用時間について	待ち受け時間：約180時間	連続通話時間：約6時間

- ■ **待ち受け時間とは、子機を充電器に置かず、一度も通話や登録操作をしない状態での使用時間のことです。通話したり、呼出音が鳴ると、使用時間は短くなります。**

準備

- ■ **必ず、親機を通電状態にしてから、回線種別を設定し（21ページ）、通話圏内で充電してください。**
  「通話圏外」（または「親機サーチ中」）と「圏外」が表示されているときは、通常よりも充電に時間がかかります。

- ■ **充電中は、液晶画面に「 ■ 」が表示されます。（新規用件がないとき）　充電が完了しても「 ■ 」は消えません。充電ランプは、充電が完了しても赤点灯し続けます。**

- ■ **充電中は、子機や充電器が多少あたたかくなりますが、異常ではありません。**

- ■ **充電池が消耗していて使えないときは、子機を充電器にのせてもすぐに、「 ■ 」や充電ランプは点灯しません。約10分間、充電器に置いたままにしてください。**
  約10分間、充電しても液晶画面に何も表示されないときや、充電ランプが赤点灯しないときは、次のいずれかの操作を行なってください。
  - ●子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。
  - ●充電池ぶたを開け、充電池のプラグを抜き差しし、プラグの向きと差し込みの深さを確認して充電池ぶたを閉じてください。（19ページ）

- ■ **子機を使ったあとや使わないときは、充電器に戻してください。**戻さないと、まったく使わなくても充電池は徐々に消耗します。充電し続けても、故障することはありません。

- ■ **残量が少なくなった充電池を子機に入れたまま、数週間充電しないで放置すると、急速に充電池が消耗し、充電できなくなることがあります。**その場合、充電池の交換が必要になります。約1週間以上子機を充電器から外したり、電源プラグをコンセントから抜くときは、充電池の消耗を防ぐため、充電池を取り外してください。次に使うときは、充電してからお使いください。

子機の要充電表示について

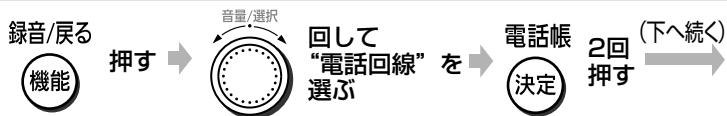
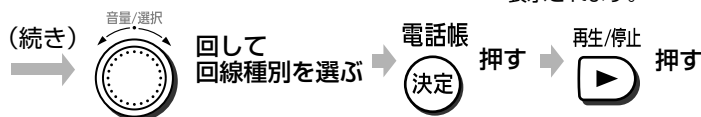
充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、子機は使用できなくなります。

- ●液晶画面内の「 ■ 」では電池残量を確認することができません。
- ●充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、液晶画面に「電池残量が　ありません」と表示されます。電話がかかってきても呼出音は鳴りません。また、電話に出ることもできません。子機を充電器に戻し、液晶画面が通常状態に戻れば、子機を使用することができます。
- ●通話中に充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、「ピピピ…ピピピ…」と警告音が鳴り、約1分後に通話が切れます。

⚠ 危険

- ●充電池は加熱したり、火中に投げ込まないでください。爆発して火災・けがの原因となることがあります。
- ●充電池の端子をショート（短絡）したり、ビニールカバーをはがしたりしないでください。
  火災・けがの原因となることがあります。
- ●専用の充電池（当社純正品）以外は、使用しないでください。火災・故障の原因となることがあります。
- ●充電するときは、専用の充電器をお使いください。

回線種別（プッシュ／ダイヤル）の設定

電話機コード接続後、自動で回線種別（プッシュ／ダイヤル）を判定できなかったときは**親機で手動設定してください**。（回線種別がわからないときは、ご契約の電話会社へお問い合わせください。）
正しく回線種別が設定されていないと、電話をかけることができません。

■回線種別を設定後、天気予報（177）などに電話をかけて、電話がかからないときは、「プッシュ」→「20PPS」→「10PPS」の順に設定を変えてみてください。（177番にかけると通話料がかかります。）

■ 下記の場合は、回線種別を設定し直してください。契約している回線種別と、本機の回線種別の設定が一致しないと、電話がかかりません。
・回線種別をダイヤル回線 ⇄ プッシュ回線に変更したとき
・引越などで、電話機を別の場所に移動したとき

■ 回線種別を設定後、子機の液晶画面に「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と表示されているときは［通話］、［内線/保留/文字］、［ハンズフリー］のいずれかを押したり、充電器からとったり、親機に近づいたりしてください。

下記のような場合は、自動選択をはたらかせても回線種別が正しく選択できません。
回線種別を手動設定してください。
- ●電話回線の事情などで合わないとき
- ●スプリッタ 一体型ADSLモデムなどのADSL関連機器につないだとき
- ●フュージョン・コミュニケーションズ（東京電話）／QTNet（九州電話）アダプターにつないだとき
- ●LCR／ACR用アダプターにつないだとき
- ●ファクシミリにつないだとき
- ●ホームテレホンや構内交換機（PBX）などの内線電話番号としてお使いになるとき

（2011年7月現在）

日付と時刻の設定

本機の時計は、電源が入ると（子機は充電池をセットすると）、自動的に2010年1月1日午前0時から動き始めます。通話録音（32ページ）した内容や留守録音された用件（46～47ページ）、着信履歴（79～81ページ）の日時は、ここで設定する時計をもとに記録（タイムスタンプ）されます。
親機とそれぞれの子機で、現在の日付と時刻を設定してください。

■ 子機を2台以上お使いの場合は、子機ごとに時計を合わせてください。

準備

親機の時計を合わせる

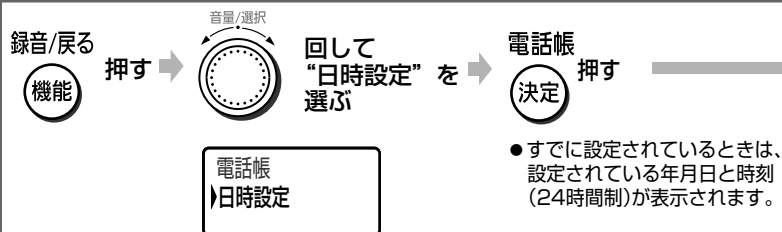
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る 機能 押す

回して“日時設定”を選ぶ

電話帳
▶日時設定

電話帳 決定 押す

● すでに設定されているときは、設定されている年月日と時刻（24時間制）が表示されます。

子機の時計を合わせる

(切を押してから操作します)

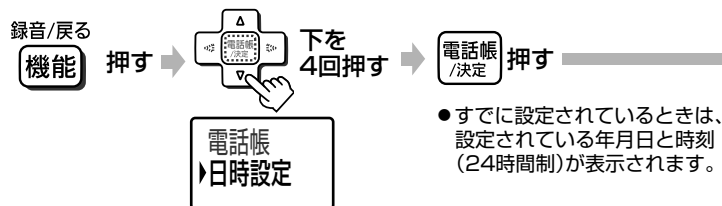
録音/戻る

押す

下を4回押す

電話帳
▶日時設定

電話帳/決定 押す

● すでに設定されているときは、設定されている年月日と時刻（24時間制）が表示されます。

おしらせ

● 西暦は2000年から2099年まで設定できますが、西暦は表示されません。
● 本機の時計は目安としてご利用ください。1ヵ月に約60秒ずれることがあります。ずれたときは、時計を合わせてください。
● 子機1の時計を、親機の時計より先に合わせると、子機1で合わせた時計が自動的に親機に転送され、親機の液晶画面に表示されます。子機1の液晶画面に「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「圏外」が表示されているときは、転送されません。
● 停電したり、ACアダプターが外れたときは、親機の時計がお買い上げ時の状態に戻り、「2010年1月1日午前0時」から再び動き始めます。再度、親機の時計を合わせてください。（すでに通話録音した用件や留守録音された用件、着信履歴に記録された日付と時刻は残ります。）ただし、子機1の時計を合わせているときは、子機1の時計が自動的に親機に転送されます。

ダイヤルボタンで、西暦（下2桁）、月日と時刻（24時間制）を入力する ➡ 電話帳 決定 押す ➡ 再生/停止 ► 押す

（例）2011年9月24日午後7時5分のとき

2011年
09月24日 19:05 ― カーソル（入力位置）

- 「9月」「5分」など1桁を入力するときは、最初に「0」をつけてください。
- 間違えたときは、着信履歴/← または 発信履歴/→ を押して、カーソルを修正する箇所に移動させて、入力し直してください。

ダイヤルボタンで、西暦（下2桁）、月日と時刻（24時間制）を入力する ➡ 電話帳/決定 押す ➡ 切 押す

（例）2011年9月24日午後7時5分のとき

2011年
09月24日 19:05 ― カーソル（入力位置）

- 「9月」「5分」など1桁を入力するときは、最初に「0」をつけてください。
- 間違えたときは、上下左右（選択）の右または左を押して、カーソルを修正する箇所に移動させて、入力し直してください。

ひかり電話・直収電話・PBXをご利用の方へ

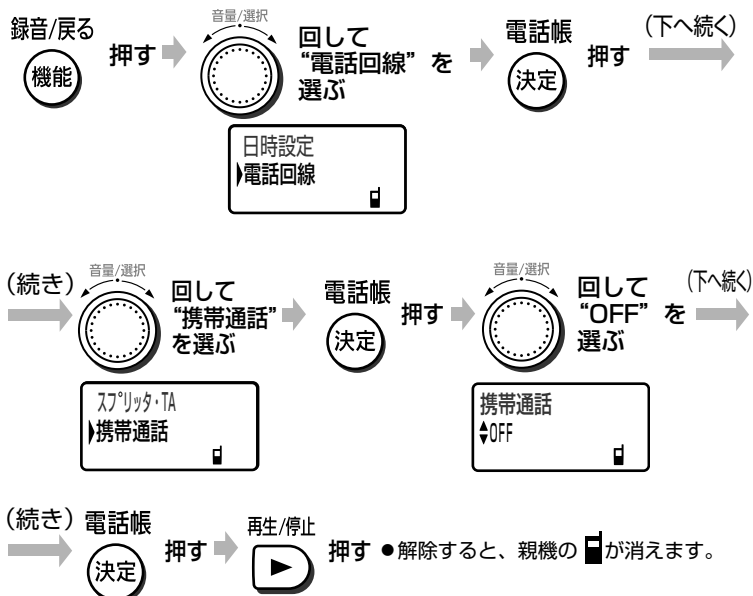
本機は、NTTコミュニケーションズ株式会社の「固定電話から携帯電話への通話サービス（0033モバイル）」をそのままご利用いただけるように、お買い上げ時は「携帯通話プリセット機能」が「ON　0033　IP電話利用なし」に設定されています。（98～103ページ）

携帯電話へ電話をかけると、自動的に「0033」（NTTコミュニケーションズの事業者識別番号）をつけて発信します。

ひかり電話・直収電話※・構内交換機（PBX）をご利用の方は「携帯通話プリセット機能」を解除してご使用ください。

そのままご使用になると、相手の携帯電話につながらなかったり、外線発信番号（例：0）を押しても、ダイヤルが発信されないなどの不具合が生じます。

電話機能

親機で携帯通話プリセット機能を解除する
（ひかり電話・PBXなどをご利用の方）
（受話器をのせたままで操作します）

録音/戻る（機能）押す → 音量/選択 回して“電話回線”を選ぶ → 電話帳（決定）押す （下へ続く）

日時設定
▶電話回線

（続き）音量/選択 回して“携帯通話”を選ぶ → 電話帳（決定）押す → 音量/選択 回して“OFF”を選ぶ （下へ続く）

ｽﾌﾟﾘｯﾀ・TA
▶携帯通話

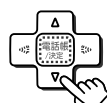
携帯通話
◆OFF

（続き）電話帳（決定）押す → 再生/停止（▶）押す ●解除すると、親機の が消えます。

※…「直収電話サービス」とは、NTTの回線を経由しないで、直接お客様とサービス事業者を結ぶ電話サービスのことです。（例：KDDIのメタルプラス、ソフトバンクテレコムのおとくライン、J:COMのJ:COM PHONEなど）直収電話サービスにつきましては、各固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

次ページへつづく

ひかり電話・直収電話・構内交換機（PBX）をご利用の方は「携帯通話プリセット機能」を解除して、お使いください。（24ページ）

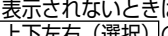
親機で電話をかける	受話器をとる → ツー音が聞こえたらダイヤルする → 話す → 通話が終わったら受話器を戻す
子機で電話をかける	充電器からとる（充電器上にないときは［外線］押す） → ツー音が聞こえたらダイヤルする → 話す → 通話が終わったら充電器に戻す（または［切］押す）

■ 通常状態で電話番号を入力したあとに、親機は受話器をとる、子機は［外線］を押しても、電話をかけることができます。（先押しダイヤル／最大20桁まで）

■ 電話番号に184や186をつけてかけるとき（76ページ）

親機：184（または186） → 電話番号 → 受話器をとる

子機：184（または186） → 電話番号 → ［外線］押す

■ 電話帳を利用してかけることができます。親機、子機それぞれの電話帳（各最大100件）に登録が必要です。（58〜59ページ）

親機の電話帳を使ってかける（受話器をのせたままで操作します）	回してかけたい相手を選ぶ → 受話器をとる ●自動的にダイヤルします。
子機の電話帳を使ってかける（［切］を押してから操作します）	上または下を押してかけたい相手を選ぶ → 押す ●自動的にダイヤルします。

親機で読みの頭文字を入力してかける（受話器をのせたままで操作します）	電話帳［決定］押す → ダイヤルボタンで読みの頭文字を入力する（［1あ］〜［9ら］、［0わ］押す） → 電話帳［決定］押す （下へ続く） ●かけたい相手が表示されないときは、［音量/選択］を回して相手を選んでください。 （続き） → 受話器をとる ●自動的にダイヤルします。
子機で読みの頭文字を入力してかける（［切］を押してから操作します）	［電話帳/決定］押す → ダイヤルボタンで読みの頭文字を入力する（［1あ］〜［9ら］、［0わ］押す） → ［電話帳/決定］押す （下へ続く） ●かけたい相手が表示されないときは、［上下左右（選択）］の下を押して相手を選んでください。 （続き） → 押す ●自動的にダイヤルします。

かける／受ける

■ 親機や子機の電話帳に登録しておくと、よくかける相手をそれぞれの電話帳からワンタッチダイヤルへ登録することができます。（70〜75ページ）ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで、簡単にかけることができます。

親機のワンタッチダイヤルを使ってかける（最大5件）	受話器をとる ➡	かけたいワンタッチダイヤルのいずれか1つを押す （1 2 3 4 5 ワンタッチダイヤル） ●自動的にダイヤルします。 ●登録されていないときは「ピピピ」と鳴って通常状態に戻ります。
子機のワンタッチダイヤルを使ってかける（最大3件）	充電器からとる ➡	かけたいワンタッチダイヤルのいずれか1つを押す （ワンタッチダイヤル 1 2 3） ●自動的にダイヤルします。 ●登録されていないときは「ピピピ」と鳴って通常状態に戻ります。

おしらせ

- 通話中に相手の声が聞きとりにくいときは、親機は ◎ を回して、子機は 上下左右（選択） の上または下を押して調節してください。（106ページ）
- 通話中に相手の声の高さを調整して、聞きやすくすることができます。（108ページ）
- ADSLやISDN回線をご利用の場合、事務所など騒音の激しい場所でお使いの場合は、相手の声が聞きとりにくくなったり、反響する場合があります。この場合は「スプリッタ・TA設定」（119ページ）を行なってください。（症状が緩和される場合があります。）
- 構内交換機（PBX）に接続してお使いのときは、市外局番の前に、外線につなぐ番号（例：0）を押してから、親機は 発信履歴/➞ 、子機は ▶発信履歴 を押し、電話番号を押して電話をかけてください。（58ページ）
- 携帯通話プリセット機能（98〜103ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき親機の液晶画面の「 」が約5秒間点滅します。なお、自動付与される事業者識別番号は、液晶画面に表示されません。
- 電話をかけようとしたときに、受話器（または子機）から「ププッ、ププッ」という音がする場合があります。これは、キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージ預かりの通知音です。
- 外線通話中、ドアホン（96ページ）の呼出音が鳴っている間（数秒間）は、通話が中断されます。

次ページへつづく

最後にかけた相手に簡単な操作でかけ直すことができます。**（リダイヤル）**
電話をかけたとき相手先の電話番号を、親機と子機それぞれ新しい順に最大10件（20桁）まで自動的に記録します。**（発信履歴）** 日時を確認することはできません。

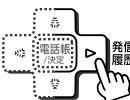
親機のリダイヤルでかける

受話器をとりツー音が聞こえたら → 発信履歴

押す

● 自動的にダイヤルします。

子機のリダイヤルでかける

充電器からとる
（または 押す）

右を押す

● 自動的にダイヤルします。

親機の発信履歴を確認する／かける
(受話器をのせたままで操作します)

発信履歴

押す

回して発信履歴を確認する

● 右に回すと、さかのぼって表示していきます。

0312345678
発信履歴

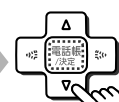
終わるときは
再生/停止

押す

かけるときは受話器をとる

● 自動的にダイヤルします。

子機の発信履歴を確認する／かける
(切を押してから操作します)

右を押す

上または下を押して発信履歴を確認する

● 下を押すと、さかのぼって表示していきます。

0312345678
発

終わるときは

押す

かけるときは

押す

● 自動的にダイヤルします。

- 同じ電話番号に電話をかけたとき、発信履歴には、あとからかけたものが記録され、先にかけたものは消去されます。
- 発信履歴が10件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録されます。
- 電話帳やワンタッチダイヤルを利用して電話をかける（25～26ページ）と、発信履歴には名前が表示されます。このとき、[#] を押すと、表示が電話番号に切りかわり、もう一度押すと名前の表示に戻ります。
- 携帯通話プリセット機能（98～103ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき親機の液晶画面の「 」が約5秒間点滅します。自動付与された事業者識別番号は、リダイヤルや発信履歴には記録されません。
- ＊、＃、ポーズ（58ページ）なども 1桁として記録されます。

電話機能

リダイヤル／発信履歴

子機の発信履歴に184や186などをつけてかける(特番ダイヤル)
(切を押してから操作します)

着信履歴 電話帳/決定 発信履歴 右を押す ➡ 上または下を押してかけたい電話番号を選ぶ ➡ 録音/戻る 機能 押す （下へ続く）

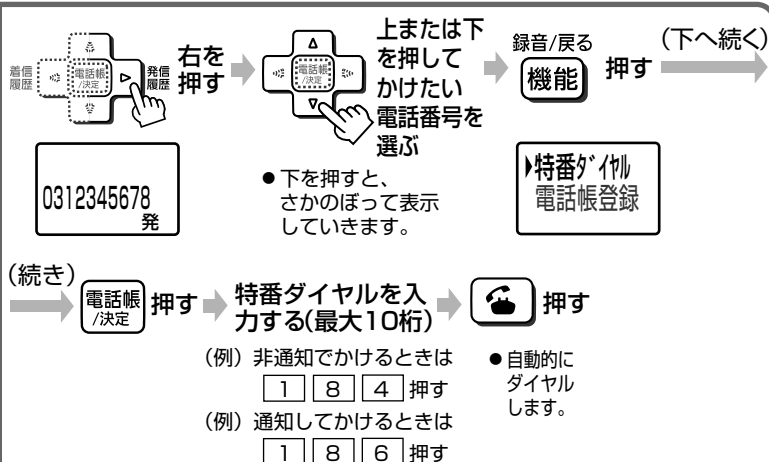
0312345678
発

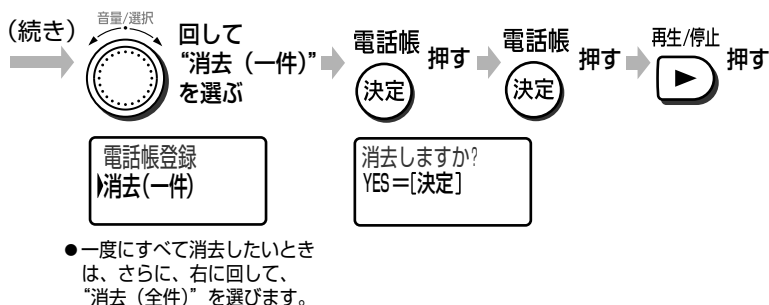
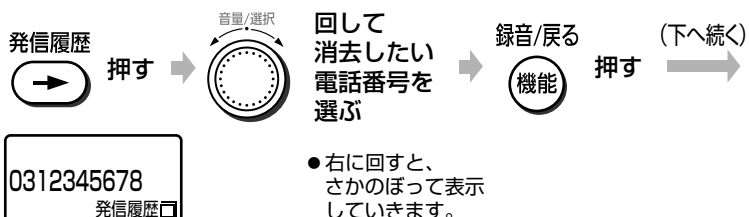
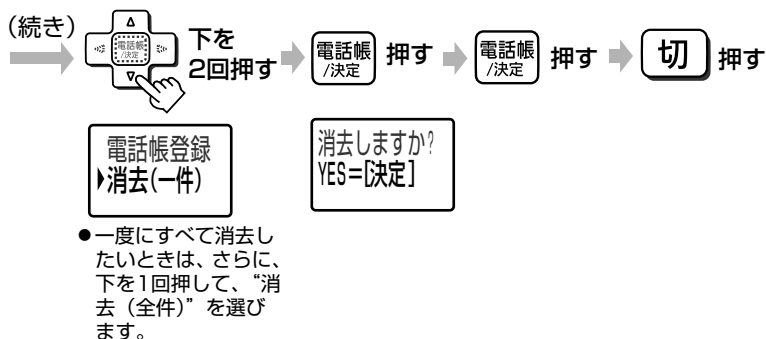
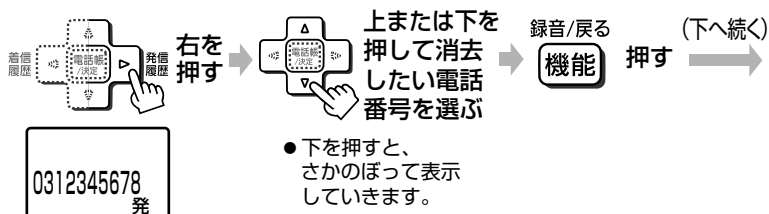
● 下を押すと、さかのぼって表示していきます。

▶特番ﾀﾞｲﾔﾙ
電話帳登録

（続き）電話帳/決定 押す ➡ 特番ダイヤルを入力する(最大10桁) ➡ 📞 押す

（例）非通知でかけるときは
1 8 4 押す
（例）通知してかけるときは
1 8 6 押す

● 自動的にダイヤルします。

おしらせ
●親機で発信履歴に184や186などをつけてかけること（特番ダイヤル）は、できません。

親機の
発信履歴を
消去する
(受話器をのせたままで操作します)
発信履歴
押す
音量/選択
回して
消去したい
電話番号を
選ぶ
録音/戻る
機能
押す
(下へ続く)
0312345678
発信履歴
●右に回すと、
さかのぼって表示
していきます。
(続き)
音量/選択
回して
"消去(一件)"
を選ぶ
電話帳
決定
押す
電話帳
決定
押す
再生/停止
押す
電話帳登録
消去(一件)
消去しますか?
YES＝[決定]
●一度にすべて消去したいときは、さらに、右に回して、"消去(全件)"を選びます。
子機の
発信履歴を
消去する
(切を押してから操作します)
着信履歴
電話帳/決定
発信履歴
右を
押す
上または下を
押して消去
したい電話
番号を選ぶ
録音/戻る
機能
押す
(下へ続く)
0312345678
発
●下を押すと、
さかのぼって表示
していきます。
(続き)
下を
2回押す
電話帳/決定
押す
電話帳/決定
押す
切
押す
電話帳登録
消去(一件)
消去しますか?
YES＝[決定]
●一度にすべて消去したいときは、さらに、下を1回押して、"消去(全件)"を選びます。

電話機能

ハンズフリー通話をする

受話器や子機を持たずに通話することができます。（ハンズフリー通話）
相手の声はスピーカーから聞こえます。話すときはマイクに向かって話します。約50cmを目安にお話しください。

●マイクから約50cmを目安にお話しください。

ハンズフリーで電話をかける

親機は ハンズフリー・発信 を、子機は ハンズフリー を押し、ツー音が聞こえたらダイヤルする

● 通常状態で電話番号を入力したあとに、親機は ハンズフリー/発信 、子機は ハンズフリー を押しても、電話をかけることができます。（先押しダイヤル／最大20桁まで）

ハンズフリーで電話を受ける

呼出音が鳴ったら、親機は ハンズフリー・発信 を、子機は ハンズフリー を押す

■ **ハンズフリー通話を終わらせるときは、親機は ハンズフリー・発信 、子機は 切 を押します。**

■ **ハンズフリー通話中、親機は受話器をとる、子機はもう一度 ハンズフリー を押すと、通常の通話に切りかわります。**

ハンズフリー通話を使用するときのご注意

● **騒音のない静かな場所でご使用ください。** 周りの音が大きいときや騒がしいときは、自分の声や相手の声がとぎれて会話しにくくなることがあります。
● マイクからの距離は、約50cmが目安です。離れすぎると相手に声が届きにくくなります。また、近すぎると声が大きすぎて反響し、相手の声が聞きとりにくくなります。
● 相手の話がいったん終わったところで話すと、スムーズな会話をすることができます。
● 子機を手に持ってレシーバーを耳に当てた状態で、ハンズフリー通話をご使用にならないでください。
● 天気予報（177）など、連続してスピーカーで聞く場合は、音声がとぎれる場合があります。

● ハンズフリー通話中は、液晶画面に親機は「」、子機は「」が表示されます。
● ハンズフリーでドアホンと話すことはできません。
● ハンズフリー通話中に、相手の声が聞きとりにくいときは、親機は を回して、子機は 上下左右（選択） の上または下を押してスピーカー音量を調節してください。（107ページ）
● 内線通話中または子機間通話中、三者通話中など（37～43ページ）に、ハンズフリー通話をすることができます。送り手と受け手の両方でハンズフリー通話した場合、送り手と受け手の距離が近いと、声が反響して相手の声が聞きとりにくくなります。
● 携帯通話プリセット機能（98～103ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき親機の液晶画面の「」が約5秒間点滅します。
● 子機が充電器上にあるときは、子機でハンズフリー通話をすることはできません。

保留する

通話中、相手に待ってもらう間、保留メロディ「曲名：カノン」を流すことができます。
こちらの声や音は、相手には聞こえません。
（保留メロディは1種類です。）

おしらせ

- 内線通話、子機間通話、三者通話中は、保留できません。
- 外からの電話を保留している状態が約15～16分間続くと、自動的に電話は切れます。
- 保留したあと、親機は受話器を戻すか、［再生 ►/停止］を押す、子機は充電器に戻すか、［切］を押すと、保留した親機や子機以外でも、電話に出ることができます。親機は受話器をとる、子機は［ ］を押すか、充電器上にあるときは子機をとってください。
- 通話中のドアホン呼出しに対し、通話を保留してドアホンに応答したり、呼びかけたりすることはできません。ドアホンの呼出音が鳴ってから約30秒以内に外からの通話を終わらせ、ドアホンに応答してください。（97ページ）

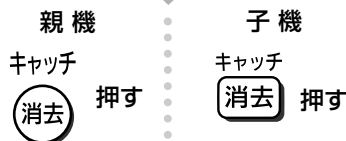
キャッチホンを受ける

NTTのキャッチホンサービス（有料）にご契約されると、通話中にかかってきた別の相手とお話しすることができます。

■ ご契約に関しては、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。

キャッチホンを受ける

外線通話中にキャッチホンの信号音（「プッ、プッ・・・」）が聞こえたら、

親 機	子 機
キャッチ［消去］押す	キャッチ［消去］押す

- キャッチホンで割り込んできた相手に切りかわります。
- もう一度押すと、もとの相手との通話に戻ります。

おしらせ

- キャッチホンサービスをご利用のとき、［キャッチ/消去］を押してから、新しくかかってきた人につながるまで、多少時間がかかることがあります。
- ファクシミリに接続すると、キャッチホンサービスを利用できない場合があります。必ず、ファクシミリに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ［キャッチ/消去］のかわりにフックスイッチを押すと、通話が切れたり、切りかえたあとの操作で通話がとぎれたりする場合があります。通話を切りかえるときは［キャッチ/消去］を押してください。

通話を録音する（通話録音）

通話中の会話を録音することができます。（最大約10分間）録音時間は、留守録音した用件や留守番の自作メッセージの長さによって変わります。

■ **必ず液晶画面の表示を確認して、ゆっくり操作してください。続けて押すと、録音の開始や停止ができない場合があります。**

通話を録音する

外線通話中に

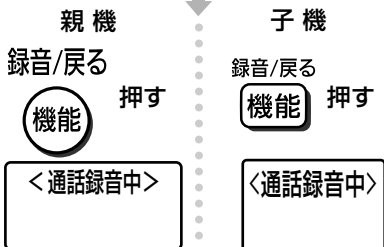
親機

録音/戻る 機能 押す

＜通話録音中＞

子機

録音/戻る 機能 押す

〈通話録音中〉

●録音開始日時が自動的に記録されます。
●発信時やナンバー・ディスプレイご利用時は、電話番号も表示されます。

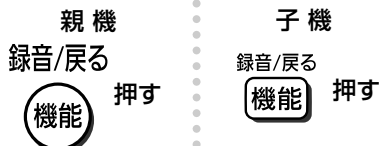
録音を終わらせるには

親機

録音/戻る

機能 押す

子機

録音/戻る 機能 押す

■ **通話録音した内容は、「用件を再生する」（46～47ページ）の操作を行なうと、録音された用件と一緒に再生されます。**
■ **留守セット中に通話録音すると、親機の 留守 が点滅します。**

おしらせ

●親機の 内線/文字/保留 や子機の 内線/保留/文字 を押したときや、録音可能時間がなくなったときは、録音を終了します。
●録音の残り時間がないときや録音件数が59件のとき、または内線通話、子機間通話、三者通話、ドアホン通話中は、録音することができません。
●約1秒程度の短い録音は、用件1件として認識されない場合があります。
●録音中にキャッチホンが入ると、キャッチホンの信号音（「ピポ、ジャー」または「ピポ」）が録音され、通話録音を継続します。
●キャッチホン・ディスプレイ（76ページ）利用中で通話録音中のとき、液晶画面はキャッチホンの表示を優先します。

プッシュホンサービスを利用する

ダイヤル回線をお使いの場合でも、相手を呼出したあとに ＊ を押して、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。

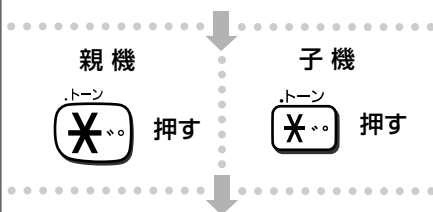
プッシュホンサービスを利用する（トーン信号を送る）

各種サービスにダイヤルし、電話がつながり、案内サービスが流れたら、

親機

トーン ＊ 押す

子機

トーン ＊ 押す

アナウンスにしたがって操作する

●これ以降は、ダイヤルボタンを押すと、トーン信号が送られます。

トーン信号とは、プッシュ回線で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約されている方でも通話中に ＊ を押すことにより、このトーン信号を出すことができます。プッシュ回線をお使いの方は、必要ありません。

おしらせ

● ＊ を使ってもサービスが利用できないときは、サービス提供先にお問い合わせください。また、ご利用のサービスによっては、トーン信号に切りかえなくても利用できる場合や、新幹線の予約などプッシュ回線のご契約が必要な場合もあります。
●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号に戻ります。

まかせて応答を使う

次ページへつづく

（親機）

電話がかかってきたときに、親機の ［留守/まかせて応答］ を押すと、メッセージを流し、相手の声を確認してから、電話に出るかメッセージを流して電話を切るかを選ぶことができます。メッセージはそれぞれ2種類から選ぶことができます。（34～35ページ）ナンバー・ディスプレイ（76ページ）をご利用の場合は、かけてきた相手の電話番号を確認してから、［留守/まかせて応答］ を押すことができます。

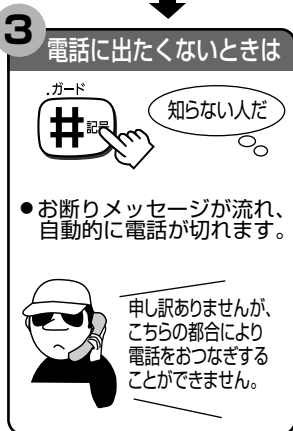
（例:操作イメージ）

1 外線の呼出音が鳴ります。

2

●相手を確認する応答メッセージが流れ、録音を開始します。

3 電話に出たくないときは

●お断りメッセージが流れ、自動的に電話が切れます。

3 電話に出るときは

受話器をとる

親機でまかせて応答を使う

外から電話がかかってきたら、（呼出音が鳴っているときに）

親機の 押す

●相手に応答メッセージが流れ、録音を開始します。（34ページ　応答メッセージを選ぶ）

お断りするときは、 押す

電話に出るときは、受話器をとる

●相手にお断りメッセージが流れ、自動的に電話が切れます。（34ページ　お断りメッセージを選ぶ）

■呼出音が鳴っているときに ［#］ を押してお断りのメッセージ（固定）を流し、自動的に電話を切ることができます。（36ページ）

電話機能

おしらせ

●一度電話に出たあとなど、通話中に親機の ［留守/まかせて応答］ や ［#］ を押しても、応答メッセージやお断りメッセージを流すことはできません。

●留守セット中（または解除中）に親機の ［留守/まかせて応答］ を押しても、留守の設定は変更されません。

●親機で ［留守/まかせて応答］ を押すと、子機で電話に出れなくなります。

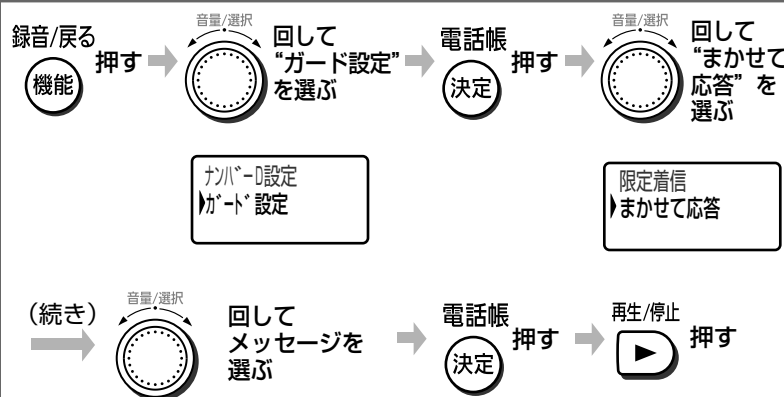
まかせて応答を使う

■まかせて応答の応答メッセージ（着信中に［留守/まかせて応答］を押したときに流れるメッセージ）を選ぶ

親機でまかせて応答の応答メッセージを切りかえる

(受話器をのせたままで操作します)

ﾅﾝﾊﾞｰD設定
▶ｶﾞｰﾄﾞ設定

■まかせて応答のお断りメッセージ（［#］を押して電話を切るときに流れるメッセージ）を選ぶ

●お断りメッセージの種類

メッセージ1	「申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません。」
メッセージ2	「おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。」

●応答メッセージの種類

メッセージ1	「お名前とご用件をお話ください。」
メッセージ2	「迷惑電話を録音します。お名前とご用件をお話ください。」

●録音の残り時間がない場合や録音件数が59件の場合でもメッセージ2が流れますが、実際に録音はできません。

お断りのメッセージを流して電話を切る

かかってきた電話にでたくないときは、呼出音が鳴っているときに、［＃］を押すと、お断りのメッセージ（固定）を流し、自動的に電話を切ることができます。ナンバー・ディスプレイ（76ページ）をご利用の場合は、かけてきた相手の電話番号を確認してから、［＃］を押して、お断りすることができます。(87ページ)

■ お断りのメッセージは「おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」です。まかせて応答で選んだメッセージ（33〜35ページ）と異なります。変えることはできません。

（例:操作イメージ）

■ 親機は呼出音が鳴っているときに［留守/まかせて応答］を押して相手の声を確認してから、電話に出るか、お断りメッセージを流して電話を切ることができます。(34ページ)

おしらせ

- 一度電話に出たあとなど、通話中に［＃］を押しても、お断りのメッセージを流すことはできません。
- ナンバー・ディスプレイをご利用になり、「ガード機能」(86ページ)を設定すると、非通知、公衆電話、表示圏外、親機の電話帳に登録していない相手からかかってきた電話や特定番号からの電話に、自動的に、ガードの種類によって異なるお断りのメッセージを流します。

内線で話す（内線通話/子機間通話）

次ページへつづく

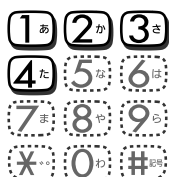
親機と子機や、子機同士で話すことができます。

親機から子機を呼出して話をする

親機［送り手］(受話器をのせたままで操作します)

内線/文字 保留 押す

内線呼出
子機(1)

●名称登録（114～115ページ）している子機があるときは、送り手の液晶画面にその名前が表示されます。（内線ネーム呼出）

ダイヤルボタンで、呼出す子機番号を押す

子機1のとき：1 押す
子機2のとき：2 押す
子機3のとき：3 押す
子機4のとき：4 押す

●ダイヤルボタンを押すかわりに、を回して相手を表示させ、電話帳/決定を押して、呼出すこともできます。

受け手が出たら、受話器をとり、話す

終わるときは、受話器を戻す

子　機［受け手］

ピロピロピロ
ピロピロピロ

呼出音が鳴ったら、充電器からとる

(充電器上にないときは 文字 内線/保留 または 押す)

親機と話す

終わるときは、切 押す(または充電器に戻す)

内線通話中や子機間通話中に外から電話がかかってきたときは

内線通話や子機間通話が自動的に終わり、外からの着信の呼出音（104～105ページ）が鳴ります。

●親機は一度、受話器を戻し、再度、受話器をとると、外の相手と話すことができます。

●子機は を押すと、外の相手と話すことができます。

おしらせ

●内線通話は、通話料金はかかりません。
●呼出しを止めるときは、親機の内線/文字/保留 または 再生►/停止 を押してください。
●子機を2台お使いのときは、外線通話していない親機や子機で、内線通話や子機間通話をすることができます。
●子機を3台以上お使いのときは、内線通話中または子機間通話中に、親機や子機で内線通話や子機間通話することはできません。

内線で話す（内線通話/子機間通話）

子機から親機（または他の子機）を呼出して話をする

子　機［送り手］（切を押してから操作します）

文字 内線/保留 押す

（例）子機を1台お使いのとき

内線呼出
▲▼親機

●名称登録（114～115ページ）している子機があるときは、送り手の液晶画面にその名前が表示されます。（内線ネーム呼出）

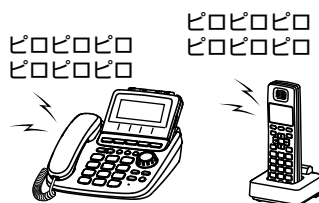
ダイヤルボタンで、呼出す親機または子機番号を押す

親機のとき：0わ 押す
子機1のとき：1あ 押す
子機2のとき：2か 押す
子機3のとき：3さ 押す
子機4のとき：4た 押す

●ダイヤルボタンを押すかわりに、上下左右（選択）の上または下を押して、相手を表示させ、電話帳/決定を押して、呼出すことができます。

受け手が出たら、話す

終わるときは、切 押す
（または　充電器に戻す）

親機・他の子機［受け手］

呼出音が鳴ったら、親機は受話器をとる、子機は充電器からとる
（または　　または 文字 内線/保留 押す）

●名称登録（114～115ページ）している子機からのときは、受け手の液晶画面にその名前が表示されます。（内線ネーム呼出）

子機と話す

終わるときは、親機は受話器を戻す
子機は 切 押す（または　充電器に戻す）

●内線通話や子機間通話は、通話料金はかかりません。
●呼出しを止めるときは、送り手の子機の 内線/保留/文字 または 切 を押してください。
●内線通話中または子機間通話中に、親機は ハンズフリー/発信、子機は ハンズフリー を押すと、ハンズフリー通話（30ページ）をすることができます。送り手と受け手の両方でハンズフリー通話をした場合、送り手と受け手の距離が近いと、声が反響して相手の声が聞きとりにくくなります。

親機や子機を一斉に呼出す（一斉呼出）

子機を2台以上お使いのときは、親機とすべての子機を一斉に呼出して、最初に出た相手と内線通話や子機間通話をすることができます。（一斉呼出）
外線通話中にも利用できます。

親機からすべての子機を一斉に呼出す（受話器をのせたままで操作します）

内線/文字 保留 押す

＃記号 押す

- すべての子機の呼出音が鳴ります。
- ＃ を押すかわりに、（ダイヤル）を回して、”一斉呼出 ”を表示させ、電話帳/決定 を押して、すべての子機を呼出すこともできます。

最初に電話に出た子機と、受話器をとり、話す

終わるときは、受話器を戻す

子機から親機と他の子機を一斉に呼出す（ 切 を押してから操作します）

文字 内線/保留 押す

＃記号 押す

- 親機とすべての子機の呼出音が鳴ります。
- ＃ を押すかわりに、上下左右（選択） の上または下を押して、”一斉呼出”を表示させ、電話帳/決定 を押して、親機とすべての子機を呼出すこともできます。

最初に電話に出た親機または他の子機と話す

終わるときは、切 押す
（または　充電器に戻す）

■ 呼出音が鳴ったら、受け手の子機は充電器からとる（充電器上にないときは （通話） または 内線/保留/文字 を押す）、受け手の親機は受話器をとって話してください。

おしらせ

- 一斉に呼出されたあとに、内線通話ができるのは、最初につながった1台のみです。
- 呼出しを止めるときは、親機の 内線/文字/保留 または 再生►/停止、子機の 内線/保留/文字 または 切 を押してください。
- 外からの電話をまわしているときは、受け手の呼出音が鳴っているときに、送り手の受話器を戻すか 再生►/停止 を押す、子機は充電器に戻すか 切 を押すと、内線の呼出音が止まり、液晶画面に「保留転送」と表示されます。（40～41ページ）
- 親機や子機を呼出中、使用していない他の子機や親機で一斉呼出はできません。

電話をまわす（保留転送/子機間転送）

外からの電話を親機や子機にまわすことができます。子機を2台以上お使いのときは、一斉呼出（37ページ）を利用してまわすこともできます。

親機から子機にまわす

親 機［送り手］

外の相手と通話中に

内線/文字 保留 押す

<保留中>
子機(1)

● 外の相手との通話が保留になり、保留メロディが流れます。
● 名称登録（114～115ページ）している子機があるときは、送り手の液晶画面にその名前が表示されます。（内線ネーム呼出）

ダイヤルボタンで、呼出す子機番号を押す

子機1のとき：1 押す
子機2のとき：2 押す
子機3のとき：3 押す
子機4のとき：4 押す

● ダイヤルボタンを押すかわりに、 を回して相手を表示させ、電話帳/決定を押して、呼出すこともできます。

受け手が出たら、通話をまわすことを伝える

終わるときは、受話器を戻す

● 内線通話が終わり、子機と外の相手が通話できます。

子 機［受け手］

ピロピロピロ
ピロピロピロ

呼出音が鳴ったら、充電器からとる

（充電器上にないときは 文字（内線/保留） または 押す）

親機と話す

外の相手と話す

おしらせ

● 呼出しを止めるときは、親機の 内線/文字/保留 を押してください。外の相手との通話を保留している状態に戻ります。もう一度押すと、保留が解除されて通話に戻ります。
● 内線通話中の親機や子機に、外からの電話をまわすことはできません。
● 受け手の呼出音が鳴っているときに、親機の受話器を戻すと、内線の呼出音が止まり、液晶画面に「保留転送」と表示されます。このとき、親機は受話器をとる、子機は を押すか充電器からとると、最初に出た親機または子機で、保留中の外線と通話することができます。

子機から親機（または他の子機）にまわす

子　機［送り手］

外の相手と通話中に

文字（内線/保留）押す

（例）子機を1台お使いのとき

〈保留中〉
↕親機

- 外の相手との通話が保留になり、保留メロディが流れます。
- 名称登録（114～115ページ）している子機があるときは、送り手の液晶画面にその名前が表示されます。（内線ネーム呼出）

ダイヤルボタンで、呼出す親機または子機番号を押す

親機のとき：0わ 押す
子機1のとき：1あ 押す
子機2のとき：2か 押す
子機3のとき：3さ 押す
子機4のとき：4た 押す

- ダイヤルボタンを押すかわりに、［上下左右（選択）］の上または下を押して、相手を表示させ、［電話帳/決定］を押して、呼出すことができます。

受け手が出たら、通話をまわすことを伝える

終わるときは、［切］押す
（または　充電器に戻す）

- 内線通話が終わり、親機（または他の子機）と外の相手が通話できます。

親機・他の子機［受け手］

ピロピロピロ
ピロピロピロ

ピロピロピロ
ピロピロピロ

呼出音が鳴ったら、親機は受話器をとる、子機は充電器からとる
（または 文字（内線/保留） または ［☎］ 押す）

- 名称登録（114～115ページ）している子機からのときは、受け手の液晶画面にその名前が表示されます。（内線ネーム呼出）

子機と話す

外の相手と話す

おしらせ

- 呼出しを止めるときは、子機の送り手の［内線/保留/文字］を押してください。外の相手との通話を保留している状態に戻ります。もう一度押すと、保留が解除されて通話に戻ります。
- 受け手の呼出音が鳴っているときに、子機を充電器に戻すか、［切］を押すと、内線の呼出音が止まり、液晶画面に「保留転送」と表示されます。このとき、親機は受話器をとる、子機は［☎］を押すか充電器からとると、最初に電話に出た親機または子機で、保留中の外線と通話することができます。

3人で話す（三者通話）

親機、子機、外の相手の3人で話すことができます。子機を2台以上お使いのときは、子機どうしと外の相手の3人で話すことができます。

親機から子機を呼出して三者通話をする

親　機［送り手］

外の相手と通話中に

内線/文字 （保留） 押す

<保留中>
▲▼子機(1)

- 外の相手との通話が保留になり、保留メロディが流れます。
- 名称登録（114～115ページ）している子機があるときは、送り手の液晶画面にその名前が表示されます。（内線ネーム呼出）

ダイヤルボタンで、呼出す子機番号を押す

子機1のとき：（1あ）押す
子機2のとき：（2か）押す
子機3のとき：（3さ）押す
子機4のとき：（4た）押す

- ダイヤルボタンを押すかわりに、◎を回して相手を表示させ、［電話帳/決定］を押して、呼出すこともできます。

受け手が出たら、3人で話すことを伝える

録音/戻る （機能） を押し、3人で話す

3人で話す

子　機［受け手］

ピロピロピロ
ピロピロピロ

呼出音が鳴ったら、充電器からとる

（充電器上にないときは（文字 内線/保留）または（☎）押す）

親機と話す

3人で話す

三者通話中
親機

- 受け手が三者通話に切りかえることはできません。

外の相手

ご注意

- 三者通話から外の相手との二者通話にするときは、三者通話中の親機または子機のどちらかで親機は受話器を戻す、子機は［切］を押し、通話を止めてください。子機を2台以上お使いのとき、親機と子機で三者通話中に別の子機に保留転送するには、二者通話にしてから保留転送（40～41ページ）の操作をしてください。
- 三者通話中は通話を保留したり、通話録音はできません。

子機から親機（または他の子機）を呼出して三者通話をする

子　機［送り手］

外の相手と通話中に　（例）子機を1台お使いのとき

内線/保留　**押す**

〈保留中〉
▲▼親機

- 外の相手との通話が保留になり、保留メロディが流れます。
- 名称登録（114～115ページ）している子機があるときは、送り手の液晶画面にその名前が表示されます。（内線ネーム呼出）

ダイヤルボタンで、呼出す親機または子機番号を押す

親機のとき：［0わ］押す
子機1のとき：［1あ］押す
子機2のとき：［2か］押す
子機3のとき：［3さ］押す
子機4のとき：［4た］押す

- ダイヤルボタンを押すかわりに、［上下左右（選択）］の上または下を押して、相手を表示させ、［電話帳/決定］を押して、呼出すことができます。

受け手が出たら、3人で話すことを伝える

録音/戻る ［機能］ **を押し、3人で話す**

親機・他の子機［受け手］

呼出音が鳴ったら、親機は受話器をとる、子機は充電器からとる
（または［受話器］ または 文字 内線/保留 押す）

- 名称登録（114～115ページ）している子機からのときは、受け手の液晶画面にその名前が表示されます。（内線ネーム呼出）

子機と話す

3人で話す
- 受け手が三者通話に切りかえることはできません。

3人で話す

外の相手

留守セット／留守解除

固定メッセージを内蔵していますので、親機の［留守］を押すだけで、簡単に留守セットできます。留守セット中に電話がかかってくると、設定した呼出回数（49ページ）の呼出音が鳴ったあとに応答メッセージを流し、相手の用件を録音します。自分で応答メッセージを録音することもできます。（自作メッセージ　50ページ）

■用件を録音できる時間は、合計約10分（自作メッセージ・通話録音を含む）、件数では最大59件まで（通話録音を含む）です。

■1件あたりの最大録音時間は、約5分です。約8秒以上無音が続いたときや、相手が何も話さなかったとき、声が小さいときは、自動的に録音を終了します。

固定メッセージ	「おそれいりますが、ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話ください。」

■自作または固定メッセージで留守セット中、録音の残り時間がなくなったときや録音件数が59件に達したときは、用件が録音できなくなるため、自動的に固定応答専用メッセージに切りかわり、留守セットできなくなります。固定応答専用メッセージは「おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。」です。任意に設定することはできません。

■録音がいっぱいになった場合、用件を消去すると、再び留守セットできるようになります。録音時間の短い用件を1件消去しても留守セットできない場合は、各用件の内容を確認し、複数の用件またはすべての用件を消去してください。（48ページ）

留守番機能

親機で留守セットする
(受話器をのせたままで操作します)

まかせて応答
［留守］押す（点灯または点滅）

- 応答メッセージが流れて、留守セットされます。子機の液晶画面に **留守** が表示されます。
- ［留守］が赤点滅しているときは、一度も聞いていない用件があるので、すべての用件を再生（46〜47ページ）してください。（点滅から点灯に変わります。）

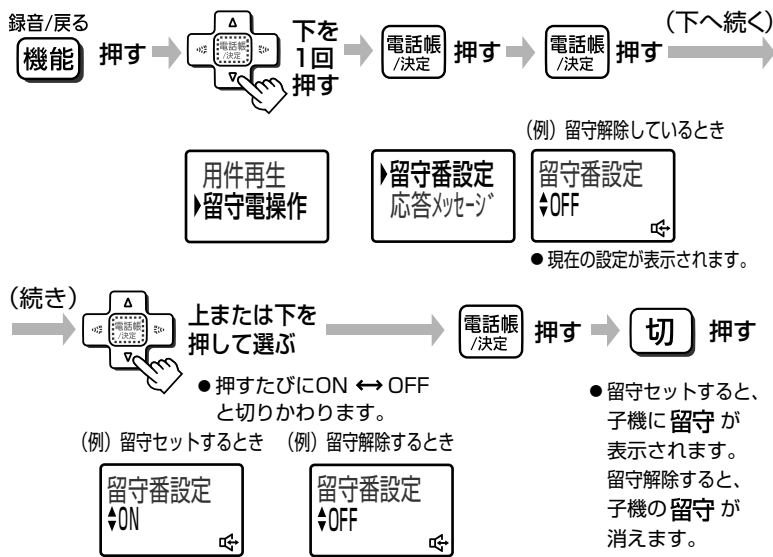
親機で留守解除する
(受話器をのせたままで操作します)

まかせて応答
点灯または点滅している［留守］押す（消灯）

- 子機の液晶画面の **留守** が消えます。
- 留守解除され、新しい用件と着信日時が1件目から再生されます。新しい用件が録音順に再生されたあと、一度聞いた用件が再生されます。新しい用件がなく、一度聞いた用件があるときは、一度聞いた用件が再生されます。（お知らせガイダンスと再生の順番　46ページ）

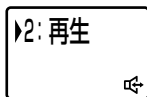
■親機の呼出音量を消音にしてから留守セットすると、親機の呼出音やスピーカーからの音を出さずに留守応答できます。（消音留守セット）
また、親機で消音留守セットしても、電話がかかってくると、子機の呼出音は鳴ります。必要に応じて、子機の呼出音量を消音に設定してください。（104〜105ページ）

おしらせ

- 留守応答中にドアホンから呼出しがあっても、ドアホンの呼出音は鳴りますが、ドアホンに応答することはできません。この場合、一度、応答中の電話にでて、電話を切るか、留守応答が終了してから、ドアホンに応答してください。ドアホンの呼出音が鳴ってから約30秒を過ぎた場合は、ドアホンに呼びかける操作（95ページ）をしてください。

留守応答中に相手を確認してから電話に出る（居留守モニター）

- 親機は、留守応答中にかけてきた相手の声がスピーカーから出ます。（ただし、親機で呼出音量を「消音」に設定しているときは、聞こえません。104～105ページ）
- 子機は、留守応答中にかけてきた相手の声がスピーカーから出ません。留守応答中（子機の液晶画面に「留守着信中」と表示されているとき）に、機能/録音/戻る を押すと、相手の声を聞くことができます。（同時に2台まで）
- 相手を確認したあとで、電話に出るときは、親機は受話器をとってください。子機は充電器からとるか、充電器上にないときは [☎] を押してください。留守動作が自動的に停止します。
- 相手の声を聞いているときのスピーカー音量を調節するには、親機は [ダイヤル] を回して調節してください。子機は 上下左右（選択） の上または下を押して調節してください。（107ページ）

録音された用件を聞く（用件再生）

親機で用件を再生する (受話器をのせたままで操作します)	再生/停止 押す ●新しい用件と着信日時を、1件目からお知らせします。新しい用件がなく、一度聞いた用件があるときは、一度聞いた用件が再生されます。 ●留守セット中に、新しい用件をすべて再生すると 留守 が点滅から点灯に変わります。
子機で用件を再生する (切を押してから操作します)	録音/戻る 機能 → 電話帳/決定 と押す → 電話帳/決定 押す → 終わるときは 切 押す ▶2: 再生 ●このとき、2か を押しても再生できます。 ●新しい用件と着信日時を、1件目からお知らせします。新しい用件がなく、一度聞いた用件があるときは、一度聞いた用件が再生されます。用件再生中に ハンズフリー を押すと、レシーバーで聞くことができます。押すたびにレシーバー ↔ スピーカーと切りかわります。 ●留守セット中に、新しい用件をすべて再生すると、親機の 留守 が点滅から点灯に変わります。

■ナンバー・ディスプレイ（76ページ）をご利用になり、かけてきた相手の電話番号が通知されているときは、用件再生中に留守録音した相手の電話番号や名前を表示します。(ナンバースタンプ)

■用件再生中、表示されている電話番号や名前の相手に簡単に電話をかけることができます。（リターンダイヤル）

お知らせガイダンスと再生の順番

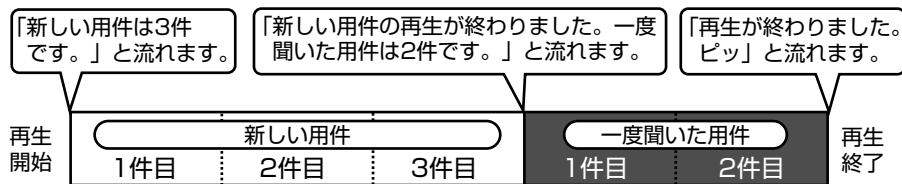
（例）新しい用件が3件、一度聞いた用件が2件のとき

「新しい用件は3件です。」と流れます。

「新しい用件の再生が終わりました。一度聞いた用件は2件です。」と流れます。

「再生が終わりました。ピッ」と流れます。

再生開始	新しい用件			一度聞いた用件		再生終了
	1件目	2件目	3件目	1件目	2件目	

おしらせ

●通話録音（32ページ）した内容は、用件と一緒に再生されます。

●再生中のスピーカー音量は、親機は ◎ を回して、子機は 上下左右（選択） の上または下を押して調節してください。（107ページ）

●電話番号が表示されないときは（非通知、公衆電話、表示圏外、受信エラー）、リターンダイヤルを使ってかけることはできません。

留守番機能

●再生中にできること

	親機	子機
いま再生中の用件を聞き直す	1あ	1あ
1つ前の用件を聞く	1あ ➡ 1あ（続けて押す）	1あ ➡ 1あ（続けて押す）
次の用件を聞く	3さ	3さ
用件をゆっくり再生する（押すたびに 普通→ゆっくり1→ゆっくり2 と切りかわります。）	6は（ゆっくり）	
再生を止める	再生/停止 ▶	切
リターンダイヤル※1（ナンバー･ディスプレイ利用時）	電話番号※2 表示中に受話器をとる または ハンズフリー 発信 押す	電話番号 ※2 表示中に 押す

※1…リターンダイヤルの操作は、「お知らせガイダンス」（46ページ）が流れたあとの用件再生中（電話番号（または名前）表示から、その用件の着信日時表示に切りかわるまで）に行なってください。

※2…親機の電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたときは、電話番号のかわりに名前が表示されます。

録音された用件を消す（用件消去）

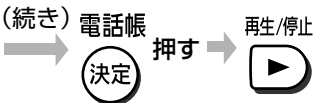
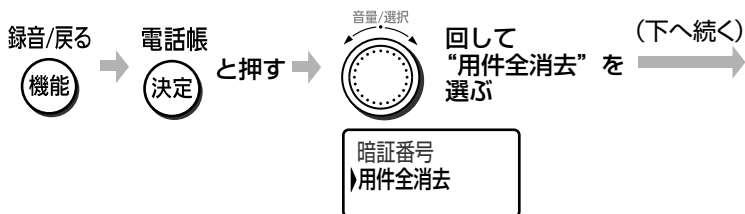
親機で用件を1件ずつ消去する	消去したい用件を再生中に（46～47ページ）	キャッチ	押す	●通話録音（32ページ）した内容も消去することができます。
子機で用件を1件ずつ消去する	消去したい用件を再生中に（46～47ページ）	キャッチ	押す	●通話録音（32ページ）した内容も消去することができます。

親機で用件を全て消去する（用件全消去）
（受話器をのせたままで操作します）

録音/戻る（機能） → 電話帳（決定）と押す →

回して"用件全消去"を選ぶ （下へ続く）

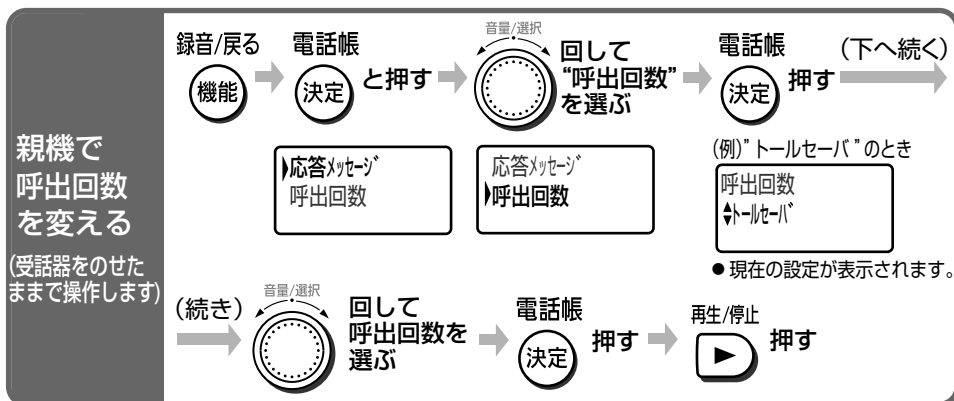
暗証番号
▶用件全消去

（続き）電話帳（決定）押す → 再生/停止 押す

●通話録音（32ページ）した内容も含め、すべての用件が消去されます。

おしらせ

●用件全消去は、子機ではできません。1件ずつ消去してください。

留守応答時の呼出回数を変える

留守番の応答メッセージが流れるまでの呼出回数を変えることができます。
お買い上げ時は、「トールセーバ」（56ページ）に設定されています。
トールセーバ、2回、5回、8回、11回の中から選ぶことができます。

留守番機能

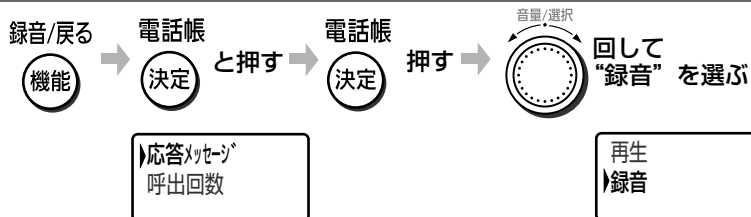
● 電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本機の呼出回数が一致しない場合があります。（56ページ）
● 呼出回数を変えただけでは留守セットされません。必ず、留守セットしてください。

留守応答メッセージについて

自分の声で留守応答メッセージを一種類つくることができます。(**自作メッセージ**)**留守**応答メッセージを録音すると、自動的に内蔵されている留守固定メッセージから自作メッセージに切りかわります。留守応答メッセージは、まかせて応答で流れる応答メッセージとは異なります。(33～35ページ)

親機で自作メッセージを録音する
(受話器をのせたままで操作します)

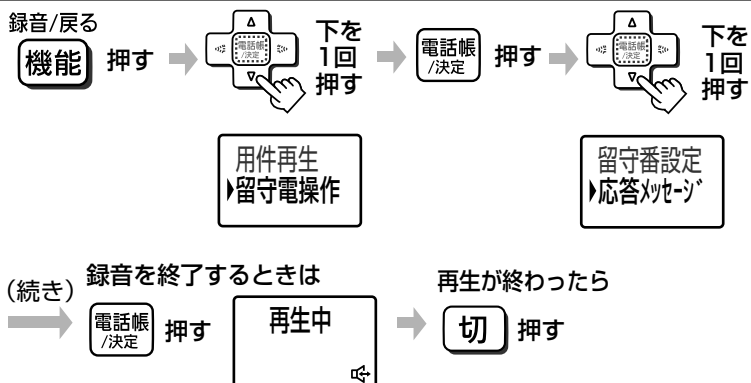
録音/戻る［機能］→ 電話帳［決定］と押す → 電話帳［決定］押す → 音量/選択 回して"録音"を選ぶ

画面表示：▶応答ﾒｯｾｰｼﾞ／呼出回数
画面表示：再生／▶録音

子機で自作メッセージを録音する
(［切］を押してから操作します)

録音/戻る［機能］押す → 下を1回押す → ［電話帳/決定］押す → 下を1回押す

画面表示：用件再生／▶留守電操作
画面表示：留守番設定／▶応答ﾒｯｾｰｼﾞ

(続き) 録音を終了するときは［電話帳/決定］押す → 再生が終わったら［切］押す

画面表示：再生中

● 録音したメッセージが自動的に再生されます。
(スピーカーから聞こえます。)

自作メッセージの例：
「はい、○○です。ただ今、出かけております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

おしらせ

● 音楽などを録音すると、雑音が入ったり、音質が悪くなったりする場合があります。
● 用件を録音できる時間(44ページ)は、自作メッセージの長さに応じて短くなります。
● 自作メッセージを録音していても、録音の残り時間がなくなったときや録音件数が59件に達したときは、自動的に固定応答専用メッセージ(44ページ)に切りかわります。
● 自作メッセージがすでに録音されているときに、新たにメッセージを録音すると、新しい自作メッセージが上書きされます。
● 録音中に外から電話がかかってくると、録音は中止され、そこまでの内容が自作メッセージとして録音されます。電話が終わったあとで、録音し直してください。

次ページへつづく

電話帳 決定 押す → 受話器をとり、「ピーッ」と鳴ったら、録音する（最大約30秒） → 録音を終了するときは 電話帳 決定 押す → 再生が終わったら 再生/停止 ▶ を押し、受話器を戻す

●「録音がいっぱいです」と表示されたときは、録音できません。不要な用件を消去してください。（48ページ）

録音中
終了＝[決定]

●録音したメッセージが自動的に再生されます。

電話帳/決定 押す → 下を1回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 を押し、（下へ続く）

「ピーッ」と鳴ったら、録音する（最大約30秒）

再生
▶録音

●「録音がいっぱいです」と表示されたときは、録音できません。不要な用件を消去してください。（48ページ）

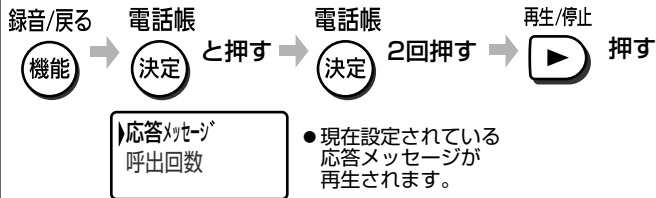
録音中
終了＝[決定]

留守番機能

親機で設定されている応答メッセージを確認する（受話器をのせたままで操作します）

録音/戻る 機能 → 電話帳 決定 と押す → 電話帳 決定 2回押す → 再生/停止 ▶ 押す

▶応答ﾒｯｾｰｼﾞ
呼出回数

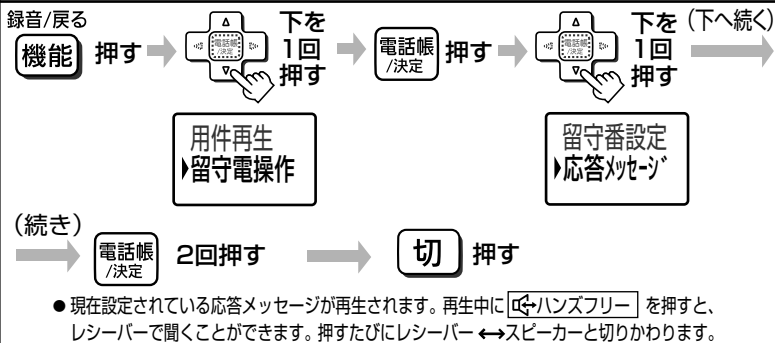
●現在設定されている応答メッセージが再生されます。

子機で設定されている応答メッセージを確認する（切を押してから操作します）

録音/戻る 機能 押す → 下を1回押す → 電話帳/決定 押す → 下を1回押す （下へ続く）

用件再生
▶留守電操作

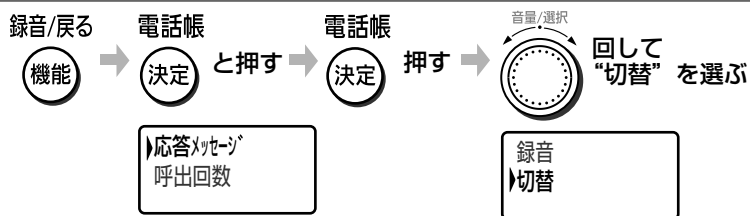
留守番設定
▶応答ﾒｯｾｰｼﾞ

（続き） 電話帳/決定 2回押す → 切 押す

●現在設定されている応答メッセージが再生されます。再生中に ハンズフリー を押すと、レシーバーで聞くことができます。押すたびにレシーバー↔スピーカーと切りかわります。

留守応答メッセージについて

親機で応答メッセージを切りかえる
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る 機能 → 電話帳 決定 と押す → 電話帳 決定 押す → 音量/選択 回して"切替"を選ぶ

画面: ▶応答ﾒｯｾｰｼﾞ / 呼出回数
画面: 録音 / ▶切替

子機で応答メッセージを切りかえる
(切を押してから操作します)

録音/戻る 機能 押す → 下を1回押す → 電話帳/決定 押す → 下を1回押す

画面: 用件再生 / ▶留守電操作
画面: 留守番設定 / ▶応答ﾒｯｾｰｼﾞ

(続き) → 電話帳/決定 押す → 切 押す

- 自作メッセージが録音されていないと、自作メッセージに切りかえることはできません。
- 応答メッセージを切りかえただけでは、留守セットされません。必ず、留守セットしてください。(45ページ)

電話帳 決定 押す → 音量/選択 回して メッセージを選ぶ → 電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

（例）自作メッセージのとき

固定ﾒｯｾｰｼﾞ
▶自作ﾒｯｾｰｼﾞ

●現在の設定が選択されています。

（例）固定メッセージのとき

▶固定ﾒｯｾｰｼﾞ
自作ﾒｯｾｰｼﾞ

●自作メッセージが録音されていないと、自作メッセージに切りかえることはできません。

●応答メッセージを切りかえただけでは、留守セットされません。必ず、留守セットしてください。（44ページ）

電話帳/決定 押す → 下を2回押す → 電話帳/決定 押す → 上または下を押してメッセージを選ぶ （下へ続く）

録音
▶切替

（例）自作メッセージのとき

固定ﾒｯｾｰｼﾞ
▶自作ﾒｯｾｰｼﾞ

●現在の設定が選択されています。

（例）固定メッセージのとき

▶固定ﾒｯｾｰｼﾞ
自作ﾒｯｾｰｼﾞ

留守番機能

暗証番号の登録

（親機）

暗証番号（3桁）を登録すると、外出先から電話をかけて、リモコン操作（55～56ページ）で留守番電話に録音されている用件を聞いたり、留守セットできます。

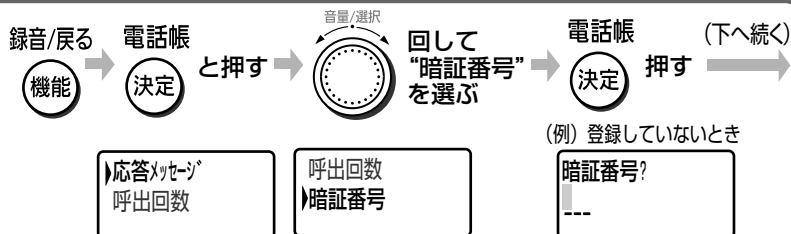
親機で暗証番号を登録・修正する

(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る［機能］→ 電話帳［決定］と押す → 音量/選択 回して"暗証番号"を選ぶ → 電話帳［決定］押す （下へ続く）

▶応答ﾒｯｾｰｼﾞ 呼出回数

呼出回数 ▶暗証番号

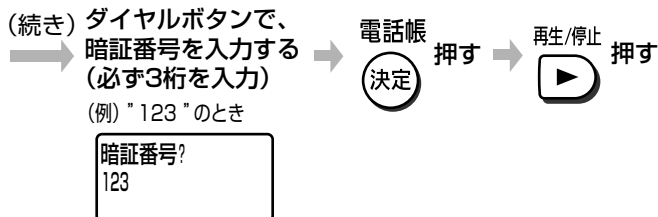
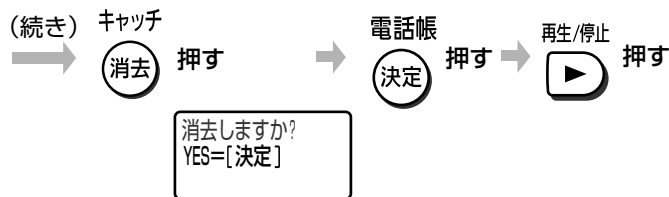
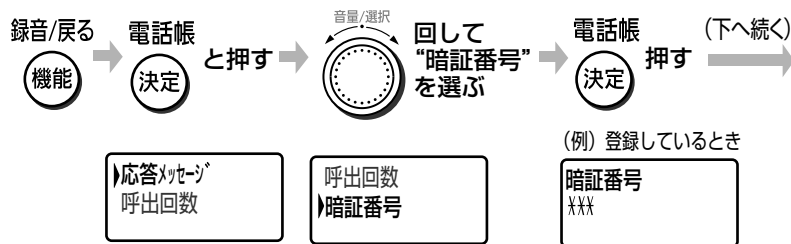
（例）登録していないとき

暗証番号? ▮ ---

- すでに登録しているときは、「＊＊＊」と表示されます。修正するときは、ここで 電話帳/決定 を押します。

（続き）ダイヤルボタンで、暗証番号を入力する（必ず3桁を入力） → 電話帳［決定］押す → 再生/停止［▶］押す

（例）"123"のとき

暗証番号? 123

外出先から用件を聞く（リモコン操作） 次ページへつづく

暗証番号を登録しておくと、外出先から自宅に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を再生して聞いたり、留守セット／解除ができます。リモコン操作をする場合、プッシュホンまたはトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出せる電話機から電話をかけてください。

1 暗証番号を登録する（54ページ）

2 お出かけ前に、留守セットする（44ページ）

親機の まかせて応答 留守 押す（点灯または点滅）

3 外出先から用件を聞く

自宅に電話をかける

↓

応答メッセージが聞こえたら「# 暗証番号」を押す（約30秒以内）

● 約8秒以上間隔をあけないでください。

↓

新しい用件が1件目から再生される

● 再生中に 2 を押すか、用件をすべて再生すると、**リモコン待ち状態**（約20秒間）になります。
● 再生が終わると「再生が終わりました」とお知らせします。
● 新しい用件がないときは、一度聞いた用件を再生します。一度聞いた用件も録音されていないときは「用件は録音されていません」とお知らせします。

↓

電話を切る

再生中にできること	押すボタン
再生を止める（リモコン待ち状態になります。）	2 を押す
再生中の用件を聞き直す	1 を押す
1つ前の用件を聞く	1 を2回押す（約2秒以内に約1秒間隔で続けて押す）
次の用件を聞く	3 を押す
現在再生中の用件を消去する（個別消去）	# 4 を押す

リモコン待ち状態のとき	押すボタン
用件をはじめから聞き直す	2 を押す
留守セット／解除する	# 6 を押す
用件をすべて消去する	# ＊ を押す

おしらせ

● 「3 外出先から用件を聞く」で、「# 暗証番号」を押しても、用件が再生されないときは、再度、「# 暗証番号」を押してください。
● 暗証番号を押し間違えても電話は切れませんが、入力間隔を約8秒以上あけると、電話は切れます。（固定応答専用メッセージ（44ページ）が聞こえたときは、約30秒以内に暗証番号を入力しないと、電話は切れます。）
● リモコン待ち状態のとき、約20秒間何もしないでいると、電話は切れます。
● 自作メッセージを録音していても、録音の残り時間がなくなったときや、録音件数が59件に達したときは、自動的に固定応答専用メッセージ（44ページ）になります。固定応答専用メッセージが聞こえた場合も、#暗証番号を入力すると、通常の場合と同様にリモコン操作を行なうことができます。
● 録音がいっぱいのときは、新たに録音できません。再生中に # 4 を押して個別消去するか、リモコン待ち状態のときに # ＊ を押して、用件をすべて消去してください。
● リモコン操作で用件を聞いても、留守セットは解除されません。

外出先から用件を聞く（リモコン操作）

トールセーバ機能

新しい用件が録音されていないときは、約6回目の呼出音でつながり、録音されているときは約3回目の呼出音でつながります。留守番電話につながる前の呼出回数で、新しい用件の有無を確認することができるので便利です。

外から電話をかける

約3回目の呼出音でつながったとき
→新しい用件が録音されています。

暗証番号を入力すると、新しい用件1件目から再生します。

外から電話をかける

約3回目の呼出音でつながらず、約6回目でつながったとき
→新しい用件が録音されていません。
（4回目の呼出音が聞こえてすぐに電話を切ると、通話料金がかかりません。）

- どちらの場合も、電話がつながったら通話料金がかかります。
- 電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本機の呼出音の回数が一致しないことがあります。

外出先から留守セットする

（あらかじめ暗証番号の登録が必要です。47ページ）

自宅に電話をかけ呼出音を約15回鳴らす

固定応答専用メッセージ（「おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。」）が聞こえたら、

「(#)暗証番号」を押す（約30秒以内）

- 用件があるときは、1件目から再生されます。再生中に (2) を押すか、用件をすべて再生すると、リモコン待ち状態になります。
- 用件がないとき「用件は録音されていません」と聞こえ、リモコン待ち状態になります。

リモコン待ち状態のときに

 を押す

「留守を設定しました。」と聞こえたら、電話を切る

■リモコン操作がうまくできないときは

症　状	対　応
留守セット／解除ができない	リモコン待ち状態のときに、もう一度 (6) を押すか、(#) を押してから (6) を押す操作をすばやく行なってください。
用件をすべて消去できない	リモコン待ち状態のときに、もう一度 (*) を押すか、(#) を押してから (*) を押す操作をすばやく行なってください。
個別消去できない	用件再生中に、もう一度 (4) を押すか、(#) を押してから (4) を押す操作をすばやく行なってください。
1つ前の用件を聞くことができない	用件再生中に、同じ用件がくり返し再生される場合は、もう一度 (1) をすばやく2回押してください。

電話帳を使ってかける

親機の電話帳を使ってかける（受話器をのせたままで操作します）

かけたい相手を選ぶ → 受話器をとる

- 自動的にダイヤルします。

子機の電話帳を使ってかける（切を押してから操作します）

上または下を押してかけたい相手を選ぶ → 押す

- 自動的にダイヤルします。

- 電話帳は50音順に表示されます。「読み」が未入力→スペース→記号→数字→英字→小文字カタカナ（ヲを含む）→カタカナの順で表示されます。

親機で読みの頭文字を入力してかける（受話器をのせたままで操作します）

電話帳 決定 押す → ダイヤルボタンで、読みの頭文字を入力する（1あ ～ 9ら 、0わ）→ 電話帳 決定 押す → 受話器をとる

- 文字入力のしかたは、60～63ページをご覧ください。
- かけたい相手が表示されないときは、 を回して相手を選んでください。
- 自動的にダイヤルします。

子機で読みの頭文字を入力してかける（切を押してから操作します）

電話帳/決定 押す → ダイヤルボタンで、読みの頭文字を入力する（1あ ～ 9ら 、0わ）→ 電話帳/決定 押す → 押す

- 文字入力のしかたは、60～63ページをご覧ください。
- かけたい相手が表示されないときは、上下左右（選択）の下を押して相手を選んでください。
- 自動的にダイヤルします。

子機の電話帳の相手に184や186などをつけてかける（特番ダイヤル）（切を押してから操作します）

電話帳/決定 押す → ダイヤルボタンで、読みの頭文字を入力する（1あ ～ 9ら 、0わ）→ 電話帳/決定 押す（下へ続く）

- 文字入力のしかたは、60～63ページをご覧ください。
- かけたい相手が表示されないときは、上下左右（選択）の下を押して相手を選んでください。

（続き）録音/戻る 機能 押す → 電話帳/決定 押す → 特番ダイヤルを入力する（最大10桁）→ 押す

（例）非通知でかけるときは 1 8 4 押す

（例）通知してかけるときは 1 8 6 押す

- 自動的にダイヤルします。

- 電話帳表示中に、親機は受話器をとるかわりに ハンズフリー/発信 を押す、子機は を押すかわりに ハンズフリー を押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリー通話することができます。（30ページ）
- 携帯通話プリセット機能（98～103ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の液晶画面の「 」が約5秒間点滅します。
- 親機で電話帳の相手に184や186などをつけてかけること（特番ダイヤル）は、できません。

電話帳に登録する

よく利用される電話番号と名前を、親機、子機それぞれ最大100件まで登録しておくことができます。
また、親機の電話帳はコピーすることもできます。（68～69ページ）

親機で電話帳に登録する（最大100件）
（受話器をのせたままで操作します）

録音/戻る 機能 押す → 音量/選択 回して"電話帳"を選ぶ → 電話帳 決定 2回押す → 名前を入力する（全角10文字/半角20文字） → 電話帳 決定 押す

音質・音量
▶電話帳

（例）はじめて登録するとき

名前?
残り 96件 ［漢］

登録できる残りの件数を表示

●文字入力のしかたは60～63ページをご覧ください。

（例）"川崎"のとき

川崎
> ［漢］

（例）2か（1回）0わ（1回）3さ（1回）2か（2回）（数回）決定（1回）

子機で電話帳に登録する（最大100件）
（切を押してから操作します）

録音/戻る 機能 押す → 下を3回押す → 電話帳/決定 2回押す → 名前を入力する（全角10文字/半角20文字） → 電話帳/決定 押す

音質・音量
▶電話帳

（例）はじめて登録するとき

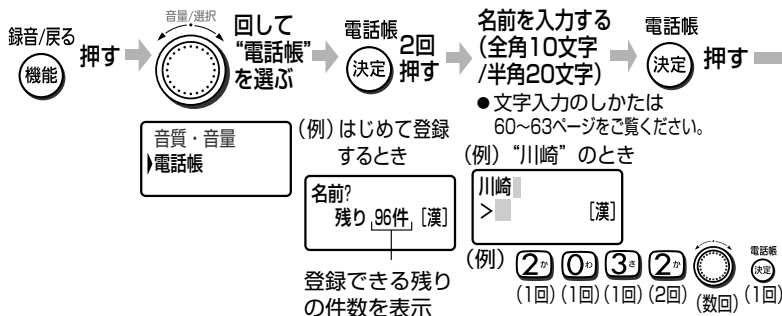
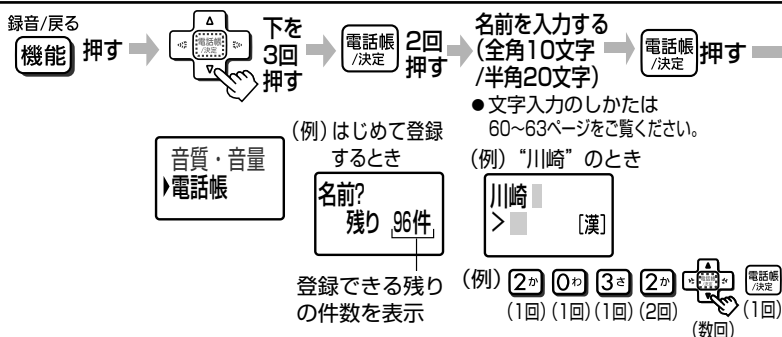
名前?
残り 96件

登録できる残りの件数を表示

●文字入力のしかたは60～63ページをご覧ください。

（例）"川崎"のとき

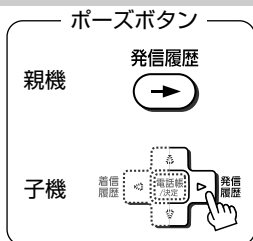
川崎
> ［漢］

（例）2か（1回）0わ（1回）3さ（1回）2か（2回）（数回）電話帳/決定（1回）

■途中で止めるときは、親機は 再生/停止 ▶、子機は 切 を押してください。

ポーズについて

構内交換機（PBX）に接続してお使いのときは、外線につなぐ番号（例：0）のあとに、親機は 発信履歴/→ を押し、子機は 上下左右（選択） の右を押して（液晶画面に「P」と表示）、市外局番から電話番号を入力して電話帳に登録してください。電話帳を使って電話をかけたときに、発信音「ツー」が聞こえるまでの約4秒間のポーズ（待ち時間）を自動的にあけます。

（例）構内交換機（PBX）をご利用時

「0」などの外線接続番号　＋　ポーズ　＋　電話番号

●時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）の4件があらかじめ登録されています。（修正・消去することもできます。）
●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、着信時の電話帳表示（76ページ）、着信履歴（79～81ページ）、鳴り分け（84～85ページ）などを正しく作動させるために、電話帳に電話番号を登録するときは、同一市内でも必ず、市外局番から登録してください。また、同一の電話番号を別の名前などで複数登録しないでください。
●着信履歴から電話帳へ登録するには、82～83ページをご覧ください。

読みを確認する（最大半角12文字） → 電話帳 決定 押す → **ダイヤルボタンで、市外局番から電話番号を入力する（最大20桁）** → 電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

- 修正しないときは、そのまま次の操作を行なってください。
- 修正のしかたは60ページをご覧ください。

（例）“カワサキ”のとき

読み？　［カナ］
カワサキ

（例）2か 0わ 3さ 2か
（1回）（1回）（1回）（2回）

（例）“0312345678”のとき

電話番号？
0312345678

（例）0わ 3さ 1あ 2か 3さ 4た 5な 6は 7ま 8や

- ポーズを入れたいときは、発信履歴/ ➡ を押します。

読みを確認する（最大半角12文字） → 電話帳/決定 押す → **ダイヤルボタンで、市外局番から電話番号を入力する（最大20桁）** → 電話帳/決定 押す → 切 押す

- 修正しないときは、そのまま次の操作を行なってください。
- 修正のしかたは60ページをご覧ください。

（例）“カワサキ”のとき

読み？　［カナ］
カワサキ

（例）2か 0わ 3さ 2か
（1回）（1回）（1回）（2回）

（例）“0312345678”のとき

電話番号？
0312345678

（例）0わ 3さ 1あ 2か 3さ 4た 5な 6は 7ま 8や

- ポーズを入れたいときは、上下左右（選択） の右を押します。

親機の電話帳を確認する
(受話器をのせたままで操作します)

電話帳 決定 押す → **ダイヤルボタンで、読みの頭文字を入力する**（1あ ～ 9ら 、0わ） → 電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

- 文字入力のしかたは、60～63ページをご覧ください。
- 確認したい相手が表示されないときは、（ダイヤル）を回して選んでください。

子機の電話帳を確認する
(切を押してから操作します)

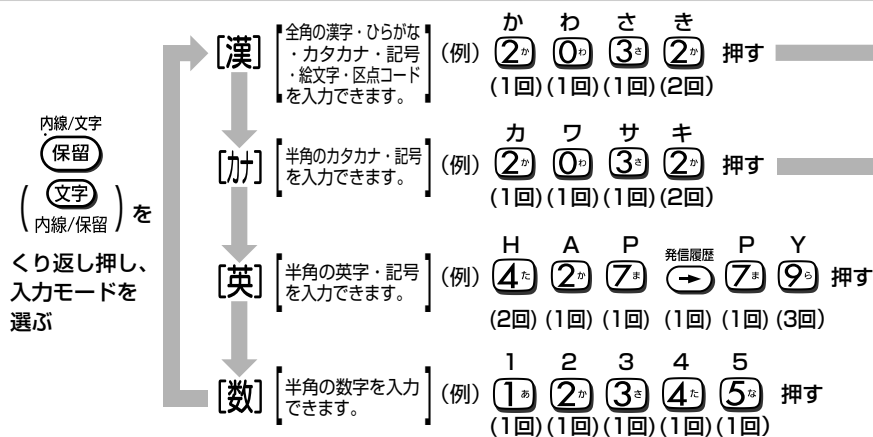
電話帳/決定 押す → **ダイヤルボタンで、読みの頭文字を入力する**（1あ ～ 9ら 、0わ） → 電話帳/決定 押す → 切 押す

- 文字入力のしかたは、60～63ページをご覧ください。
- 確認したい相手が表示されないときは、上下左右（選択） の下を押して選んでください。

- 電話帳は、名前や読みを入力せずに、電話番号だけでも登録することができます。電話番号のみを登録した相手を確認するときは、親機は（ダイヤル）を回して検索してください。子機は 上下左右（選択） の下を押して検索してください。ただし、電話番号のみ登録した相手が複数あると、検索時の表示順は不定になります。（登録順には表示されません。）
- 通話中に、上記操作で電話帳の内容を確認することができます。通話に戻るときは、電話帳/決定 を押してください。

電話帳

文字を入力する

本機には、電話帳の登録（58～59ページ）、名称登録（114～115ページ）などの文字を入力して活用する機能があります。文字の入力が必要になったときは、このページを参照してください。
全角記号・絵文字・区点コードの入力方法は、62～63ページをご覧ください。
● 入力例は親機のボタンと液晶画面で説明しています。
＊（　　）内のボタンは子機のボタンです。

同じボタンの文字を続けて入力する （例）「あい」を入力する場合	1あ（1あ）を1回押し、「あ」を表示させてから 発信履歴 →（発信履歴）を1回押し、カーソルを右へ移動してから 1あ（1あ）を2回押す
スペースを入れる	[英] を表示させてから 1あ（1あ）を押す
カーソルを左に移動する	着信履歴 ←（着信履歴）を押す
カーソルを右に移動する	発信履歴 →（発信履歴）を押す
途中で入力をやめる	再生/停止 ▶（切）を押す
文字を挿入する	挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する
文字を修正する	修正する文字にカーソルを移動し、キャッチ 消去（キャッチ 消去）を押して文字を消してから正しい文字を入力する
文字を消去する	消去する文字にカーソルを移動し、キャッチ 消去（キャッチ 消去）を押す （ただし、電話番号の一部修正はできません。）
文字をすべて消去する	キャッチ 消去（キャッチ 消去）を2秒以上押す

電話帳

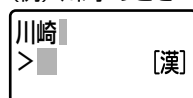
次ページへつづく

漢字・全角カタカナに変換する

［漢］が表示されているときに

親機は 音量/選択 を回して選ぶ

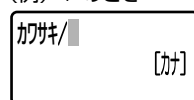
（子機は 電話帳/決定 の下を押して選ぶ）

子機は、確定前の文字入力中は表示されません。

● 文字を入力後、すぐに、親機は ◯ を左に回す、子機は 上下左右（選択） の上を押すと、全角カタカナを表示します。

希望の漢字が表示されたら 電話帳 決定 （電話帳/決定） 押す

（例）“川崎”のとき

● 決定した文字が1行目に表示されます。

半角記号を入力する

［ｶﾅ］または［英］が表示されているときに #記号 （#記号）を押し、記号一覧を表示させてから、

着信履歴 ← または 発信履歴 → （◀ 電話帳/決定 ▶ の左または右）を押して記号を選ぶ

電話帳 決定 （電話帳/決定） 押す

（例）“/”のとき

＜入力例＞

姓と名の間に半角スペースを入れると、読みにも自動的にスペースが入ります。

文字の種類（［漢］、［ｶﾅ］、［英］、［数］を表示）
ただし、電話番号入力時は、［数］は表示されません。
子機で、確定前の文字入力中や変換中は［漢］は表示されません。

文字を入力する

■全角記号・絵文字・区点コードを入力する

文字入力画面で[漢]を表示させた状態で ＃記号（＃記号）を押して、全角記号、絵文字、区点コードのいずれかの入力状態を選ぶことができます。＃記号（＃記号）を押すたびに切りかわります。

電話帳

おしらせ

- 全角記号・絵文字は、一文字入力するたびに全角漢字、ひらがな、カタカナを入力できる[漢]モードに戻ります。全角記号・絵文字を複数入力するときは、操作をくり返してください。
- 区点コードで入力しているときに、4桁入力していない、該当する文字または記号がない場合は、電話帳／決定 を押すと警告音が鳴り、[漢]モードに戻ります。
- 区点コード一覧表に該当する文字がないときは、区点コードを入力しても、文字の［　］欄には、何も表示されません。

■文字入力対応表

ボタン		全角	半角		
親機	子機	[漢]表示	[ｶﾅ]表示	[英]表示[※2]	[数]表示
1あ	1あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	スペース(空白)	1
2か	2か	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABC abc	2
3さ	3さ	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEF def	3
4た	4た	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHI ghi	4
5な	5な	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL jkl	5
6は	6は	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO mno	6
7ま	7ま	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS pqrs	7
8や	8や	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUV tuv	8
9ら	9ら	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ wxyz	9
0わ	0わ	わをん ー(長音)、(読点)。(句点)	ﾜｦﾝ ｰ(長音)		0
＊゛゜	＊゛゜	゛(濁点) ゜(半濁点)	ﾞ(濁点) ﾟ(半濁点)		＊
＃記号	＃記号	記号・絵文字・区点コード[※1]入力	! ' ( ) - . /		#

※1・・・区点コードについては、132～137ページをご覧ください。
※2・・・半角英小文字は、親機のみ入力できます。

■全角記号一覧（実際の表示と字体や形状が多少異なります。）

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’
“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″
℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪
∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯０１２３４５
６７８９ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺａｂｃｄｅｆｇｈ
ｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥ
ΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИ
ЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмн
опрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫
┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂

■絵文字一覧

表示順	1	2	3	4	5	6	7
マーク							
意味	携帯電話	電話	会社	IP電話	ハート	スペード	ダイヤ

表示順	8	9	10	11	12	13	14
マーク							
意味	クラブ	太陽	月	星	花	音符	特別

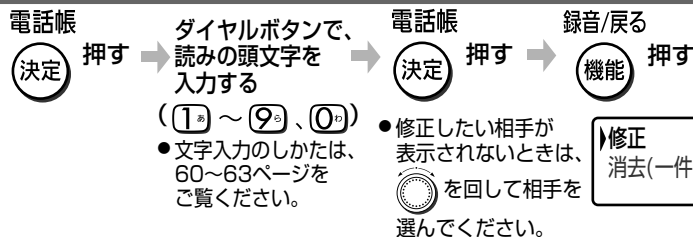
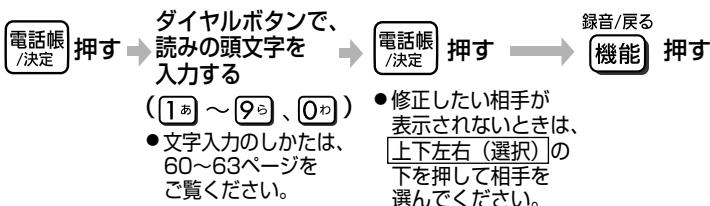
電話帳

電話帳を修正・消去する

親機の電話帳を修正する（受話器をのせたままで操作します）

電話帳 決定 押す → ダイヤルボタンで、読みの頭文字を入力する（1あ ～ 9ら 、0わ）
●文字入力のしかたは、60～63ページをご覧ください。
→ 電話帳 決定 押す
●修正したい相手が表示されないときは、◎を回して相手を選んでください。
→ 録音/戻る 機能 押す

▶修正
消去(一件)

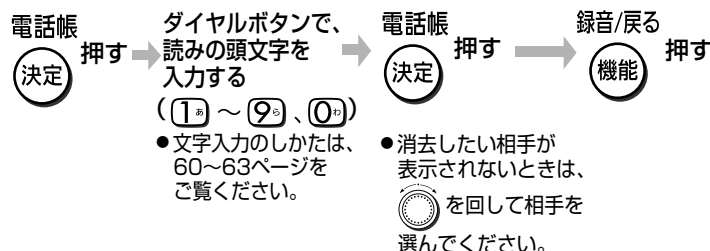
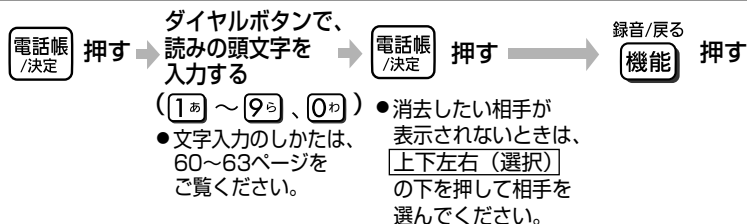
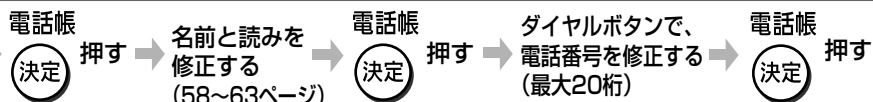
子機の電話帳を修正する（切を押してから操作します）

電話帳/決定 押す → ダイヤルボタンで、読みの頭文字を入力する（1あ ～ 9ら 、0わ）
●文字入力のしかたは、60～63ページをご覧ください。
→ 電話帳/決定 押す
●修正したい相手が表示されないときは、上下左右（選択）の下を押して相手を選んでください。
→ 録音/戻る 機能 押す

電話帳

親機の電話帳を消去する（受話器をのせたままで操作します）

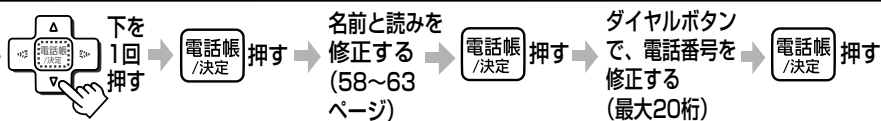
電話帳 決定 押す → ダイヤルボタンで、読みの頭文字を入力する（1あ ～ 9ら 、0わ）
●文字入力のしかたは、60～63ページをご覧ください。
→ 電話帳 決定 押す
●消去したい相手が表示されないときは、◎を回して相手を選んでください。
→ 録音/戻る 機能 押す

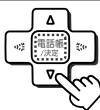
子機の電話帳を消去する（切を押してから操作します）

電話帳/決定 押す → ダイヤルボタンで、読みの頭文字を入力する（1あ ～ 9ら 、0わ）
●文字入力のしかたは、60～63ページをご覧ください。
→ 電話帳/決定 押す
●消去したい相手が表示されないときは、上下左右（選択）の下を押して相手を選んでください。
→ 録音/戻る 機能 押す

おしらせ

- 子機の電話帳を修正すると、対応するワンタッチダイヤル（70～75ページ）も修正されます。ワンタッチダイヤルに登録している相手を親機や子機の電話帳から消去すると、ワンタッチダイヤルも解除されます。
- 電話帳を消去中、電話をかけたり受けたりすることはできません。このとき電話がかかってくると、消去が終わってから呼出音が鳴り始めます。

電話帳（決定）押す → 名前と読みを修正する（58～63ページ） → 電話帳（決定）押す → ダイヤルボタンで、電話番号を修正する（最大20桁） → 電話帳（決定）押す

●電話番号を入力すると、表示されている番号はすべて消去されます。電話番号の一部修正はできません。

下を1回押す（特番ﾀﾞｲﾔﾙ ▶修正） → 電話帳/決定 押す → 名前と読みを修正する（58～63ページ） → 電話帳/決定 押す → ダイヤルボタンで、電話番号を修正する（最大20桁） → 電話帳/決定 押す

●電話番号を入力すると、表示されている番号はすべて消去されます。電話番号の一部修正はできません。

音量/選択 回して“消去（一件）”を選ぶ（修正 ▶消去（一件）） → 電話帳（決定）押す（消去しますか? YES＝[決定]） → 電話帳（決定）押す → 再生/停止（▶）押す

●一度にすべて消去したいときは、さらに、右に回して“消去（全件）”を選びます。

下を2回押す（修正 ▶消去（一件）） → 電話帳/決定 押す（消去しますか? YES＝[決定]） → 電話帳/決定 押す → 切 押す

●一度にすべて消去したいときは、さらに、下を1回押して“消去（全件）”を選びます。

発信履歴から電話帳に登録する

発信履歴に記録されている電話番号を電話帳に登録することができます。

親機の発信履歴から電話帳に登録する（最大100件）
（受話器をのせたままで操作します）

押す

回して登録したい電話番号を選ぶ

●右に回すと、さかのぼって表示していきます。

（例）“0312345678”へかけたとき

0312345678
発信履歴

子機の発信履歴から電話帳に登録する（最大100件）
（切を押してから操作します）

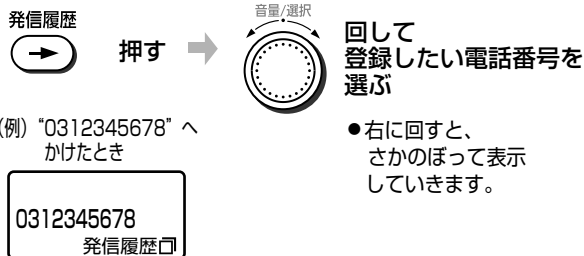
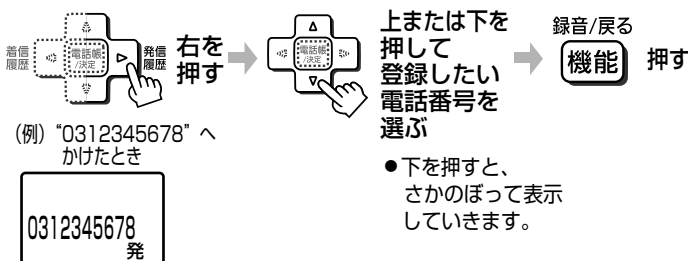
右を押す

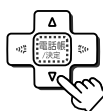
上または下を押して登録したい電話番号を選ぶ

●下を押すと、さかのぼって表示していきます。

録音/戻る 機能 押す

（例）“0312345678”へかけたとき

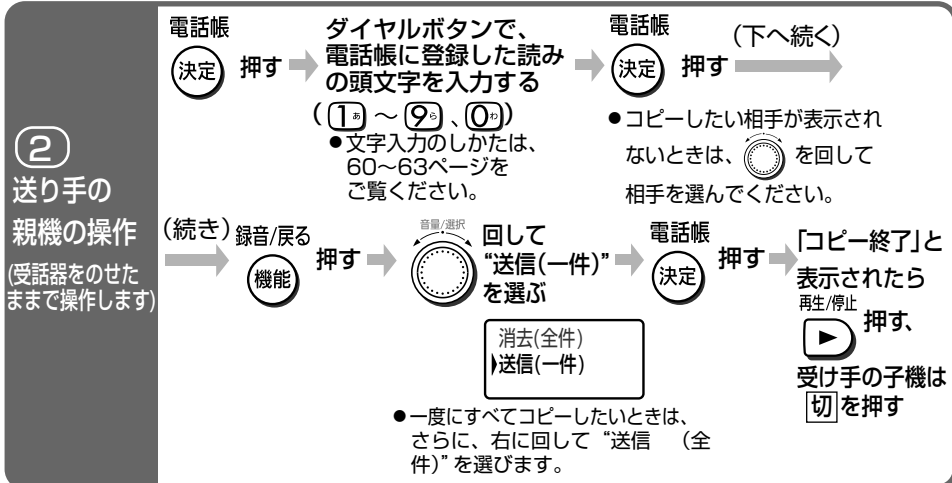
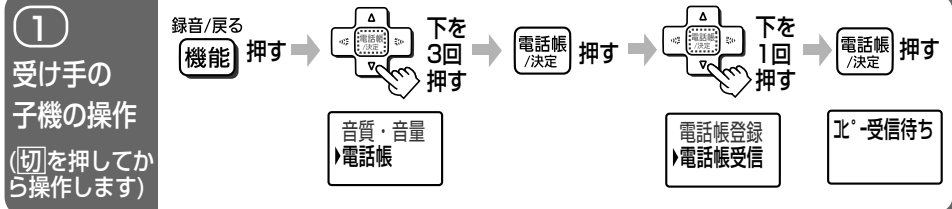
0312345678
発

おしらせ

●電話帳は、名前や読みを入力せずに、電話番号だけでも登録することができます。ただし、電話番号のみ登録した相手が複数あると、検索時の表示順は不定になります。（登録順には表示されません。）
●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、着信時の電話帳表示（76ページ）、着信履歴（79〜81ページ）、鳴り分け（84〜85ページ）などを正しく作動させるために、電話帳に電話番号を登録するときは、同一市内でも必ず、市外局番から登録してください。また、電話帳に登録するときは、同一の電話番号を別の名前などで複数登録しないでください。

録音/戻る
機能
押す
電話帳
決定
押す
名前と読みを
入力する
(58～63ページ)
電話帳
決定
2回
押す
▶電話帳登録
消去(一件)
電話帳
/決定
下を
1回
押す
電話帳
/決定
押す
名前と読みを
入力する
(58～63ページ)
電話帳
/決定
2回
押す
特番ﾀﾞｲﾔﾙ
▶電話帳登録

電話帳をコピーする（電話帳コピー）

親機に登録した電話帳の内容を子機にコピーしたり、子機に登録した電話帳の内容を親機や他の子機にコピーすることができます。子機から他の子機へコピーするときは、受け手の子機で68ページの①の操作を行なったあと、送り手の子機で69ページの②の操作を行なってください。

■ コピーするときは、親機の近くに子機を持ってきてください。

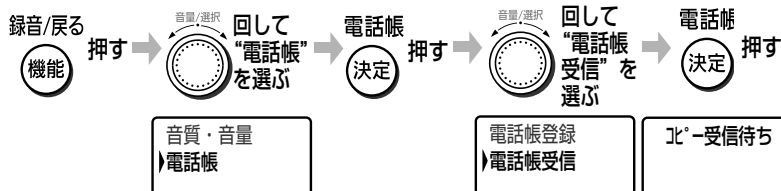
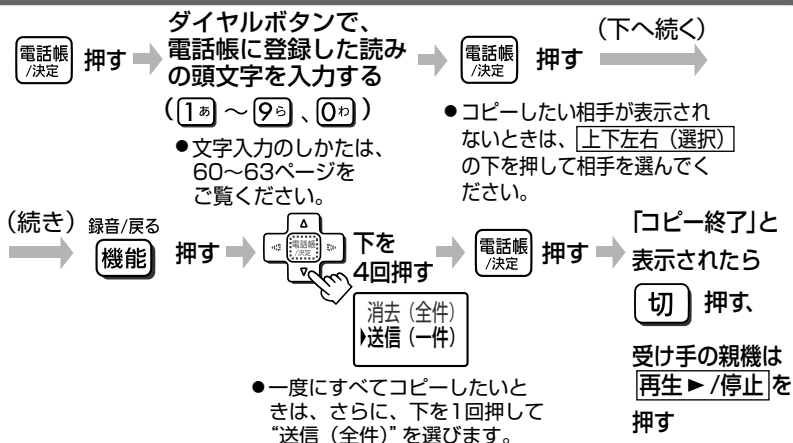
■ **受け手の操作のあと、約1分以内に送り手の操作を行なってください。**

■親機の電話帳の内容を、一度にすべてコピーする場合でも、まず受け手の操作のあと、送り手の親機の ◎ を回して、電話帳を表示させ、機能/録音/戻る を押す操作から行なってください。

■コピーを途中で止めたいときは、親機は 再生► /停止 、子機は 切 を押してください。
再生 ►/停止 や 切 を押したところまでの電話帳の内容がコピーされ、通常状態に戻ります。

おしらせ

- 受け手と送り手の電話帳に登録している同一の電話番号は、名前が異なる場合でもコピーされません。
- 受け手と送り手の電話帳の登録件数が合計100件を超えると、コピーすることはできません。
- コピー中に電話がかかってきたり、内線やドアホンから呼出しがあると、そこまでの電話帳の内容がコピーされます。受け手の操作からやり直してください。また、停電、電波干渉の影響、電池残量によって、電話帳のコピーが中断される場合もあります。
- 電話帳コピーに必要な時間（データ処理時間）は、コピーする件数により異なります。

■コピーするときは、親機の近くに子機を持ってきてください。

■受け手の操作のあと、約1分以内に送り手の操作を行なってください。

■子機の電話帳の内容を、一度にすべてコピーする場合でも、まず受け手の操作のあと、送り手の子機の［上下左右（選択）］の下を押して、電話帳を表示させ、［機能/録音/戻る］を押し、［上下左右（選択）］の下を5回押して“送信（全件）”を選び、［電話帳/決定］を押してください。

■コピーを途中で止めたいときは、親機は［再生►/停止］、子機は［切］を押してください。［再生►/停止］や［切］を押したところまでの電話帳の内容がコピーされ、通常状態に戻ります。

♪ワンポイント

子機が2台以上あるときは、1台目のコピー終了後、同じ内容を続けて別の受け手にコピーすることができます。1台目のコピー終了後、送り手の親機は［再生►/停止］、子機は［切］を押さずに、約1分以内に下記操作を行なってください。

1 別の受け手が親機のときは69ページ、子機のときは68ページの受け手の操作を行ないます。

2 送り手で［電話帳/決定］を押してください。

ワンタッチダイヤルを使ってかける

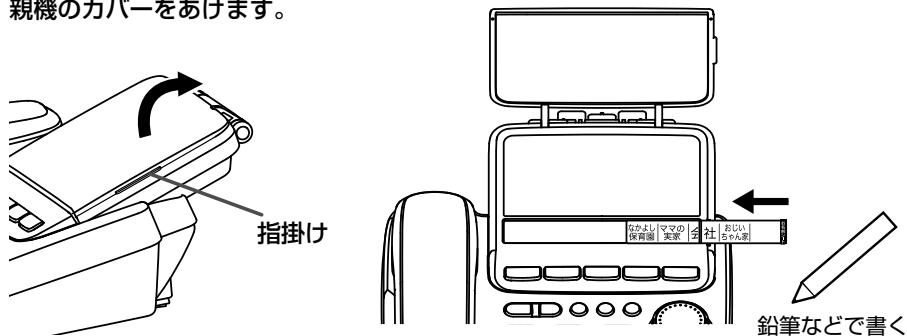
親機や子機の電話帳から、ワンタッチダイヤルへ親機は5件、子機は3件登録することができます。ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで、簡単にかけることができます。また、親機のワンタッチダイヤルに登録した相手の名前は、ワンタッチダイヤルお名前シートに鉛筆などで書いておくことをおすすめします。

親機のワンタッチダイヤルを使ってかける（最大5件）	受話器をとる	かけたいワンタッチダイヤル（1 2 3 4 5 ワンタッチダイヤル）のいずれか1つを押す ●自動的にダイヤルします。 ●登録されていないときは「ピピピ」と鳴って通常状態に戻ります。
子機のワンタッチダイヤルを使ってかける（最大3件）	充電器からとる	かけたいワンタッチダイヤル（ワンタッチダイヤル 1 2 3）のいずれか1つを押す ●自動的にダイヤルします。 ●登録されていないときは「ピピピ」と鳴って通常状態に戻ります。

次ページへつづく

■ワンタッチダイヤルお名前シートの取り付け方

❶ 右側の指掛けを使って、
親機のカバーをあけます。

❷ 矢印の方向にシートを挿しこみます。

シートには、濃い鉛筆で記入してください。間違えたときは、消しゴムで消して書き直してください。油性ペンや水性ペンなどで記入すると、書き直すことができません。
（ワンタッチダイヤルお名前シート寸法（幅 × 高さ）: 約 112×17mm）

子機にはシートがありませんので、お客様ご自身でどこかに書きとめておくことをおすすめします。

おしらせ

- 携帯通話プリセット機能（98〜103ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の液晶画面の「 」が約5秒間点滅します。
- カバーが外れたときは、11ページの「カバーが外れたときの装着のしかた」をご覧ください。

ワンタッチダイヤルを使ってかける

次ページへつづく

回して"ワンタッチダイヤル"を選ぶ → 電話帳（決定）押す → 回して登録したいワンタッチダイヤルを選ぶ → 電話帳（決定）押す（下へ続く）

電話帳受信
▶ワンタッチダイヤル

（例）未登録のとき

ワンタッチ1
未登録

●すでに登録されているときは、名前（または電話番号）が表示されます。そのまま次の登録操作を行なうと、上書きされます。

▶登録/変更
解除

電話帳（決定）押す → 電話帳（決定）押す → 再生/停止（▶）押す

（例）"川崎 太郎"を登録するとき

川崎 太郎
0312345678

●登録したい相手が表示されないときは、を回して相手を選んでください。

上を1回押す → 電話帳/決定 押す → 上または下を押して、登録したいワンタッチダイヤルを選ぶ → 電話帳/決定 押す（下へ続く）

電話帳受信
▶ワンタッチダイヤル

（例）未登録のとき

ワンタッチ1
未登録

●すでに登録されているときは、名前（または電話番号）が表示されます。そのまま次の登録操作を行なうと、上書きされます。

▶登録/変更
解除

電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す → 切 押す

（例）"川崎 太郎"を登録するとき

川崎 太郎
0312345678

●登録したい相手が表示されないときは、上下左右（選択）の下を押して相手を選んでください。

おしらせ

- ●親機や子機の電話帳に登録されていない相手を、ワンタッチダイヤルに登録することはできません。
- ●ワンタッチダイヤルに登録した電話番号を確認することはできません。また、子機の「ワンタッチダイヤルお名前シート」はありません。お客様ご自身でどこかに書きとめておいてください。

電話帳

ワンタッチダイヤルを使ってかける

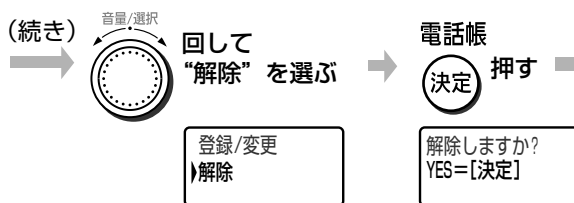
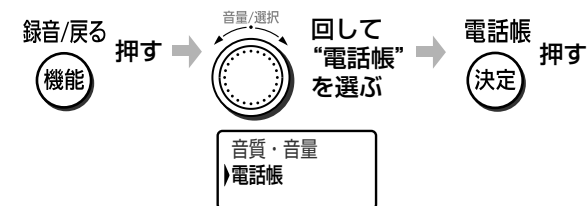
親機のワンタッチダイヤルを解除する
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る 機能 押す → 音量/選択 回して"電話帳"を選ぶ → 電話帳 決定 押す

音質・音量
▶電話帳

(続き) → 音量/選択 回して"解除"を選ぶ → 電話帳 決定 押す

登録/変更
▶解除

解除しますか?
YES=[決定]

子機のワンタッチダイヤルを解除する
(切を押してから操作します)

録音/戻る 機能 押す → 下を3回押す → 電話帳/決定 押す

音質・音量
▶電話帳

(続き) → 下を1回押す → 電話帳/決定 押す

登録/変更
▶解除

解除しますか?
YES=[決定]

音量/選択 回して"ワンタッチダイヤル"を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 音量/選択 回して解除したいワンタッチダイヤルを選ぶ → 電話帳 決定 押す （下へ続く）

電話帳受信
▶ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ

（例）"川崎　太郎"のとき

ﾜﾝﾀｯﾁ1
川崎 太郎

●ワンタッチダイヤルが未登録のときは、「未登録」と表示されます。

▶登録/変更
解除

電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

上を1回押す → 電話帳/決定 押す → 上または下を押して、解除したいワンタッチダイヤルを選ぶ → 電話帳/決定 押す （下へ続く）

電話帳受信
▶ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ

（例）"川崎　太郎"のとき

ﾜﾝﾀｯﾁ1
川崎 太郎

●ワンタッチダイヤルが未登録のときは、「未登録」と表示されます。

▶登録/変更
解除

電話帳/決定 押す → 切 押す

おしらせ

●親機や子機の電話帳を修正すると、対応するワンタッチダイヤルは修正され、ワンタッチダイヤルに登録している相手を電話帳から消去すると、解除されます。（64〜65ページ）

ナンバー・ディスプレイを利用する

本機は、NTT東日本・NTT西日本の ND ナンバー・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ に対応しています。

■ ナンバー・ディスプレイの使用には、NTTとの契約と、親機の設定が必要です。
契約の有無に関わらず、親機でナンバー・ディスプレイが設定されているときは、
親機の液晶画面に「 iD 」が表示されます。子機の液晶画面には表示されません。
お買い上げ時は、「ON（キャッチホン・ディスプレイなし）」に設定されています。

■ **ナンバー・ディスプレイ**（NTTとの契約（有料）が必要です）
電話をかけた方の電話番号などが、受信側の液晶画面に表示されるサービスです。
本機では、電話帳に登録した相手からかかってきた電話のときは、相手の名前も表示します。
通話状態になると、相手の電話番号と通話時間に表示が切りかわります。

電話がかかってくると、相手の電話番号を表示します。

〈親機〉
川崎 太郎
0312345678
iD

〈子機〉
川崎 太郎
0312345678

● 親機と子機の電話帳に登録した相手は、名前も表示します。

■ **ネーム・ディスプレイ**（NTTとの契約（有料）が必要です）
電話をかけた方が企業名や名前などを通知してかけてきた場合、かけた方の企業名や名前が受信側の液晶画面に表示されるサービスです。
ただし、電話帳に登録済みの番号からかかってきたときは、電話帳の名前を表示します。
＊サービス提供は、平成25年2月28日をもって終了します。
くわしくはNTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。

■ **キャッチホン・ディスプレイ**（NTTとの契約（有料）と親機の設定が必要です）
電話でお話しをしているとき、別の人からかかってきた電話番号などが液晶画面に表示されるサービスです。キャッチホン・ディスプレイを利用しているとき、通話中に割り込みがあると、「トゥルル…ピポ」（着信表示音）が聞こえ、液晶画面にあとからかけてきた相手の電話番号などが、約30秒間表示されます。
通話を切りかえる場合は、キャッチ/消去 を押し、通話を切りかえてください。（31ページ）
キャッチホンでかかってきた相手の番号も、着信履歴に記録されます。（79ページ）
キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、あらかじめ親機で設定操作を行なってください。（78ページ）

■ **契約について**（2011年9月現在）くわしくは、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。

種類	工事費	月額使用料	申し込み先	主なサービス内容
ナンバー・ディスプレイ	有料	有料	局番なしの116番	かけてきた相手の電話番号を表示する
ネーム・ディスプレイ ※1	無料			かけてきた相手の電話番号と名前を表示する
キャッチホン・ディスプレイ	有料			キャッチホンの電話番号を表示する

※1…ネーム・ディスプレイ契約のほかに、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。
また、新規お申し込み受付は、平成23年10月31日をもって終了しました。
＊現在本サービスをご利用のお客様は、サービス提供終了まで継続してご利用いただけます。
サービス提供は、平成25年2月28日をもって終了します。

■ **NTT以外の電話会社をご利用の場合**
NTTのナンバー・ディスプレイ相当のサービスの有無に関して、各ご契約の電話会社にお問い合わせください。

■ **着信時、こんな表示のときは…**

表示	内容
非通知	相手が電話番号を通知しないでかけてきたとき（78ページ）
公衆電話	公衆電話からかかってきたとき （公衆電話から「184」をつけてかけてきた場合は、非通知の表示になります。）
表示圏外	海外、新幹線電話、船舶電話などのナンバー・ディスプレイを利用できない回線からかかってきたとき
受信エラー	回線の状態が悪い場合などで、ナンバー・ディスプレイのデータを正常に受信できなかったとき
着信	ナンバー・ディスプレイ回線になっていないときや、番号情報が送られてこなかったとき

おしらせ

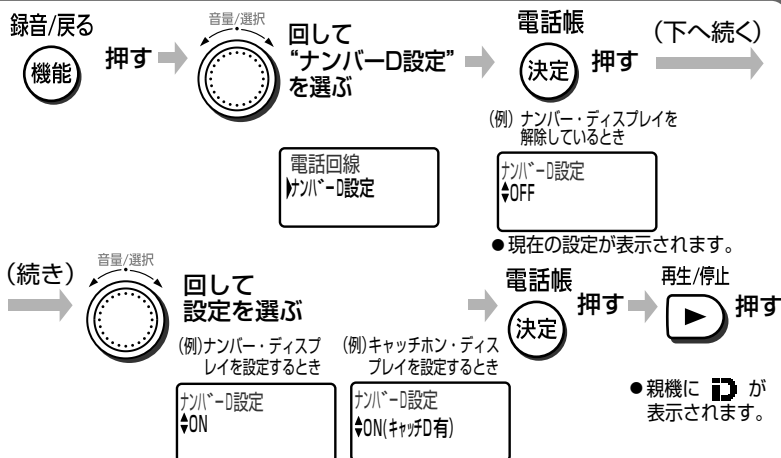
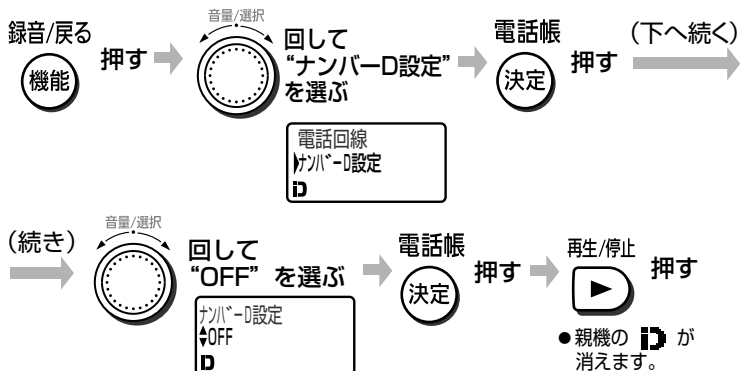
- 本機の電話帳に、電話番号以外の「＊」、「＃」、「P（ポーズ）」を登録すると、名前が表示されない場合があります。
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）に接続した場合、ナンバー・ディスプレイはご利用になれません。また、ISDN回線のターミナルアダプターや他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが利用できないことがあります。くわしくは、接続機器のメーカーへお問い合わせください。
- 1本の電話回線に、電話機などの端末機器を2台以上接続すると、ナンバー・ディスプレイの機能が正しく動作しません。2台以上接続する場合は、どちらかの設定を解除するか、接続を1台にしてください。
- ADSLやひかり回線を利用したIP電話サービスなどをご利用の場合、機器の接続や設定によりナンバー・ディスプレイの機能が動作しないことがあります。くわしくは、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと同時にご利用になれない場合があります。くわしくは、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイご利用時、キャッチホン着信時には「ピポ」と聞こえ、最大約1秒程度通話がとぎれます。この音と通話中の声が重なりますと、電話番号などが正しく表示できない場合があります。なお、ダイヤル中、保留中、留守応答中、リモコン操作中、各ガード動作中にキャッチホンで割り込んできた相手の電話番号や着信情報は表示されません。
- ネーム・ディスプレイをご利用の場合、通知された発信者名が本機の液晶画面に表示されます。全角8文字を超える名前の相手からかかってきたときは、液晶画面を切りかえて表示します。なお、第一水準、第二水準以外の表示できないデータを受信したときは「※」が表示されます。同じ番号が違う名前で電話帳に登録されている場合は、電話帳の名前を優先して表示します。

ナンバー・ディスプレイの設定

（親機）

お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイが「ON（キャッチホン・ディスプレイなし）」に設定されています。ご利用にならない場合は、解除してください。キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合は、キャッチホン・ディスプレイ契約後、ナンバー・ディスプレイ「ON（キャッチホン・ディスプレイあり）」に設定してください。

■ **設定されているときは、親機の液晶画面に「 」が表示されています。**

親機でナンバー・ディスプレイまたはキャッチホン・ディスプレイを設定する
(受話器をのせたままで操作します)

親機で解除する
(受話器をのせたままで操作します)

ネーム・ディスプレイをご利用になる場合（サービス提供　平成25年2月28日終了）

ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの契約後、ナンバー・ディスプレイ「ON」に設定してください。（キャッチホン・ディスプレイも契約したときは、契約後、「ON（キャッチホン・ディスプレイあり）」に設定してください。）発信者名は、発信者名の通知を希望したお客様が、電話番号を通知して電話をかけてきた場合にのみ通知されます。

●自分の電話番号を相手に通知するかしない（非通知）か選べます。

	常に決めておく（回線ごと）	かけるたびに選ぶ（通話ごと）
通知するとき	NTT に「通常通知」申し込み	1あ 8や 6は をつけてかける（25ページ）
通知しないとき	NTT に「通常非通知」申し込み	1あ 8や 4た をつけてかける（25ページ）

＊お客様の電話回線契約を知りたいときなどは、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。

かけてきた相手の電話番号と日時を、親機と子機それぞれ最大30件（20桁）まで自動的に記録します。留守応答する前や、電話に出る前に電話を切られてしまったり、ガード機能がはたらいたときなども着信履歴に記録されます。着信履歴を利用してかけ直したり、かけてきた相手の電話番号を電話帳に登録することもできます。（82～83ページ）

親機の着信履歴を確認する/かける（受話器をのせたままで操作します）

1. 着信履歴 ← 押す
   12月24日 12:34
   0612345678
   着信履歴
2. 音量/選択 回して着信履歴を確認する
   - 右に回すと、さかのぼって表示していきます。
3. 終わるときは 再生/停止 ▶ 押す
   かけるときは受話器をとる
   - 自動的にダイヤルします。

子機の着信履歴を確認する/かける（切を押してから操作します）

1. 左を押す（着信履歴）
   12月24日 12:34
   0612345678
   着
2. 上または下を押して着信履歴を確認する
   - 下を押すと、さかのぼって表示していきます。
3. 終わるときは 切 押す
   かけるときは 押す
   - 自動的にダイヤルします。

おしらせ

- 必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。（76ページ）
- 電話帳に登録（58～59ページ）した相手のときは、着信履歴確認時、電話番号のかわりに名前を表示します。相手の名前を表示中に ＃ を押すと、電話番号表示に切りかわります。もう一度押すと名前の表示に戻ります。
- ネーム・ディスプレイをご利用の場合、着信履歴には着信時に通知された相手の名前または会社名（発信者名）で記録されます。ただし、電話帳に登録されている相手のときは、相手の方が発信者名を通知して電話をかけてきても、電話帳の登録内容が優先して表示されます。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合（76ページ）、キャッチホンで割り込んできた着信のときは、日時の右側に「Ӿ」を表示します。
- 特定番号（86ページ）や、非通知、公衆電話、表示圏外からの着信、受信エラー（77ページ）も着信履歴に記録されます。なお、電話番号が表示されない着信情報にかけ直すことはできません。かけると「ピピピ」と鳴って通常状態に戻ります。
- 限定着信を設定中、親機の電話帳に登録していない相手からの電話は、着信履歴に「■限定着信外■」と表示されます。また、限定着信をお知らせ着信で設定中、親機の電話帳に登録していない相手からの電話は、親機の着信履歴に「■お知らせ着信■」と表示されます。（86・88～89ページ）このとき ＃ を押すと、電話番号を表示します。ネーム・ディスプレイをご利用時は、＃ を1回押すと、相手の名前を表示します。（相手が名前を通知してかけたとき）＃ を2回押すと、電話番号を表示します。
- 特定番号（90ページ）からの電話は、着信履歴に「■特定ガード■」と表示されます。このとき ＃ を押すと、電話番号を表示します。ネーム・ディスプレイご利用時は、＃ を1回押すと、相手の名前を表示します。（相手が名前を通知してかけたとき） ＃ を2回押すと、電話番号を表示します。
- 携帯通話プリセット機能（98～103ページ）を利用して、着信履歴から携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき親機の液晶画面の「 」が約5秒間点滅します。

着信あり表示

■次の場合は、親機の液晶画面に「着信あり」と表示されます。（着信あり表示）

・電話に出られなかった場合
・留守番で応答した場合
・ガード機能で応答した場合
・限定着信で応答した場合
・外出先から留守セットした場合

ただし、その着信時に留守ボタンやガードボタンを使って応答したときは、「着信あり」と表示されません。

■着信あり表示は、親機の着信履歴を確認するか、いずれかのボタンを押したり、受話器をとって電話をかけたり受けたりすると消えます。

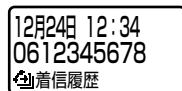
■子機には、着信あり表示の機能はありません。

親機の着信履歴を消去する
(受話器をのせたままで操作します)

押す →

回して消去したい電話番号を選ぶ →

録音/戻る 機能 押す

12月24日 12:34
0612345678
着信履歴

●右に回すと、さかのぼって表示していきます。

子機の着信履歴を消去する
(切を押してから操作します)

左を押す →

上または下を押して消去したい電話番号を選ぶ →

録音/戻る 機能 押す

12月24日 12:34
0612345678
着

●下を押すと、さかのぼって表示していきます。

音量/選択

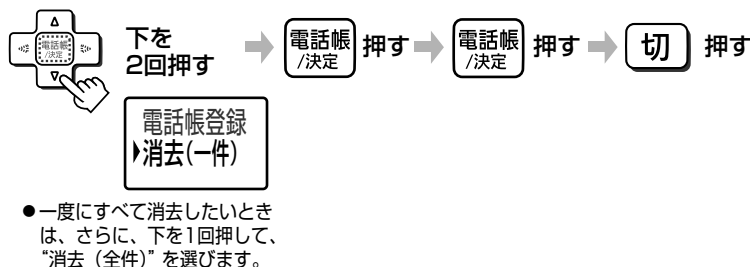
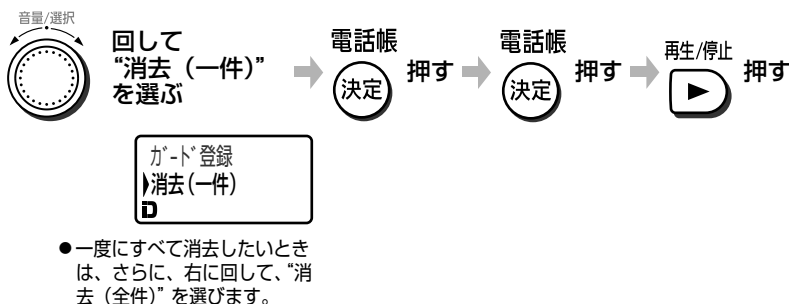
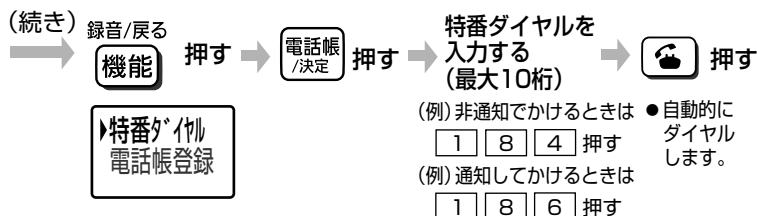
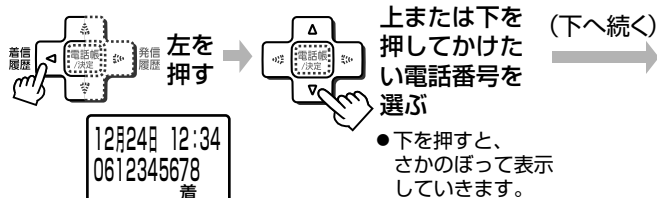
回して“消去(一件)”を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

ｶﾞｰﾄﾞ登録
▶消去(一件)

●一度にすべて消去したいときは、さらに、右に回して、“消去(全件)”を選びます。

下を2回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す → 切 押す

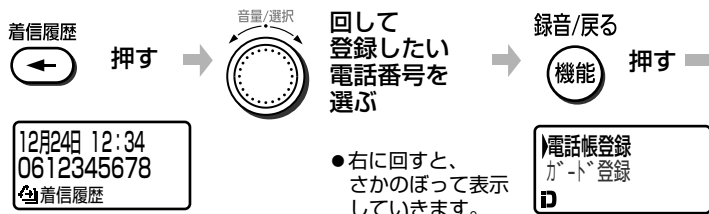
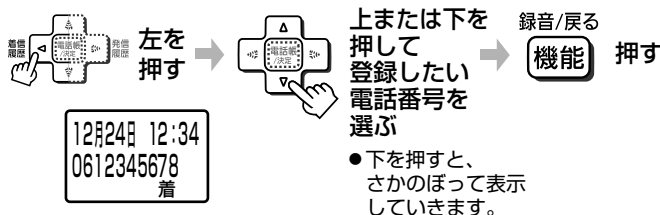
電話帳登録
▶消去(一件)

●一度にすべて消去したいときは、さらに、下を1回押して、“消去(全件)”を選びます。

おしらせ

●親機で着信履歴に184や186などをつけてかけること(特番ダイヤル)は、できません。

着信履歴から登録する

着信履歴を利用して、かけてきた相手の電話番号を親機や子機の電話帳に登録することができます。

親機の着信履歴から電話帳に登録する（最大100件）
(受話器をのせたままで操作します)

着信履歴 押す

12月24日 12:34
0612345678
着信履歴

音量/選択 回して登録したい電話番号を選ぶ

●右に回すと、さかのぼって表示していきます。

録音/戻る
押す

▶電話帳登録
ｶﾞｰﾄﾞ登録

子機の着信履歴から電話帳に登録する（最大100件）
(切を押してから操作します)

左を押す

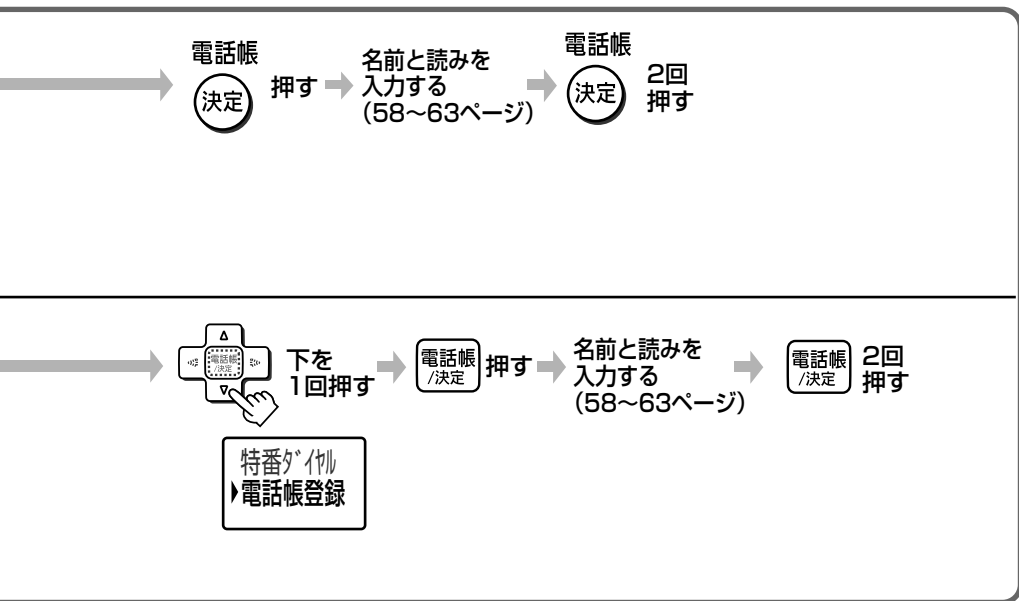
上または下を押して登録したい電話番号を選ぶ

●下を押すと、さかのぼって表示していきます。

録音/戻る 機能 押す

- ●電話帳は、名前や読みを入力せずに、電話番号だけでも登録することができます。ただし、電話番号のみ登録した相手が複数あると、検索時の表示順は不定になります。（登録順には表示されません。）
- ●着信時の電話帳表示（76ページ）、着信履歴（79～81ページ）、鳴り分け（84～85ページ）などを正しく作動させるために、電話帳に電話番号を登録するときは、同一市内でも必ず、市外局番から登録してください。また、電話帳に登録するときは、同一の電話番号を別の名前などで複数登録しないでください。
- ●電話番号が通知されない着信情報（非通知、公衆電話、表示圏外、受信エラー）は、電話帳に登録することはできません。

電話帳
決定
押す
名前と読みを
入力する
(58～63ページ)
電話帳
決定
2回
押す

電話帳
/決定
下を
1回押す
電話帳
/決定
押す
名前と読みを
入力する
(58～63ページ)
電話帳
/決定
2回
押す
特番ﾀﾞｲﾔﾙ
▶電話帳登録

相手によって呼出音を変える（鳴り分け）

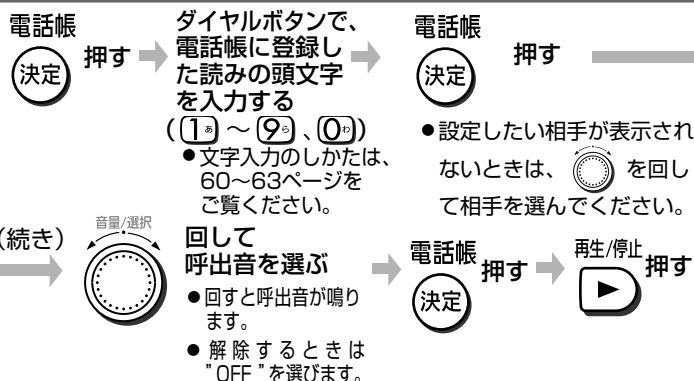
電話帳（58〜59ページ）に登録した相手からの電話を、電話番号ごとに6種類の呼出音で鳴り分けることができます。お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

親機で鳴り分けを設定／解除する
(受話器をのせたままで操作します)

電話帳 決定 押す → ダイヤルボタンで、電話帳に登録した読みの頭文字を入力する（1あ 〜 9ら 、0わ）
- 文字入力のしかたは、60〜63ページをご覧ください。

→ 電話帳 決定 押す
- 設定したい相手が表示されないときは、（ダイヤル）を回して相手を選んでください。

(続き) → 音量/選択 回して呼出音を選ぶ
- 回すと呼出音が鳴ります。
- 解除するときは ”OFF ”を選びます。

→ 電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

子機で鳴り分けを設定／解除する
(切を押してから操作します)

電話帳/決定 押す → ダイヤルボタンで、電話帳に登録した読みの頭文字を入力する（1あ 〜 9ら 、0わ）
- 文字入力のしかたは、60〜63ページをご覧ください。

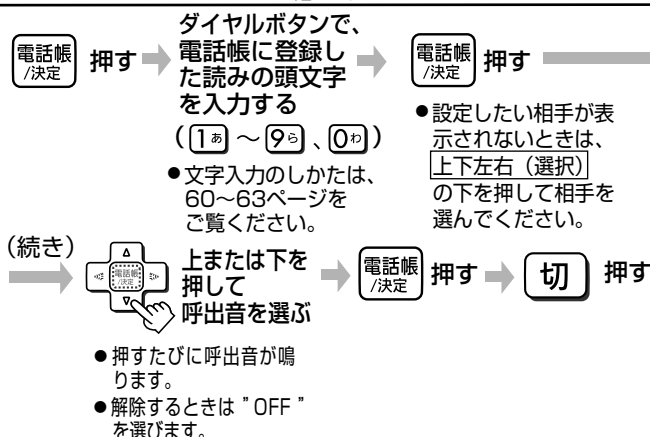
→ 電話帳/決定 押す
- 設定したい相手が表示されないときは、上下左右（選択）の下を押して相手を選んでください。

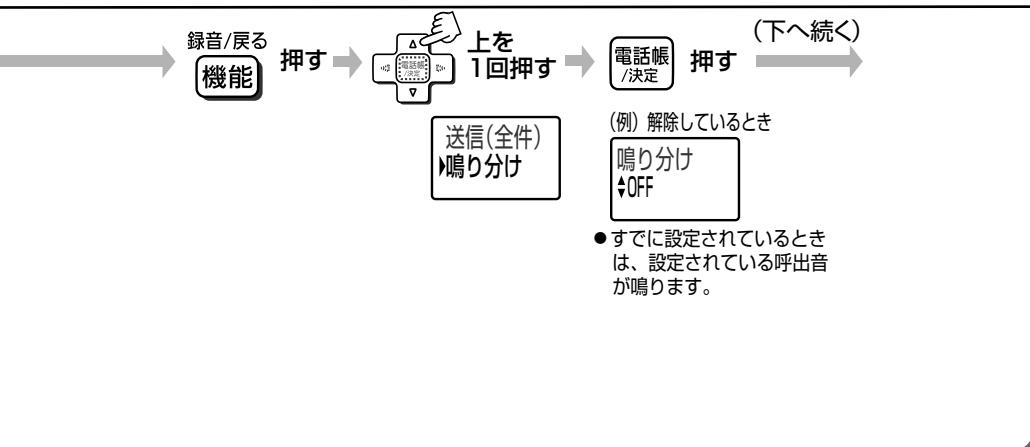
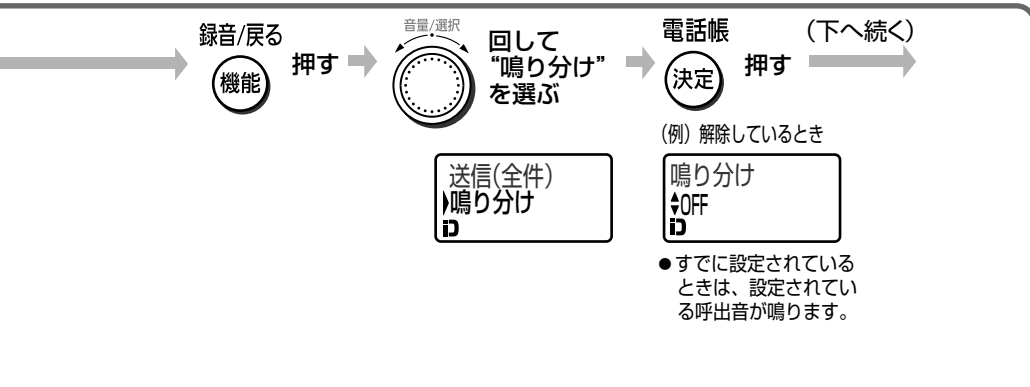
(続き) →

上または下を押して呼出音を選ぶ
- 押すたびに呼出音が鳴ります。
- 解除するときは ”OFF ”を選びます。

→ 電話帳/決定 押す → 切 押す

● 鳴り分けの呼出音（6種類）

ラデツキー行進曲	森のくまさん	チャイム	ベル2	ベル1（高音）	ベル1（低音）

おしらせ
- 必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。（76ページ）
- 電話帳(58〜59ページ) に電話番号を正しく登録していないと、鳴り分けが正しく作動できません。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合（76ページ）、キャッチホンで割り込んで着信した相手に鳴り分けは、はたらきません。
- 「ベル1、ベル2、チャイム」以外の呼出音に設定すると、かけてきた相手が電話を切っても、呼出音がすぐに鳴り止まないことがあります。

録音/戻る
機能
押す
音量/選択
回して
"鳴り分け"
を選ぶ
電話帳
決定
押す
(下へ続く)
送信(全件)
鳴り分け
(例) 解除しているとき
鳴り分け
OFF
●すでに設定されているときは、設定されている呼出音が鳴ります。
録音/戻る
機能
押す
上を
1回押す
電話帳
/決定
押す
(下へ続く)
送信(全件)
鳴り分け
(例) 解除しているとき
鳴り分け
OFF
●すでに設定されているときは、設定されている呼出音が鳴ります。

ガード機能

ナンバー・ディスプレイをご利用になると、迷惑電話などを拒否するガード機能（下記5種類）をご利用いただけます。お買い上げ時は、設定されていません。また、ガード機能を設定していなくても、まかせて応答（33〜35ページ）や、呼出音が鳴っているときに、ガードボタンを押して、お断りのメッセージを流して電話を切ることができます。（36・87ページ）

ガード機能の種類	ガード動作中の親機の液晶画面表示	機能説明（上段）とガードメッセージ（下段）
非通知ガード （設定方法 ➔ 88〜89ページ）	**非通知**	「非通知」でかけてきた電話の呼出音を鳴らさずに、ガードメッセージを流し、自動的に電話を切ります。 「おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするか、番号を通知できる電話から、おかけ直しください。」
公衆電話ガード （設定方法 ➔ 88〜89ページ）	**公衆電話**	「公衆電話」からかけてきた電話の呼出音を鳴らさずに、ガードメッセージを流し、自動的に電話を切ります。 「おそれいりますが、番号を通知できる電話から、おかけ直しください。」
表示圏外ガード （設定方法 ➔ 88〜89ページ）	**表示圏外**	「表示圏外」からかけてきた電話の呼出音を鳴らさずに、ガードメッセージを流し、自動的に電話を切ります。 「おそれいりますが、番号を通知できる電話から、おかけ直しください。」
限定着信 **（お知らせ着信）** （設定方法 ➔ 88〜89ページ） ●限定着信には2種類あります。	**▮限定着信外▮**	親機の電話帳に登録（58〜59ページ）している相手からかかってくると呼出音が鳴り、親機の電話帳に登録していない相手からかかってくると、電話の呼出音を鳴らさずに、固定メッセージを流し、留守録音し、その後自動的に電話を切ります。 「おそれいりますが、ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話ください。」ただし、自作メッセージが録音されているときは自作メッセージが流れます。(50〜51ページ)
	▮お知らせ着信▮ 0312345678 **（相手の電話番号）**	親機の電話帳に登録していない相手からかかってきたときに、親機は専用の呼出音「ピーロ―ピーロ―…」で、子機は通常の呼出音（104〜105ページ）で鳴らすことができます。親機の電話帳に登録している相手からかかってきたときは、通常の呼出音で鳴ります。（お知らせ着信）
特定番号ガード （設定方法 ➔ 90〜91ページ）	0312345678 **（相手の電話番号）**	ガードしたい相手の電話番号を特定番号として登録（最大30件／20桁）しておくと、「特定番号」からかかってきた電話の呼出音を鳴らさずに、ガードメッセージを流し、自動的に電話を切ります。 「申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません。」

● 子機は、非通知ガード、公衆電話ガード、表示圏外ガード、特定番号ガード動作中は「回線使用中」、限定着信動作中は「留守着信中」と表示されます。

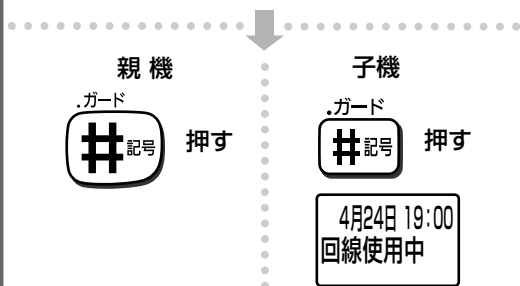
おしらせ

● 必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。（76ページ）
● ガード機能を設定すると、緊急の用件でも、ガードした相手の呼出音は鳴りませんので、登録・設定するときは十分ご注意ください。
● かけてきた相手にガードメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
● キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合（76ページ）、キャッチホンで割り込んで着信した相手にガード機能は、はたらきません。（特定番号ガードに登録している相手でも拒否することができません。）
● ガード機能が動作した直後に電話をかけると、ガードした相手とつながる場合があります。電話をかけるときは少ししてからかけてください。
● ガード機能を設定しても、かかってきた迷惑電話は着信履歴に記録されます。（79ページ）
● 非通知ガード、公衆電話ガード、表示圏外ガード、特定番号ガード動作中は、親機や子機で電話に出たり、電話をかけることはできません。また、ドアホンから呼出しがあると、ドアホンの呼出音は聞こえますがドアホンに応答することはできません。
● 限定着信を設定中、他のガード機能（非通知ガード、公衆電話ガード、表示圏外ガード、特定番号ガード）を設定すると、限定着信より、その他のガード機能が優先してはたらきます。

親機の ガード 表示について

非通知ガード、公衆電話ガード、表示圏外ガード、限定着信、特定番号ガードのいずれかのガード機能が設定されていると表示され、ガード機能が動作中のとき（ガードメッセージが流れているとき）に点滅します。子機では、設定の確認と動作中の確認ができません。親機で確認してください。

●ガード機能を設定していなくても、かけてきた相手の電話番号を確認してから # を押して、お断りのメッセージ（固定）を流し、自動的に電話を切ることができます。ナンバー・ディスプレイ（76ページ）をご利用なっていなくても、お使いいただけます。（36ページ）ただし、この場合は電話番号を確認することはできません。

■ お断りのメッセージは「おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」です。まかせて応答で選んだメッセージ（33〜35ページ）と異なります。変えることはできません。

おしらせ

●一度電話に出たあとなど、通話中に # を押しても、お断りのメッセージを流すことはできません。

ガード機能

親機で非通知ガードを設定／解除する
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る

押す

回して"ガード設定"を選ぶ

ナンバーID設定
▶ガード設定

電話帳

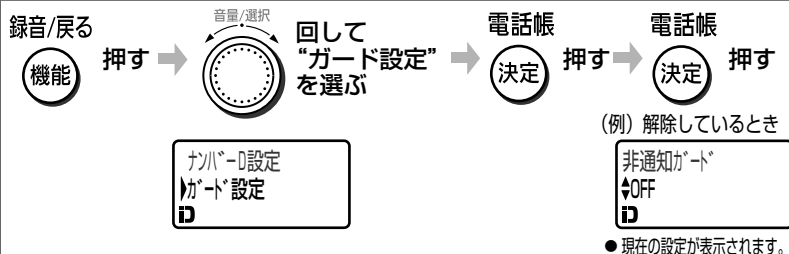
押す

電話帳

押す

(例) 解除しているとき

非通知ガード
OFF

● 現在の設定が表示されます。

親機で公衆電話ガードを設定／解除する
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る

機能 押す

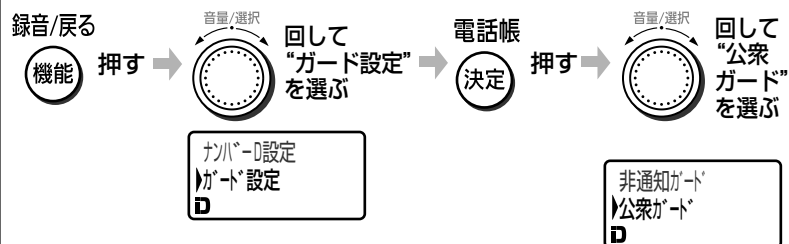
音量/選択 回して"ガード設定"を選ぶ

ナンバーID設定
▶ガード設定

電話帳

決定 押す

回して"公衆ガード"を選ぶ

非通知ガード
▶公衆ガード

親機で表示圏外ガードを設定／解除する
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る

押す

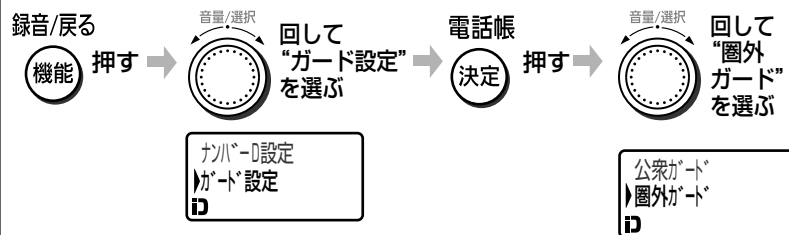
回して"ガード設定"を選ぶ

ナンバーID設定
▶ガード設定

電話帳

押す

回して"圏外ガード"を選ぶ

公衆ガード
▶圏外ガード

親機で限定着信（お知らせ着信）を設定／解除する
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る

押す

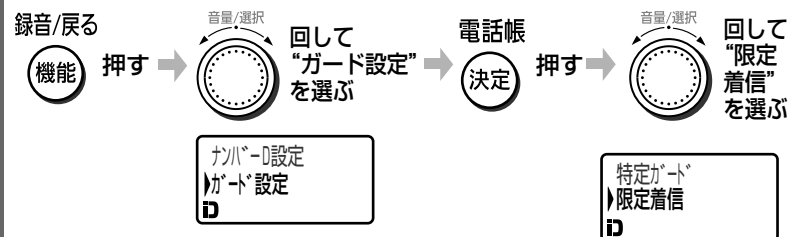
回して"ガード設定"を選ぶ

ナンバーID設定
▶ガード設定

電話帳

押す

回して"限定着信"を選ぶ

特定ガード
▶限定着信

おしらせ

- 限定着信を「タイマーあり」で設定すると、約9時間で設定が自動的に解除されます。（また、約9時間以内に停電すると強制的に設定が解除されます。）
- 親機の電話帳に1件も登録されていないと、限定着信を設定していても、機能ははたらきません。

次ページへつづく

（親機）

回して
設定を選ぶ

●回すと
ON ↔ OFFと
切りかわります。

電話帳

押す

再生/停止

押す

●設定すると、親機に ガード が表示されます。

電話帳

押す

（例）解除しているとき

公衆ガード
OFF

●現在の設定が表示されます。

回して
設定を選ぶ

●回すと
ON ↔ OFFと
切りかわります。

電話帳 押す

再生/停止

押す

●設定すると、
親機に
ガード が表示
されます。

電話帳

押す

（例）解除しているとき

圏外ガード
OFF

●現在の設定が表示されます。

回して
設定を選ぶ

●回すと
ON ↔ OFFと
切りかわります。

電話帳 押す

再生/停止

押す

●設定すると、
親機に
ガード が表示
されます。

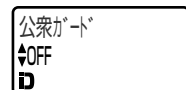
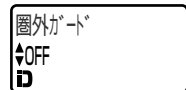
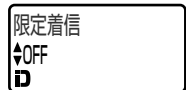
電話帳

押す

（例）解除しているとき

限定着信
OFF

●現在の設定が表示されます。

回して
設定を選ぶ

●回すと
→OFF ↔ ON（タイマーあり）↔ ON（タイマーなし）↔ お知らせ着信←
と切りかわります。

電話帳

押す

再生/停止

押す

●設定すると、
親機に
ガード が表示
されます。

おしらせ

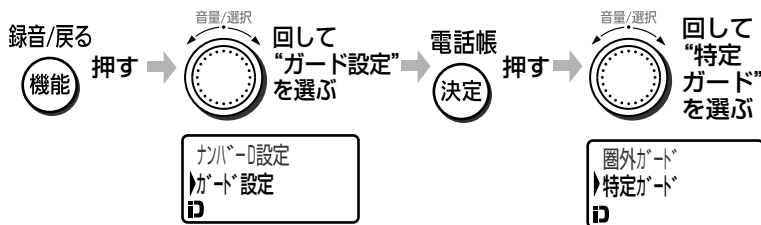
●限定着信設定中、親機の電話帳に登録していない人からの電話があったときは、着信履歴に「■限定着信外■」と表示されます。また、限定着信をお知らせ着信で設定中、親機の電話帳に登録していない人からの電話があったときは、親機の着信履歴に「■お知らせ着信■」と表示されます。

ガード機能

親機で特定番号（最大30件）を登録する
(受話器をのせたままで操作します)

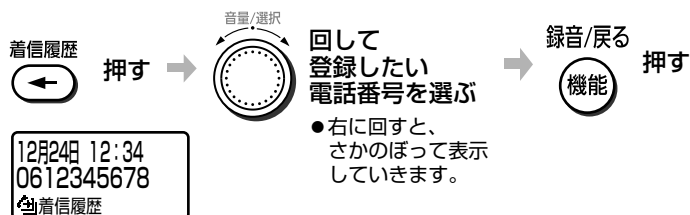
録音/戻る 機能 押す → 音量/選択 回して“ガード設定”を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 音量/選択 回して“特定ガード”を選ぶ

ﾅﾝﾊﾞｰD設定
▶ｶﾞｰﾄﾞ設定

圏外ｶﾞｰﾄﾞ
▶特定ｶﾞｰﾄﾞ

親機で着信履歴から特定番号（最大30件）を登録する
(受話器をのせたままで操作します)

着信履歴 押す → 音量/選択 回して登録したい電話番号を選ぶ → 録音/戻る 機能 押す

12月24日 12:34
0612345678
着信履歴

●右に回すと、さかのぼって表示していきます。

親機で特定番号を確認する/消去する
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る

押す → 音量/選択 回して“ガード設定”を選ぶ → 電話帳 決定 押す →

回して“特定ガード”を選ぶ

ﾅﾝﾊﾞｰD設定
▶ｶﾞｰﾄﾞ設定
ｶﾞｰﾄﾞ

圏外ｶﾞｰﾄﾞ
▶特定ｶﾞｰﾄﾞ
ｶﾞｰﾄﾞ

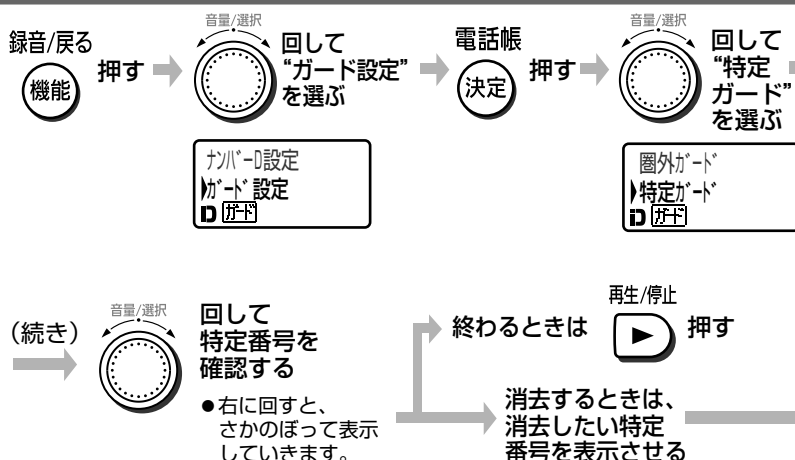
（続き）

回して特定番号を確認する

●右に回すと、さかのぼって表示していきます。

終わるときは 再生/停止

押す

消去するときは、消去したい特定番号を表示させる

おしらせ

●電話帳に登録した電話番号と同じ番号を特定番号に登録すると、特定番号ガードが優先され、その番号からの電話に出ることはできません。
●電話番号が通知されていない着信情報（非通知、公衆電話、表示圏外、受信エラー）は、特定番号に登録することができません。
●特定番号が30件登録されると、登録できなくなります。不要になった特定番号を消去してください。

電話帳 2回押す → ダイヤルボタンで、市外局番から電話番号を入力する（最大20桁） → 電話帳（決定）押す → 再生/停止 押す

（例）“0312345678” のとき

電話番号？
0312345678

- 途中で入力し直すには、キャッチ／消去 を押してください。
- 親機に、ガード が表示されます。

 音量/選択 回して“ガード登録”を選ぶ → 電話帳（決定） 2回押す

電話帳登録
ガード登録

- 親機に、ガード が表示されます。

電話帳（決定）押す → 音量/選択 回して“確認”を選ぶ → 電話帳（決定）押す （下へ続く）

登録
確認
ガード

（例）“0312345678” のとき

特定ガード
0312345678
ガード

キャッチ（消去）押す → 電話帳 押す → 再生/停止（▶）押す

- 特定番号をすべて消去すると、特定番号ガードが解除され、他のガード機能が設定されていない場合 ガード が消えます。

デナンバー・ディスプレイ

おしらせ

- 特定番号からの電話は、着信履歴に「▮特定ガード▮」と表示されます。このとき ＃ を押すと、電話番号を表示します。
- 特定番号ガードの設定・解除の方法はありません。特定番号ガードを解除したいときは、特定番号を1件ずつすべて消去してください。

ドアホンを接続する

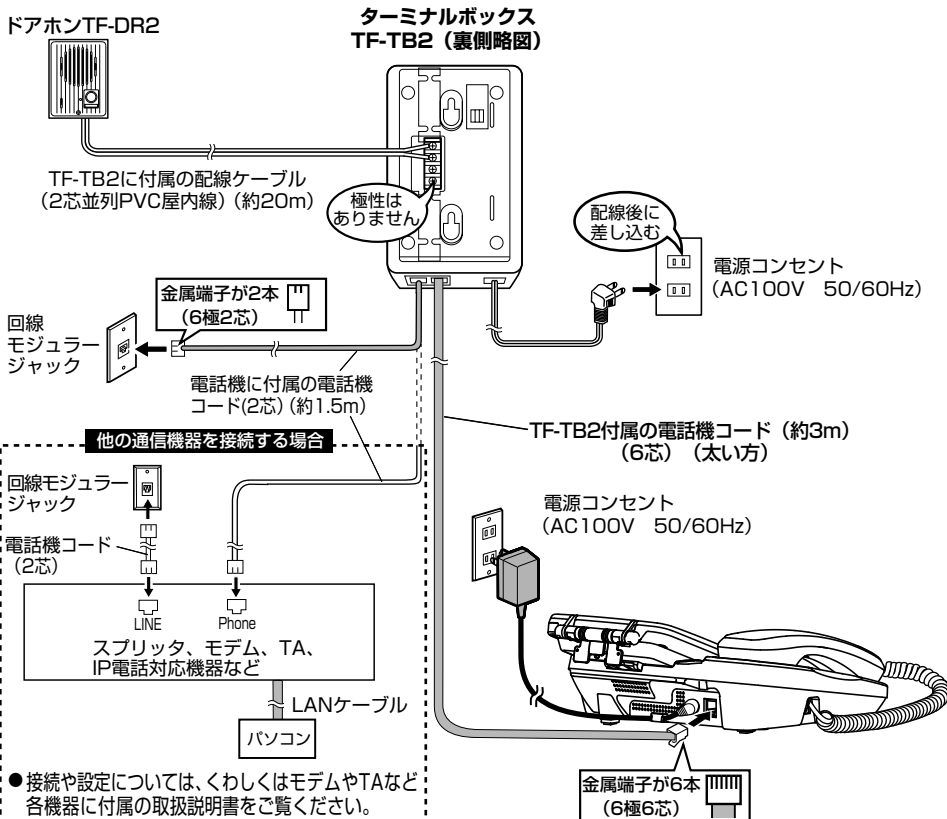
ドアホンをお使いになる場合は、別売のドアホン（TF-DR2）とターミナルボックス（TF-TB2）が必要です。ドアホン（TF-DR2）は2台まで接続できます。
ドアホン1の呼出音は「ピポピポピポピポ」、ドアホン2の呼出音は「ピポピポ」と鳴ります。
ドアホンの接続工事が終わったら、最後に電源コンセントに接続し、ドアホンの呼出しボタンを押して、正しく接続できたことを確認してください。正しく接続できたときは、電話機でドアホンの呼出音が鳴ります。

（例）ドアホン（TF-DR2）とターミナルボックス（TF-TB2）を接続する

別売品	型番	希望小売価格
ドアホン	TF-DR2	4,200円　（税抜価格　4,000円）
ターミナルボックス	TF-TB2	11,550円（税抜価格　11,000円）

（2011年7月現在）

- すでに、カメラ付きドアホン（TF-DC1）、テレビドアホンモニター（TF-DM1）をお使いの場合は、別売のドアホン（TF-DR2）を1台接続することができます。
- ドアホンの取り付けについては、ターミナルボックス（TF-TB2）の取扱説明書をご覧になり、販売店または工事店にご相談ください。
- 他社製のターミナルボックスはご使用になれません。

ターミナルボックス（TF-TB1）をお使いのお客様は、テレビドアホンは、ご使用になれません。ドアホン（TF-DR2またはTF-DR1）のみご使用が可能です。

- 6芯コードは、必ずTF－TB2に付属の電話機コードを使用してください。他のコードを使用すると、故障の原因となります。

ドアホン

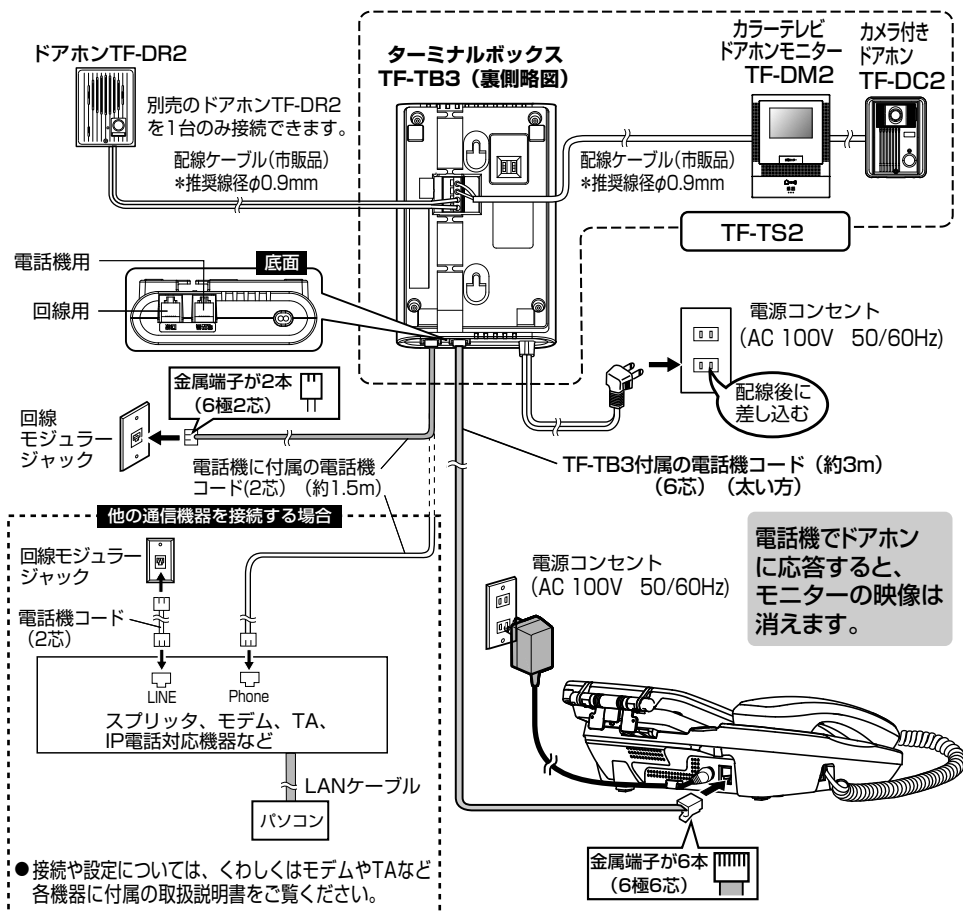
次ページへつづく

カラーテレビドアホンをお使いになる場合は、別売のカラーテレビドアホンセットTF-TS2（TF-TB3＋TF-DM2＋TF-DC2）が必要です。TF-TB3、TF-DM2、TF-DC2はそれぞれ個別に購入することはできません。

（例）ドアホン（TF-DR2）とカラーテレビドアホンセット（TF-TS2）を接続する

別売品	型番	希望小売価格
カラーテレビドアホンセット	TF-TS2	オープン

（2011年7月現在）

- カラーテレビドアホンセット（TF-TS2）をお使いの場合は、さらに、別売のドアホン（TF-DR2）を1台接続することができます。
- **本機でドアホンに応答すると、カラーテレビドアホンモニター（TF-DM2）の映像は消えます。相手を見ながら話したいときは、TF-DM2で応答してください。**
- ドアホンの取り付けについては、カラーテレビドアホンセット（TF-TS2）の取扱説明書をご覧になり、販売店または、工事店にご相談ください。
- TF-TB3以外のターミナルボックスはご使用になれません。

- 6芯コードは、必ずTF－TB3に付属の電話機コードを使用してください。他のコードを使用すると、故障の原因となります。

ドアホンを接続する

（親機）

■現在お使いのドアホンが下記の場合は、TF-DR2をお買い求めにならなくてもターミナルボックスTF-TB2に接続してお使いいただけます。

メーカー名	適合するドアホン
パイオニア	TF-DR1
アイホン	IF-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IE-JEX IE-NXUS
神田	KB-1A KB-4
富士通	FC-201A FC-201B FC-201C FC-201D
松下通信	VL-568KA VL-568U VL-568R VL-568UL VL-568KAP VL-568S VL-580D VL-D568KF VL-581D VL-592 VL-593 VL-594A
松下電工	EJ502 EJ501W EJ102 EJ503F EJ503A EJ1021B EJ106S EJ106A

●接続可能なドアホンは、配線が2線無極性でインピーダンス600Ωに限ります。

ドアホンと話す

次ページへつづく

親機でドアホンに応答する

ドアホンの呼出音が鳴ったら受話器をとる ➡ **ドアホンと話す** ➡ **終わったら受話器を戻す**

●液晶画面に「ドアホン1」(または「ドアホン2」)と表示されます。

●カラーテレビドアホンモニターの映像は消えます。

子機でドアホンに応答する

ドアホンの呼出音が鳴ったら充電器からとる(または 押す) ➡ **ドアホンと話す** ➡ **終わったら充電器に戻す**(または 切 押す)

●液晶画面に「ドアホン1」(または「ドアホン2」)と表示されます。

●カラーテレビドアホンモニターの映像は消えます。

■ ドアホン1とつながったあと、ドアホン2と話すときは、 2 を押します。再び 1 を押すと、ドアホン1との通話に戻ります。(1 または 2 を押すたびに切りかわります。)

親機でドアホンに呼びかける

(受話器をのせたままで操作します)

内線/文字 保留 **押す** ➡ **受話器をとる** ➡ **押す** ➡ **ドアホン1と話す**

●ドアホンを2台接続していても、ドアホン1とつながります。

子機でドアホンに呼びかける

(切を押してから操作します)

 内線/保留 **押す** ➡ **押す** ➡ **ドアホン1と話す**

●ドアホンを2台接続していても、ドアホン1とつながります。

● 外線通話中、内線通話中、留守応答中、ガード動作中は、ドアホンに応答できません。
● ドアホンの呼出音が鳴ってから、約30秒を過ぎた場合は、液晶画面が通常状態に戻り、ドアホンに応答できません。約30秒たったときは、ドアホンに呼びかけてください。
● ドアホンの呼出音が鳴っているときに、ドアホンに出てからすぐに切ると、ドアホン側の呼出音が鳴ることがあります。(故障ではありません。)
● ドアホン通話を切った直後に、ドアホンから呼出しがあってもドアホンの呼出音が聞こえない場合があります。
● ドアホンとの三者通話は、できません。
● ドアホンにハンズフリーで応答または呼びかけることはできません。ハンズフリーでドアホンと話したいときは、カラーテレビドアホンモニター(TF-DM2)で応答してください。また、カラーテレビドアホンセット(TF-TS2)をご利用時、本機でドアホンに応答すると、カラーテレビドアホンモニターの映像は消えます。相手を見ながら話したいときは、カラーテレビドアホンモニターで応答してください。(くわしくは、カラーテレビドアホンセット(TF-TS2)に付属の取扱説明書をご覧ください。)

ドアホンと話す

親機で外線または内線通話中にドアホンに応答する

通話中に呼出音が鳴る → **受話器を戻す** → **再び、呼出音が鳴る** （下へ続く）

●通話が切れます。

●液晶画面に「ドアホン1」（または「ドアホン2」）と表示されます。

（続き）→ **受話器をとり、ドアホンと話す**

●カラーテレビドアホンモニターの映像は消えます。

子機で外線または内線通話中にドアホンに応答する

通話中に呼出音が鳴る → **押す** → **再び、呼出音が鳴る** （下へ続く）

●通話が切れます。

●液晶画面に「ドアホン1」（または「ドアホン2」）と表示されます。

（続き）→ **を押し、ドアホンと話す**

●カラーテレビドアホンモニターの映像は消えます。

ドアホン

おしらせ

- ●ドアホンから呼出しがあっても、通話が終わるまでは、液晶画面に「ドアホン1」（または「ドアホン2」）と表示されません。
- ●外線通話中、ドアホンの呼出音が鳴っている間（数秒間）は、通話が中断され、通話中の親機や子機以外もスピーカーから呼出音が鳴りますが、通話が終了するまでドアホンに応答したり呼びかけたりすることはできません。また、外線通話を保留してドアホンに応答したり呼びかけたりすることはできません。

外線通話を保留中に、ドアホンの呼出音が鳴ったら

外線通話を保留したままドアホンと話すことはできません。保留を解除し、外線通話を終了させてからドアホンと話してください。

■ **親機で話すには、親機の 内線/文字（保留）を押して保留を解除し、受話器を戻し、外線通話を終了させてから、再度、受話器をとり、ドアホンに出てください。**

■ **子機で話すには、子機の （文字）内線/保留 を押して保留を解除し、外線通話を終了させてから、** **を押してドアホンに出てください。**

内線呼出中に、ドアホンから呼出しがあると

内線呼出が自動的に終了し、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。

■ **親機は受話器をとってドアホンに出てください。**

■ **子機は を押してドアホンに出てください。**

内線の一斉呼出中に、ドアホンから呼出しがあると

一斉呼出が自動的に終了し、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。

■ **親機は受話器をとってドアホンに出てください。**

■ **子機は を押してドアホンに出てください。**

一斉呼出を利用して外からの電話をまわしているときに、ドアホンの呼出しがあったら

一斉呼出を続けます。このとき、ドアホンの呼出音は鳴りません。ドアホンの呼出しから約30秒以内に、一斉呼出に応答すると、ドアホンの呼出音が鳴りますが、外線通話が終わるまでドアホンに出ることはできません。

■ **外線通話を終了させてから、親機は受話器をとる、子機は を押してドアホンに出てください。**

■ **保留転送中や子機間転送中も、内線呼出を続けます。送り手と受け手では、ドアホンの呼出音は聞こえません。上記と同じ操作を行なうと、ドアホンの呼出音が鳴り、ドアホンと話すことができます。**

外からの電話と三者通話中に、ドアホンの呼出音が鳴ったら

三者通話を終わらせ、外線通話を終了させると、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。

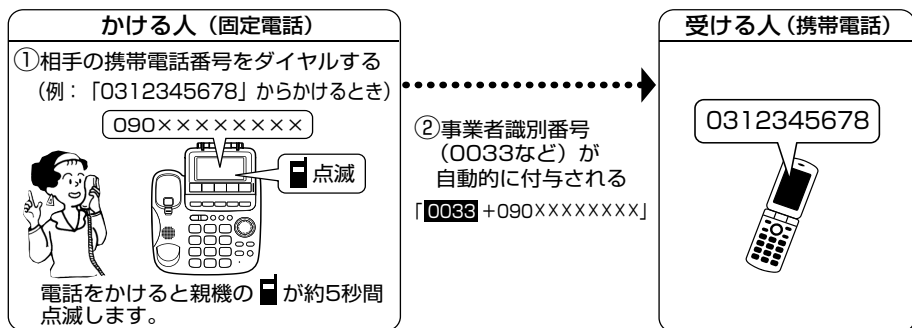
■ **親機は受話器をとってドアホンに出てください。**

■ **子機は を押してドアホンに出てください。**

■ **ドアホン通話中に外から電話がかかってくると、ドアホン通話が自動的に終了し、外線の呼出音が鳴ります。親機は一度受話器を戻し、再度受話器をとる、子機は を押すと、外の相手と話すことができます。**

携帯通話プリセット機能を使う

携帯通話プリセット機能とは、携帯電話へ電話をかけるとき、通話料金がおトクになるサービス（例：NTTコミュニケーションズの「0033モバイル」など）を利用するために、電話番号の前に事業者識別番号（例：NTTコミュニケーションズの場合は「0033」など）を自動的につけてダイヤルする機能です。通話料金、事業者識別番号、サービス内容につきましては、サービスを実施している各固定電話サービス事業者へ詳細をご確認ください。

- 本機はお買い上げ時、NTTコミュニケーションズの「0033モバイル」が、そのままご利用いただけるように設定されています。（親機の液晶画面に「▮」が表示されています。）
- NTTコミュニケーションズへのお申し込み手続きは不要です。
- NTTコミュニケーションズ以外の他の固定電話サービス事業者に変更するときは、102～103ページの操作で「NTTコミュニケーションズ以外の"その他事業者"に設定する」を行なってください。
- 通話料金は、利用した固定電話サービス事業者から請求されます。（2011年7月現在）

■ 下記の場合は、「携帯通話プリセット機能」はご利用になれません。
必ず「携帯通話プリセット機能」を解除してください。

- NTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話」ご利用時
- NTT東日本・NTT西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス（9ページ）ご利用時
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）接続時
- 固定電話から携帯電話への通話サービスを利用しない場合

- **IP電話サービスをご利用の場合は、100ページの「親機でNTTコミュニケーションズを設定する」または102ページの「親機でNTTコミュニケーションズ以外の"その他事業者"に設定する」の加入電話選択番号を設定し直してください。**
- 下記の場合は、ご利用になれます。
  - ・「184」や「186」をつけてかけたとき
    携帯通話プリセット機能を「NTTコミュニケーションズ(0033)」に設定していると、
    →184（または186）＋ 0033 ＋090××××××××とダイヤルされます。
  - ・リダイヤル、発信履歴からかけ直すとき（27～29ページ）
  - ・ワンタッチダイヤルを使ってかけるとき（26・70ページ）
  - ・電話帳を使ってかけるとき（25・57ページ）
  - ・着信履歴（79ページ）からかけ直すとき※
  - ・リターンダイヤル（47ページ）でかけるとき※

※…ナンバー・ディスプレイご利用時

次ページへつづく

ご注意

- マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なくご利用になれます。
- PHSへの通話では、ご利用いただけません。
- 通話先、通話時間、固定電話サービス事業者の料金体系によっては、一部お安くならない場合があります。くわしくは、ご利用の固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

携帯通話プリセット機能の設定について

- IP電話ご利用などで、固定電話から携帯電話への通話サービスをご利用にならない場合は、解除してください。設定してご使用になりますと、携帯電話への通話料金は、選択した（または設定した）固定電話サービス事業者のご利用分として請求されます。
- IP電話サービスをご利用時、接続するVoIP機器（ルーターなど）によっては、本機能が正しくはたらかない場合があります。

操作について

- 次の場合は、本機能ははたらきません。
  - ・通話中に キャッチ／消去 を利用して電話をかけるとき（トリオホンご利用時など）
  - ・ポーズを入れて登録した電話帳（58ページ）の相手に、電話をかけたとき
  - ・184や186などの番号を押してから、ポーズボタンを押してダイヤルしたとき
  - ・電話をかけるときに「ツー」音が聞こえてから、約18秒以内に携帯電話番号の最初の4桁をダイヤルしなかったとき
- 携帯通話プリセット機能がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは本機が事業者識別番号の付与判断を行なっているためであり、故障ではありません。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作など、携帯通話プリセット機能を使うと、一部サービスをご利用いただけない番号があります。この場合は、電話番号の前に「0000」をつけてダイヤルすると、一時的に携帯通話プリセット機能を解除して電話をかけることができます。

事業者識別番号について

- 本機でこの機能をご利用になるときは、携帯電話番号の前に「加入電話選択番号」（101ページ）や「事業者識別番号」（103ページ）をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料金が異なる場合があります。事業者識別番号を消去することはできません。
- 事業者識別番号は、各事業者ごとに異なります。事業者識別番号や料金体系など、サービスの内容につきましては、各固定電話サービス事業者にお問い合わせください。

「携帯番号帯」について

- 「080」「090」で始まる携帯電話番号の上位4桁のことです。あらかじめ携帯番号帯が18件設定されています。変更や登録はできません。
- 「0800」「0900」は、携帯通話プリセット機能の対象にはなりません。

●設定されている携帯番号帯（18件）

0801	0805	0809	0901	0905	0909
0802	0806		0902	0906	
0803	0807		0903	0907	
0804	0808		0904	0908	

（2011年7月現在）

お買い上げ時に本機の携帯通話プリセット機能で登録・設定されている「0033モバイル」（NTTコミュニケーションズ）に関しては、**NTTコミュニケーションズカスタマーズフロント**にお問い合わせください。

コールコール
0120−506506

受付時間：午前9：00〜午後9：00
（年末年始は除きます）(2011年7月現在)

●本機の機能・設定に関するお問い合わせは、弊社お客様相談室（151ページ）にお問い合わせください。

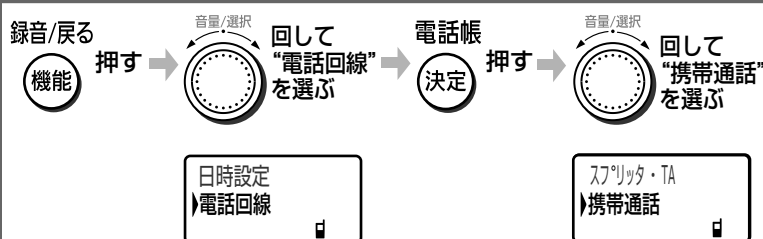
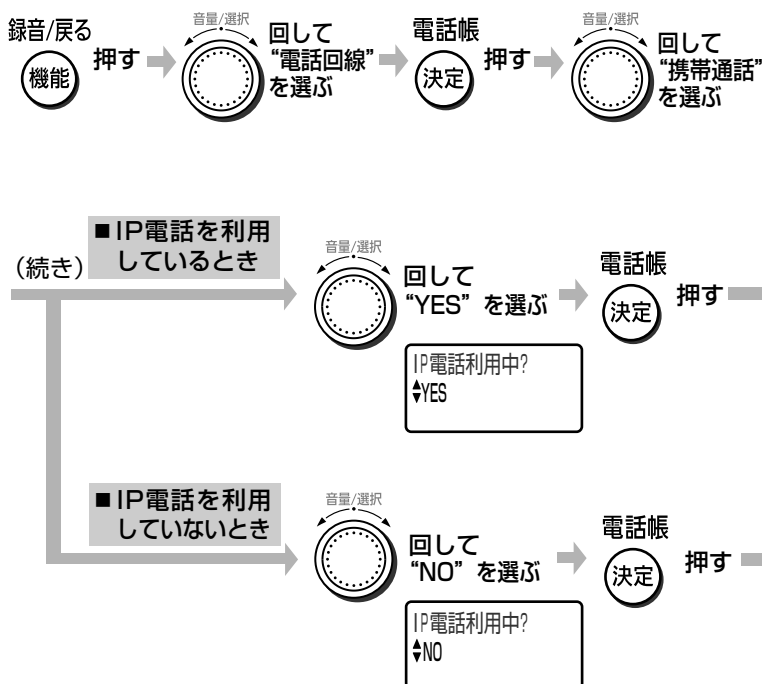
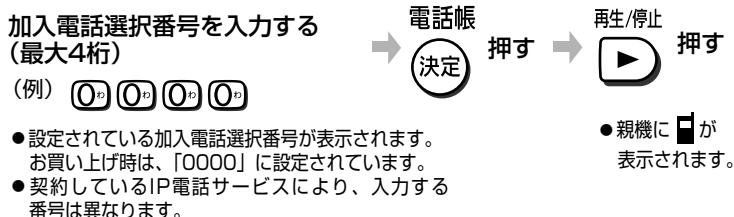
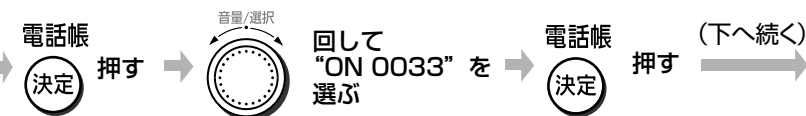
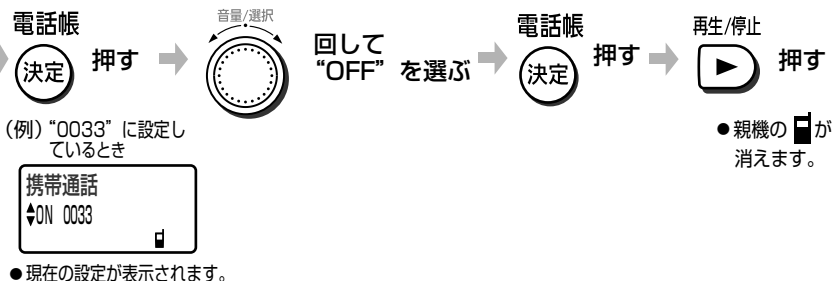
携帯通話プリセット

携帯通話プリセット機能を使う

お買い上げ時は「ON　0033　IP電話利用なし」に設定されています。
（親機の液晶画面に ▮ が表示されています。）

親機で携帯通話プリセット機能を解除する
（ひかり電話・PBXなどをご利用の方）
（受話器をのせたままで操作します）

日時設定
▶電話回線

スプリッタ・TA
▶携帯通話

親機でNTTコミュニケーションズ(0033)を設定する
（受話器をのせたままで操作します）

（続き）

■IP電話を利用しているとき

IP電話利用中?
▲▼YES

■IP電話を利用していないとき

電話帳
決定
押す

IP電話利用中?
▲▼NO

次ページへつづく

（親機）

加入電話選択番号を入力する（最大4桁）

（例） 0 0 0 0

- 設定されている加入電話選択番号が表示されます。お買い上げ時は、「0000」に設定されています。
- 契約しているIP電話サービスにより、入力する番号は異なります。

●親機に が表示されます。

再生/停止

押す

●親機に が表示されます。

携帯通話プリセット

おしらせ

- 「加入電話選択番号」とは、IP電話サービスをご契約時に、IP電話サービスを利用せずに電話をかける番号（例：0000、0009など）のことです。くわしくは、契約しているIP電話サービス事業者へお問い合わせください。
- 携帯通話プリセット機能を利用した場合、加入電話選択番号は液晶画面に表示されません。リダイヤルや発信履歴にも記録されません。（ダイヤルした携帯電話番号のみ記録されます。）

携帯通話プリセット機能を使う

親機でNTTコミュニケーションズ(0033)以外の"その他事業者"※1に設定する

(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る 機能 押す → 音量/選択 回して"電話回線"を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 音量/選択 回して"携帯通話"を選ぶ

(続き) 電話帳 決定 押す

■IP電話を利用しているとき → 音量/選択 回して"YES"を選ぶ

■IP電話を利用していないとき → 音量/選択 回して"NO"を選ぶ

※1…その他事業者と事業者識別番号の例

固定電話サービス事業者	事業者識別番号
NTT東日本	0036
NTT西日本	0039

(2011年7月現在)

おしらせ

- 事業者識別番号の設定に、市外局番や存在しない事業者識別番号を設定すると、相手につながりません。
- 携帯通話プリセット機能を利用した場合、事業者識別番号や加入電話選択番号は、液晶画面に表示されません。リダイヤルや発信履歴にも記録されません。(ダイヤルした携帯電話番号のみ記録されます。)

（下へ続く）

（例）0 0 3 9

- 設定されている事業者識別番号が表示されます。お買い上げ時は「0033」に設定されています。
- ＊、＃、ポーズは入力できません。
- 「00」から始まる数字を設定してください。
- 「0000」「00000」「000000」は設定できません。
- 新たに入力すると上書きされます。

電話帳（決定）押す → 加入電話選択番号を入力する（最大4桁） → 電話帳（決定）押す → 再生/停止 押す

（例）0 0 0 0

- 設定されている加入電話選択番号が表示されます。お買い上げ時は、「0000」に設定されています。
- 契約しているIP電話サービスにより、入力する番号は異なります。

- 親機に が表示されます。

電話帳（決定）押す → 再生/停止 押す

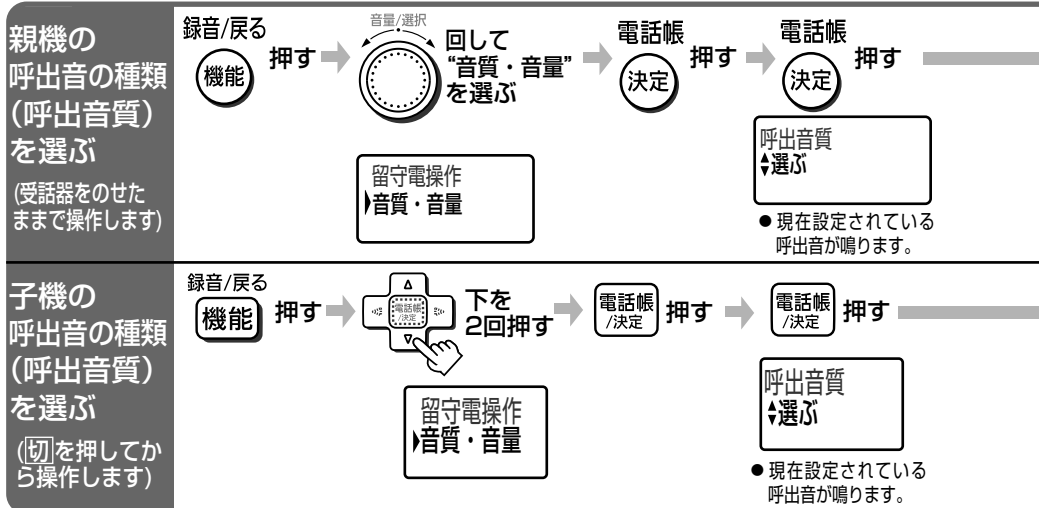
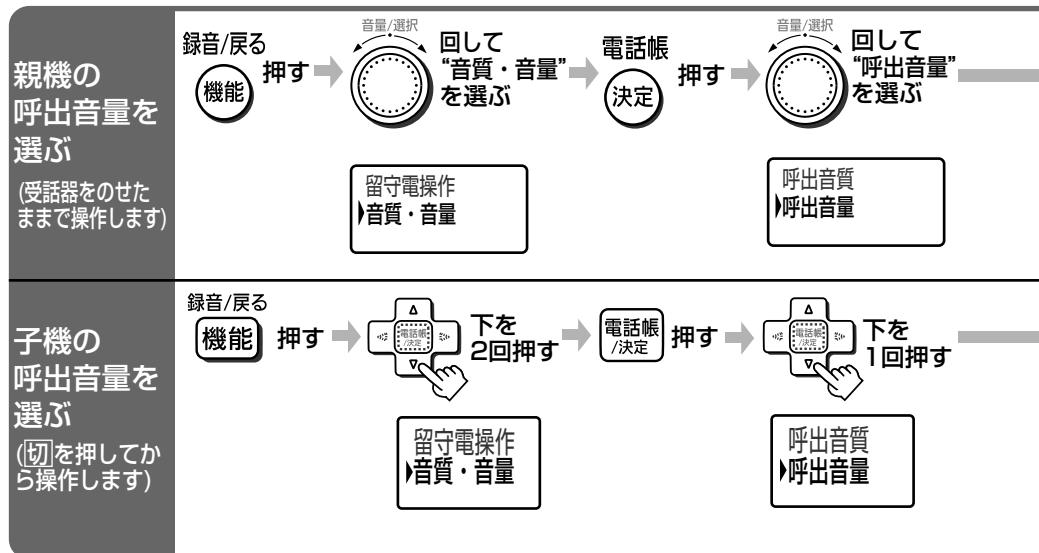
- 親機に が表示されます。

おしらせ

- 「加入電話選択番号」とは、IP電話サービスをご契約時に、IP電話サービスを利用せずに電話をかける番号（例：0000、0009など）のことです。くわしくは、契約しているIP電話サービス事業者へお問い合わせください。

音に関する機能の設定を変える

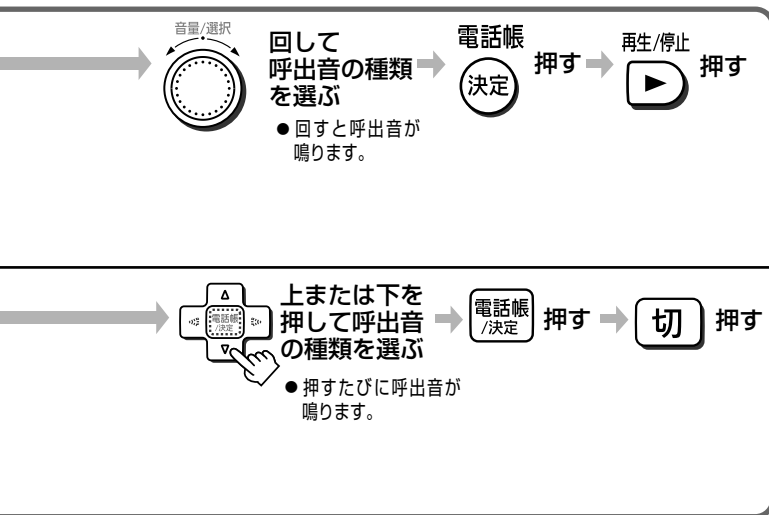
呼出音質、呼出音量、受話音量（106ページ）、キータッチ音（106～107ページ）、スピーカー音量（107ページ）、受話音質切替（108ページ）、タイマー呼出音量・時間帯（110～111ページ）を変えることができます。

■ 外線の呼出音の種類を6種類（右表）の中から選ぶことができます。
お買い上げ時は「ベル1<低音>」に設定されています。

■ 呼出音（外線・内線・ドアホン）の音量を5段階（音量1、音量2、音量3、音量4、消音）の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「音量3」に設定されています。

- 内線やドアホンの呼出音の種類を変えることはできません。
- 親機の呼出音量を消音にしてから留守セットすると、親機の呼出音やスピーカーからの音を出さずに留守応答できます。（消音留守セット）

お好みで変える

次ページへつづく

回して
呼出音の種類
を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

●回すと呼出音が
鳴ります。

● 呼出音質(6種類)

ベル1<低音>
ベル1<高音>
ベル2
チャイム
森のくまさん
ラデツキー行進曲

上または下を
押して呼出音
の種類を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 切 押す

●押すたびに呼出音が
鳴ります。

電話帳 決定 押す →

回して
音量を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

(例)音量3のとき

●現在の設定が表示されます。

●呼出音は鳴りません。設定状
態を見ながら選んでください。
消音のとき "消音"、
音量1のとき"[■]"、
音量2のとき"[■■]"、
音量3のとき"[■■■]"、
音量4のとき"[■■■■]"

●消音に設定すると、
親機に 消音 が
表示されます。

電話帳/決定 押す →

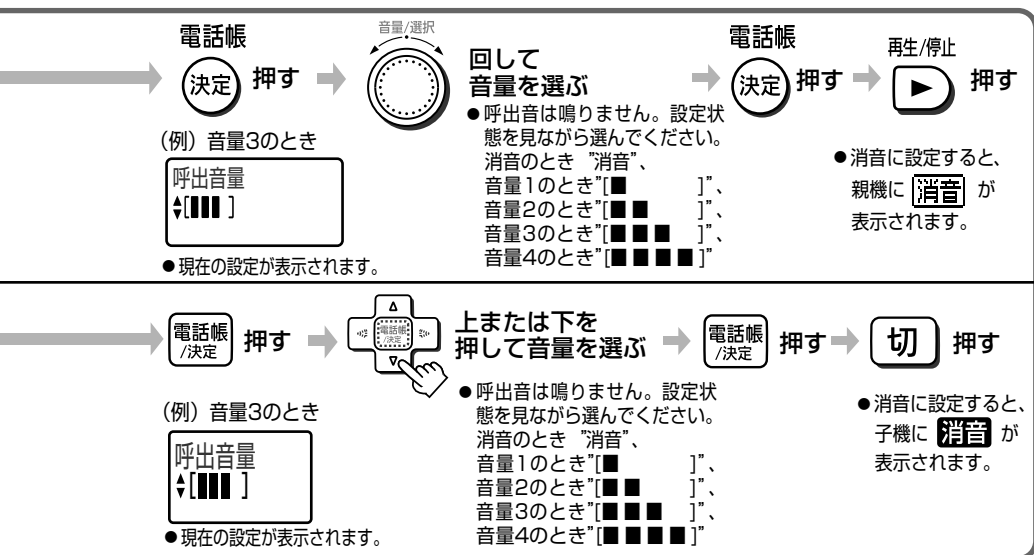
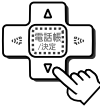
上または下を
押して音量を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 切 押す

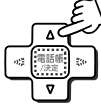
(例)音量3のとき

●現在の設定が表示されます。

●呼出音は鳴りません。設定状
態を見ながら選んでください。
消音のとき "消音"、
音量1のとき"[■]"、
音量2のとき"[■■]"、
音量3のとき"[■■■]"、
音量4のとき"[■■■■]"

●消音に設定すると、
子機に 消音 が
表示されます。

おしらせ

●消音に設定時、内線とドアホンの呼出音は音量1で鳴ります。
●呼出音質を「ベル1、ベル2、チャイム」以外に設定すると、かけてきた相手が電話を切っても、呼出音がすぐに鳴り止まないことがあります。

音に関する機能の設定を変える

■ 受話器や子機のレシーバーから聞こえる音量（受話音量）を、親機は10段階（音量1～10（特大））、子機は4段階（音量1～4（特大））の中から選ぶことができます。
お買い上げ時は親機は「音量4」、子機は「音量2」に設定されています。

親機の受話音量を調節する

受話器で通話中に

回して調節する

●右に回すと大きく（■が1つずつ増え）、左に回すと小さくなり（■が1つずつ減り）ます。最大の状態からさらに右に回したときや、最小の状態からさらに左に回したときは「ピピピ」と鳴り、切りかわりません。

（例）音量2のとき

0'05　小█▪▪▪▪▪▪▪▪大
0312345678

●内線通話中、音量は表示されません。

子機の受話音量を調節する

子機を耳にあてて通話中に

上または下を押して調節する

●押すたびに、音量1 ↔ 音量2 ↔ 音量3 ↔ 音量4と切りかわります。音量4の状態からさらに上を押したときや、音量1の状態からさらに下を押したときは「ピピピ」と鳴り、切りかわりません。

（例）音量1のとき

0'05　音量1
0312345678

●内線通話中、音量は表示されません。

■ ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を鳴らす、鳴らさないを設定することができます。
お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

親機のキータッチ音を設定／解除する
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る 機能 押す → 音量/選択 回して"音質・音量"を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 音量/選択 回して"キータッチ音"を選ぶ

留守電操作
▶音質・音量

呼出音量
▶キータッチ音

子機のキータッチ音を設定／解除する
(切を押してから操作します)

録音/戻る 機能 押す → 下を2回押す → 電話帳/決定 押す → 上を1回押す

留守電操作
▶音質・音量

タイマー時間設定
▶キータッチ音

おしらせ

●キータッチ音を解除すると、完了音や警告音も鳴らなくなります。ただし、下記の場合は鳴ります。
・子機で通話中、親機から離れすぎたとき
・電池残量が少なくなったとき
・クイック通話設定時、子機を充電器からとったあと約20秒以上何も操作をしなかったとき
・スピーカー音量や受話音量を調節中に、音量最大の状態からさらに音を大きくする操作をしたときや、音量最小の状態からさらに音を小さくする操作をしたとき
・ガード動作中に受話器をとったときなど

次ページへつづく

■ 用件再生やハンズフリー通話のスピーカー音量を、親機は10段階（音量1～10)、子機は4段階（音量1～4）の中から選ぶことができます。お買い上げ時は親機は「音量7」、子機は「音量3」に設定されています。

親機のスピーカー音量を調節する

ハンズフリー/発信 を押したときに/用件再生中に/居留守モニター中に

回して調節する

（例）音量3のとき

0'05 小▮▮▮······大
0312345678

●右に回すと大きく（■が1つずつ増え)、左に回すと小さくなり（■が1つずつ減り）ます。最大の状態からさらに右に回したときや、最小の状態からさらに左に回したときは「ピピピ」と鳴り、切りかわりません。

●用件再生中や居留守モニター中は音量は変えることはできますが、音量は表示されません。

子機のスピーカー音量を調節する

ハンズフリー を押したときに/用件再生中に/居留守モニター中に

上または下を押して調節する

（例）音量3のとき

0'05 音量3
0312345678

●押すたびに、
音量1 ↔ 音量2 ↔ 音量3 ↔ 音量4
と切りかわります。音量4の状態からさらに上を押したときや、音量1の状態からさらに下を押したときは「ピピピ」と鳴り、切りかわりません。

●用件再生中や居留守モニター中は音量は変えることはできますが、音量は表示されません。

電話帳 決定 押す → 回して設定を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

（例）設定しているとき

キータッチ音
♦ON

●現在の設定が表示されます。

●回すと
ON ↔ OFFと
切りかわります。

電話帳/決定 押す → 上または下を押して選ぶ → 電話帳/決定 押す → 切 押す

（例）設定しているとき

キータッチ音
♦ON

●現在の設定が表示されます。

●押すたびに
ON ↔ OFFと
切りかわります。

お好みで変える

●調節した受話音量とスピーカー音量は、電話を切っても変わりません。

音に関する機能の設定を変える

■ 外線通話中や三者通話中に受話器や子機のレシーバーから聞こえる音質（受話音質）を、3種類（標準、高音強調、低音強調）の中から選ぶことができます。通話が終わると標準に戻ります。お買い上げ時は「標準」に設定されています。

親機の受話音質を切りかえる	受話器で通話中に まかせて応答 留守 押す	●押すたびに受話音質が →標準 → 高音強調 → 低音強調 と切りかわります。 ●設定状態は液晶画面に表示されません。音を聞きながら調節してください。
子機の受話音質を切りかえる	子機を耳にあてて外線通話中に 押す	●押すたびに受話音質が →標準 → 高音強調 → 低音強調 と切りかわります。 ●設定状態は液晶画面に表示されません。音を聞きながら調節してください。

■ 親機で先押しダイヤル、発信履歴、電話帳、着信履歴などの操作時に、電話番号を音声で読上げるようにすることができます。（読上げダイヤル）　通話中は、はたらきません。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

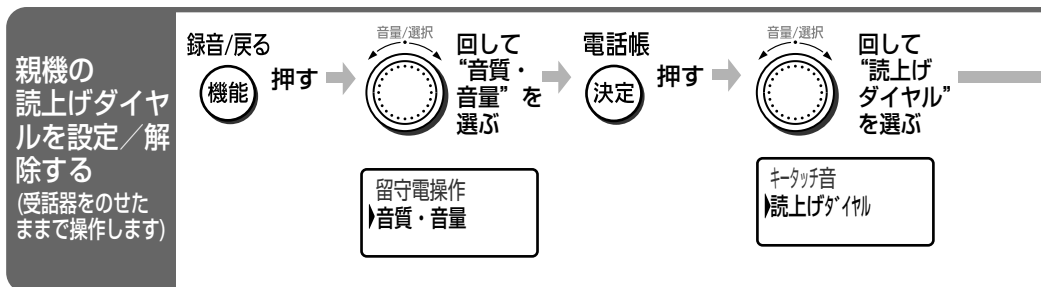
親機の読上げダイヤルを設定／解除する
(受話器をのせたままで操作します)

1. 録音/戻る 機能 押す
2. 音量/選択 回して“音質・音量”を選ぶ

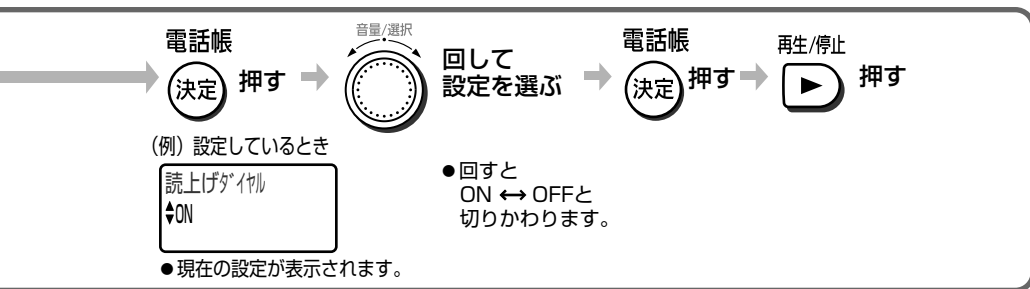
   留守電操作
   ▶音質・音量

3. 電話帳 決定 押す
4. 音量/選択 回して“読上げダイヤル”を選ぶ

   キータッチ音
   ▶読上げﾀﾞｲﾔﾙ

おしらせ

●通話録音中（32ページ）は受話音質を切りかえることはできません。

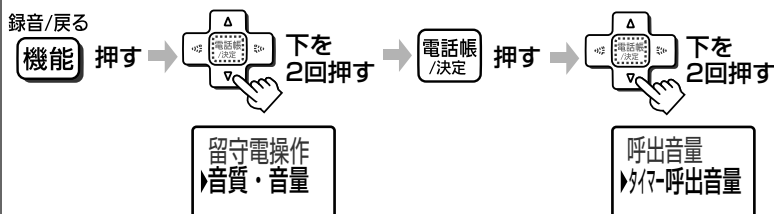
次ページへつづく

電話帳
決定
押す
音量/選択
回して
設定を選ぶ
電話帳
決定
押す
再生/停止
押す
（例）設定しているとき
読上げダイヤル
ON
●現在の設定が表示されます。
●回すと
ON ↔ OFFと
切りかわります。

音に関する機能の設定を変える

■ 子機の呼出音量を、設定した時間帯だけ通常と異なる音量にすることができます。（タイマー呼出音量）就寝時は消音、昼間は音量4などに設定すると便利です。お買い上げ時は「タイマー設定なし」に設定されています。タイマー呼出音量は5段階（音量1～4（特大）、消音）の中から選ぶことができます。

子機のタイマー呼出音量を選ぶ（設定／解除）
（切を押してから操作します）

録音/戻る 機能 押す → 下を2回押す → 電話帳/決定 押す → 下を2回押す

留守電操作
▶音質・音量

呼出音量
▶タイマー呼出音量

■ タイマー呼出音量の時間帯を設定することができます。お買い上げ時は「0時～6時」に設定されています。あらかじめ、設定する子機の時計を正しく合わせて（22～23ページ）から操作してください。

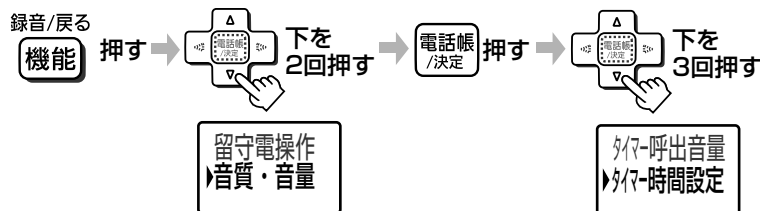
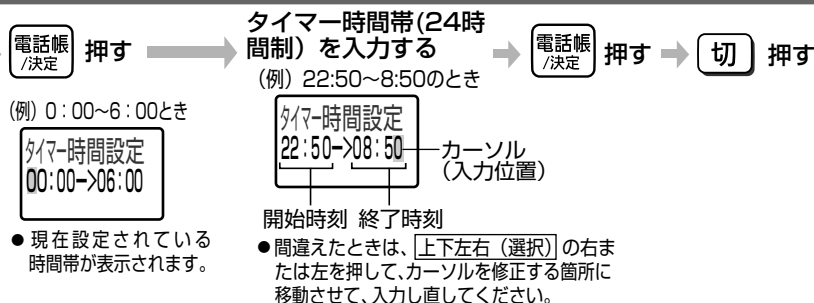
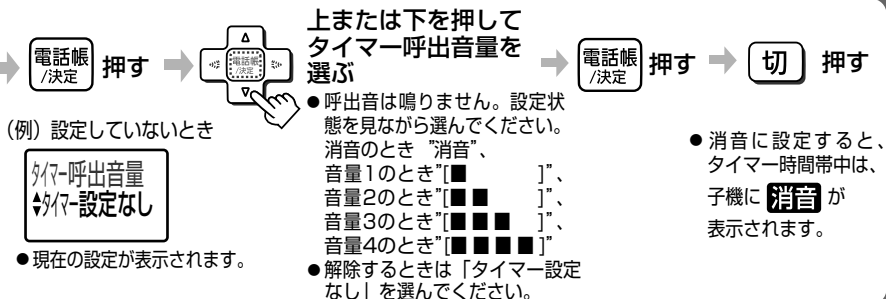
子機のタイマー呼出音量の時間帯を設定する
（切を押してから操作します）

録音/戻る 機能 押す → 下を2回押す → 電話帳/決定 押す → 下を3回押す

留守電操作
▶音質・音量

タイマー呼出音量
▶タイマー時間設定

お好みで変える

お好みで変える

おしらせ

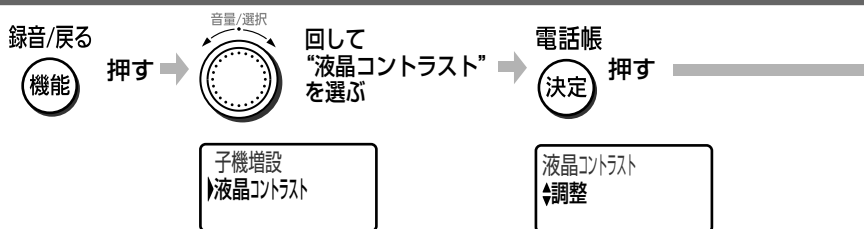
●タイマー呼出音量を消音に設定すると、タイマー時間帯に鳴る内線の呼出音は、音量1で鳴ります。
●タイマー呼出音量を設定中、子機のリセット操作（124ページ）を行なっても、設定したタイマー時間帯は保持されますが、子機の時計がお買い上げ時の状態「2010年1月1日午前0時」に戻りますので、子機の時計を合わせて（22〜23ページ）ください。時計を合わせないと、設定してあるタイマー時間帯に呼出音量が正しく切りかわりません。

その他の機能の設定を変える

■ 液晶のコントラストを、親機は11段階、子機は12段階の中から選ぶことができます。
お買い上げ時は、親機、子機ともに中間に設定されています。

親機の液晶のコントラストを選ぶ
(受話器をのせたままで操作します)

録音/戻る 機能 押す →

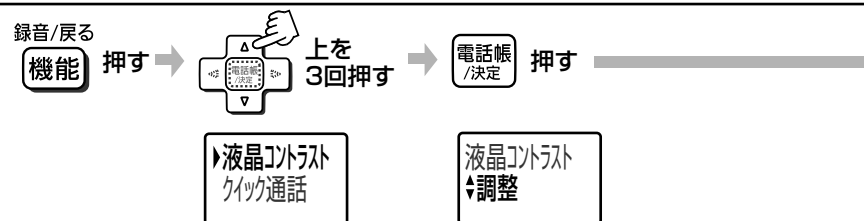
回して"液晶コントラスト"を選ぶ → 電話帳 決定 押す

液晶コントラスト
⇕調整

子機の液晶のコントラストを選ぶ
(切を押してから操作します)

録音/戻る 機能 押す →

上を3回押す → 電話帳/決定 押す

液晶コントラスト
⇕調整

次ページへつづく

回して
コントラスト
を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 再生/停止 ▶ 押す

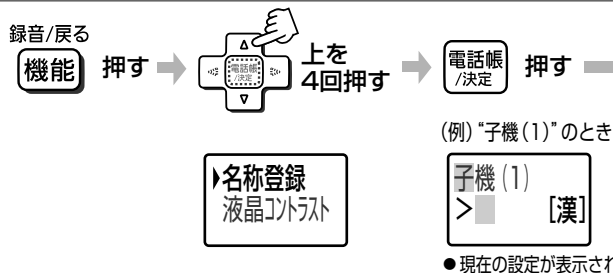
●数値では確認できません。
回すと液晶のコントラストが
切りかわります。液晶画面を
見ながら選んでください。

上または下を
押してコント
ラストを選ぶ → 電話帳/決定 押す → 切 押す

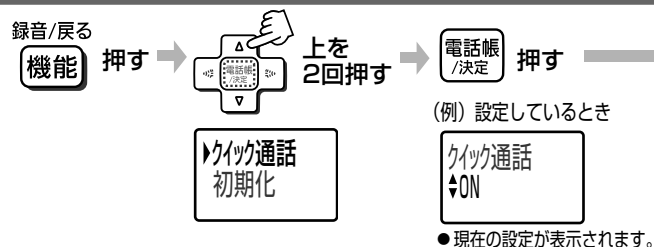
●数値では確認できません。
押すたびに液晶のコントラス
トが切りかわります。液晶画
面を見ながら選んでください。

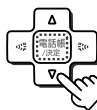
その他の機能の設定を変える

■子機に名前をつけ、通常状態（17ページ）のときに、表示させせることができます。（名称登録）
お買い上げ時は、「子機（1）」、「子機（2）」…と登録されています。
名称を変えると、内線で呼出すときや呼出されたときに相手の名前が表示されます。（内線ネーム呼出　37～38・40～43ページ）親機の名称を変えることはできません。

子機に名称を登録する
(切を押してから操作します)

■子機を充電器からとるだけで、☎を押さなくても電話をかけたり、受けたりすることができます。
（クイック通話）　お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

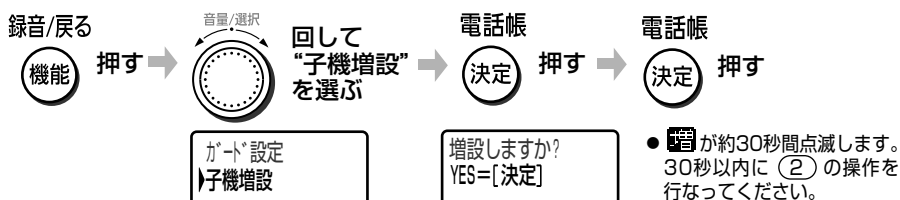
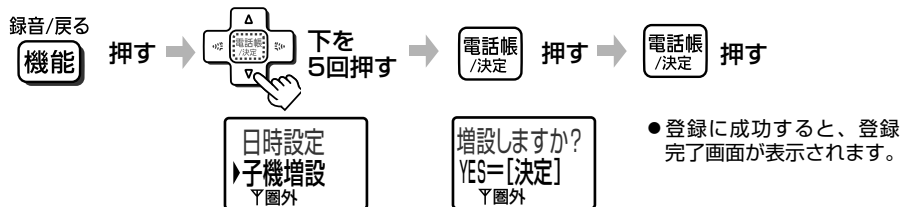
子機のクイック通話を設定／解除する
(切を押してから操作します)

お好みで変える

登録内容を消去し、
名称を入力する
(全角5文字/半角10文字)

- 文字入力のしかたは60～63ページをご覧ください。
- 名称を入力しないで登録することはできません。

- 押すたびに
  ON ⟷ OFFと
  切りかわります。

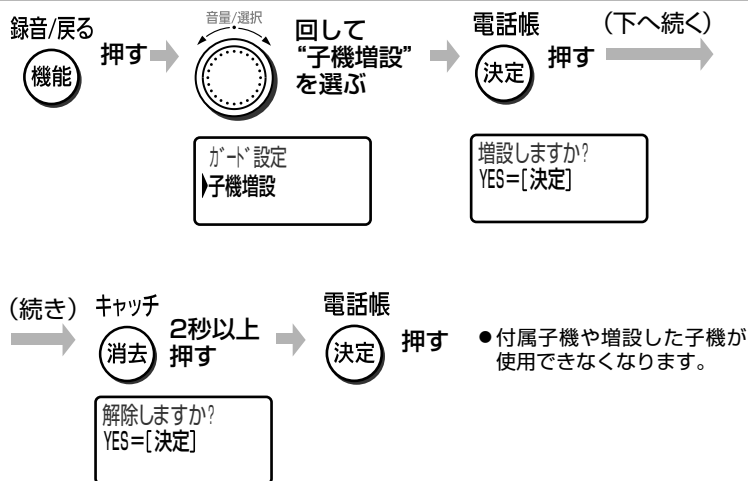
子機を増やす

別売の子機を増設することができます。（専用子機：TF-DK555）増設できる子機の台数は、付属子機を含めて最大4台です。販売店でお買い求めください。増設子機は、ご使用前に増設子機の登録操作が必要です。修理窓口にご依頼の場合、有料になります。（付属子機には、増設子機の登録操作は必要ありません。）
登録には、増設子機の他に、親機と親機用ACアダプターも必要です。親機用ACアダプターをコンセントに差し込んだ状態で、行なってください。

■増設子機の登録（①、②）を行なう際は、回線種別を正しく設定後、増設する子機を充電し［切］を押して、親機の近くに持ってきてください。

■ 増設子機が2台以上あるときは、必ず、1台ずつ、上記 ①、② をくり返し行なってください。
■ 登録後、増設した子機から親機を内線で（38ページ）呼出して、正しく増設できたことを確認してください。

おしらせ

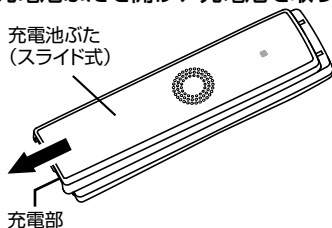
- 登録方法について、くわしくは、増設子機に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 「増設子機の登録」操作を途中で止めるには、親機の 増 が点滅中に、再度、親機で ① の操作を行なってください。増 の点滅が消え、親機の液晶画面が通常状態（15ページ）に戻ります。
- 「増設子機の登録」や「増設のリセット」の操作中、または操作後、約10秒間は、親機や子機を使用しないでください。また、親機から親機用ACアダプターを抜いたり、子機の充電池を外さないでください。登録やリセットの情報を正確に書き込めず、正常に動作しない場合があります。
- 操作を間違えたとき、時間内に登録操作が完了しなかったとき、登録に失敗したときは、登録操作をやり直してください。（なお、ご使用にならないときは、誤動作を防ぐために、充電池を外しておいてください。）
- ① の親機の操作を行なわずに、② の子機の操作を行なったり、親機の操作を間違えたなどで子機を登録できなかった場合は、子機の操作ができなくなりますが、約20～40秒経過すると、子機の液晶画面が通常状態（17ページ）に戻ります。
- 「増設子機の登録」を行なうと、お客様が名称登録した子機の名称は自動的に消去され、お買い上げ時の状態（「子機（1）」、「子機（2）」…）に戻ります。

■ 子機の使用をやめるときや子機を交換するとき、使用する子機の台数を減らすときは「増設のリセット」を行ない、使用する子機で「増設子機の登録」(116ページ)を行なってください。

充電池（ニッケル水素電池）を交換する

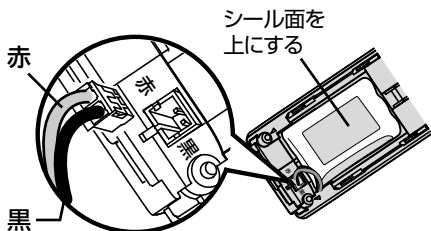
（子機）

子機の専用充電池（ニッケル水素電池）は消耗品です。約2年くらいで新しい充電池と交換してください。

充分に充電しても、少し話すとすぐに通話ができなくなるときは、新しい充電池と交換してください。

① 充電池ぶたを開け、充電池を取り外す

- 充電部に向かって、ふたをスライドさせてください。
- 充電池を取り外すときは、充電池を持って、充電池のコードを引っ張ってください。

② 新しい充電池を入れて 充電する （19ページ）

ビニールカバーをはがさないでください。

- 子機の充電池を交換すると、子機のリセット操作（124ページ）を行なった場合と同じ状態になります。

お願い

- 必ず指定の充電池（別売品　TF-BT10（ニッケル水素電池）、電圧：3.6V）をお使いください。
- 充電池のコードを無理に引っ張らないでください。
- 必要のない限り、プラグの抜き差しは行なわないでください。むやみな抜き差しは、線材およびコネクタの破損をまねくおそれがあります。
- 充電が完了しても、充電器上で、子機の液晶画面に何も表示されなかったり、充電ランプが赤点灯しないときは、子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。

充電式電池リサイクルご協力のお願い

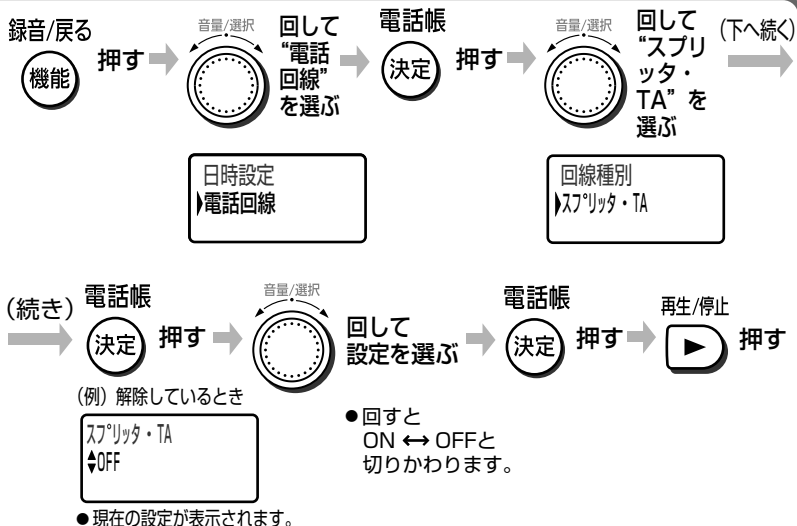
- 本商品は、ニッケル水素充電池を使用しています。
- ニッケル水素充電池はリサイクル可能の貴重な資源ですので、リサイクルにご協力ください。
- 交換後不要になった充電池は、下記の注意事項を守ってリサイクル協力店の充電式電池リサイクルBOXに入れてください。
  - ·充電池のビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - ·充電池のコードやプラグは切断しないでください。
  - ·充電池を分解しないでください。
  - ·充電池の金属端子が露出した場合は、ビニールテープなどを貼って絶縁してください。
- リサイクル協力店は、一般社団法人JBRCホームページでご確認ください。
  http://www.jbrc.com

Ni-MH

（2011年7月現在）

スプリッタ・TA設定

（親機）

ADSLをご利用になっている場合や、ISDN回線のTAなどに接続してご利用になっている場合に、「ハウリングを起こす」「音声が回り込み相手の声が聞きとりにくい」「通話の声が大きい」「音質が悪い」「話しにくい」などの症状が起こる場合があります。このような場合は、スプリッタ・TA設定を行なうことにより、症状が緩和することがあります。お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

おしらせ

- この操作を行なっても、回線状況や接続しているスプリッタ・TAの種類によっては症状が改善しない場合があります。この場合は、契約されているADSL接続サービス会社やTAのメーカーにご相談ください。
- この操作を行なっても、症状が改善されなかったり、音声の回り込みや音質の低下が発生する場合は設定を解除してください。
- ADSLをご利用の場合、通話中に雑音が入る場合があります。ADSLをご利用になっているときの特有の事象です。契約されているADSL接続サービス会社へご相談ください。

＊切り取り線

リモコン早見表

種類		操作番号
用件再生		#○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守セット／解除	#⑥
	全消去	#＊

リモコン早見表

種類		操作番号
用件再生		#○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守セット／解除	#⑥
	全消去	#＊

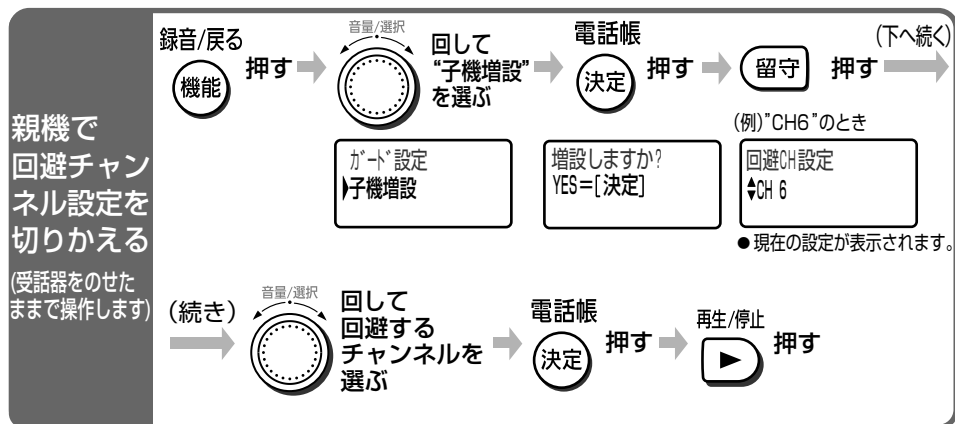
▼本機の使用周波数に関わるご注意　＊切り取って親機や充電器の近くに貼ってお使いください。

●電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1.本機を使用する前に、近くで移動体識別の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機のACアダプターを抜いて、混信回避のためのパーティションの設置や設置場所の移動を行ない、互いに干渉が起きないようにしてください。
3.その他、本機から移動体識別用の小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様相談室へお問い合わせください。

回避チャンネル設定

他の電化製品（無線LAN機器など）の電波干渉によって、通話に雑音が入る場合、回避チャンネル設定を変更して電波干渉を避けることにより、通話品質が改善される場合があります。
例えば、無線LAN機器で「CH12」をお使いの方は、無線LAN機器のチャンネルを「CH11」に設定し、下記操作で、本機の回避チャンネルを「CH11」に設定すると、通話品質が改善される場合があります。
回避チャンネルは3種類（CH1、CH6、CH11）の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「CH6」に設定されています。

おしらせ

- 切りかえても症状が改善されなかったり、逆にひどくなった場合は、お買い上げ時の設定「CH 6」に戻してください。
- 回線種別が正しく設定されていないと、回避チャンネル設定を切りかえることはできません。(21ページ)

初期化

すべての設定（呼出音量、呼出音質など）、登録されている内容（電話帳の登録内容、名称登録など）が、お買い上げ時の状態に戻ります。

■ 電話帳にあらかじめ登録されている時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）は、消去されません。

本機（親機とすべての子機）は、お客様固有の情報（登録した内容や録音した内容など）を保持可能な商品です。登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本機を廃棄・譲渡・返却するときは、個人情報保護の観点から親機とすべての子機で初期化の操作を必ず行なってください。

■ あらかじめ、親機・すべての子機に電源が入っていること、すべての子機の液晶画面に「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「 圏外 」が表示されていないことを確認し、初期化を行なってください。子機の名称登録（114～115ページ）が消えずに残るなど、初期化後、正常に動作しない場合は、親機と子機の状態を確認し、再度、初期化の操作をやり直してください。

① 子機で初期化する

（各々の子機で行なってください。）

（切を押してから操作します）

録音/戻る 機能 押す → 上を1回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す →（下へ続く）

クイック通話
▶初期化

初期化?
YES=[決定]

開始しますか?
YES=[決定]

（続き）→ 電話帳/決定 押す

●初期化が終わると、お買い上げ時の状態に戻ります。

② 親機で初期化する

（受話器をのせたままで操作します）

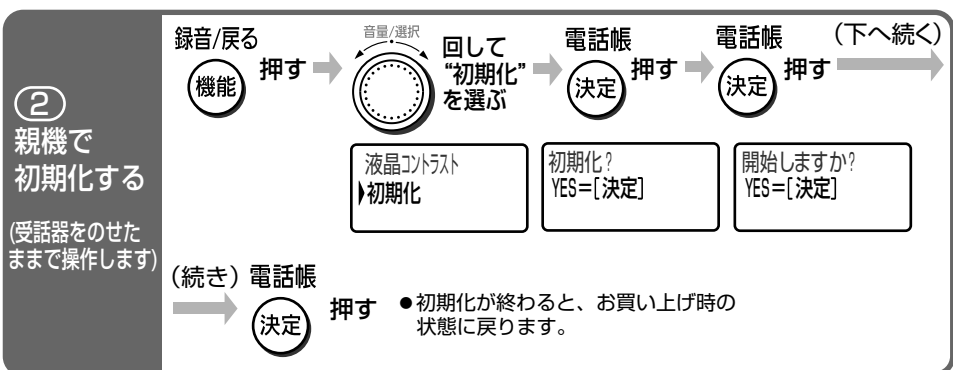
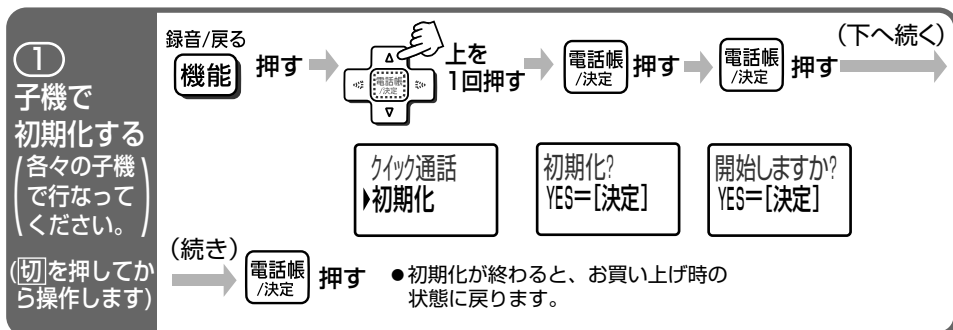
録音/戻る 機能 押す → 音量/選択 回して“初期化”を選ぶ → 電話帳 決定 押す → 電話帳 決定 押す →（下へ続く）

液晶コントラスト
▶初期化

初期化？
YES=[決定]

開始しますか?
YES=[決定]

（続き）電話帳 → 決定 押す

●初期化が終わると、お買い上げ時の状態に戻ります。

初期化が始まると、途中で止めることはできません。また、初期化を行なうと、本商品内に保存または保持された情報がすべて消えます。初期化をしないときは、「初期化？」または「開始しますか？」と表示されているときに、親機は 再生 ►/停止 子機は 切 を押してください。

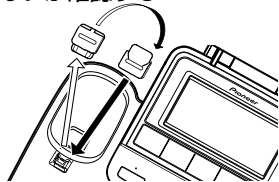
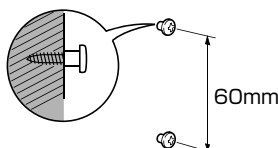
おしらせ

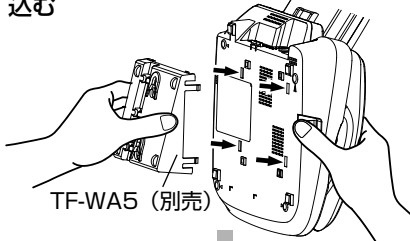
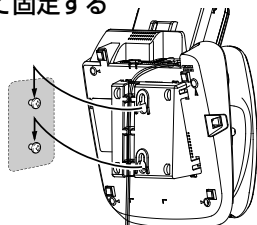
●初期化中は、親機や子機を使用しないでください。電話をかけたり受けたりすることはできません。
●連続して初期化を行なうと、液晶画面に「使用中」と表示されたり、初期化が正常に行なえない場合があります。このときは、約5秒くらいたってから、初期化の操作を行なってください。
●初期化後、親機や子機を使用するときは、回線種別を正しく設定してください。（21ページ）

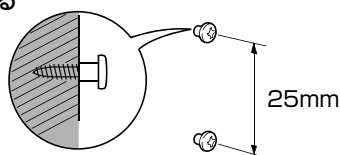
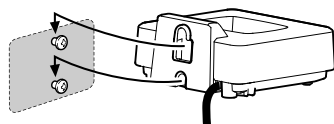
壁掛け

親機や充電器を、壁に取り付けることができます。親機を壁に取り付ける場合には、別売の壁掛けアダプター（ネジ付き）が必要です。 TF-WA5　希望小売価格525円（税抜価格500円）
充電器を壁に取り付ける場合には、別売のネジが必要です。（品名：ネジASSY　品番：FXA1831（サービス部品扱い））希望小売価格210円（税抜価格200円）ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。　（希望小売価格は2011年7月現在の価格です。）

親機を壁に取り付ける

壁掛け用フックをはずして、上下の向きを逆さにし、裏返して差込み、受話器が落ちてこないか確認する

123ページの右側にある壁掛け用取付寸法を壁にあて、壁掛け用ネジを取り付ける

本体底面に壁掛けアダプターの4本のツメを「カチッ」と音がするまで押し込む

TF-WA5（別売）

親機用ACアダプターのコードと電話機コードを図のように処理し、壁掛けアダプター底面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する

充電器を壁に取り付ける

123ページの右側にある壁掛け用取付寸法を壁にあて、別売の壁掛け用ネジを取り付ける

電源コードを図のように処理してから、充電器背面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する

- ネジがゆるんでいると、子機を充電することができない場合があります。

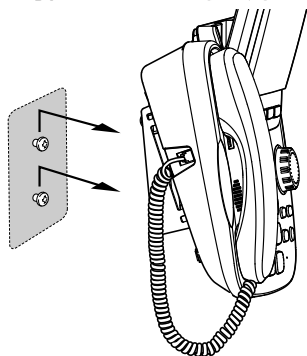
注意

- 壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付け・設置してください。落下のおそれがあり、けがの原因となることがあります。
- ベニヤ板などの薄い板壁やボード板（石こう板）には取り付けないでください。落下のおそれがあり危険です。
- 電源コードを壁や柱に固定しないでください。固定すると、被覆や芯線を傷つけてしまい、火災の原因となります。

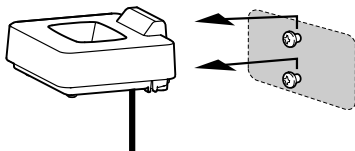
お願い

- 親機を幅の狭い柱などに取り付けるときは、板などを利用されると安定してお使いいただけます。

親機を壁から取り外す

上方に引き上げてから取り外す

充電器を壁から取り外す

上方に引き上げてから取り外す

壁掛け用取付寸法

親機60ミリ

充電器25ミリ

壁掛けアダプターを本体から取り外す

壁掛けアダプター側面の2本のツメを押しながら外す

停電のときは

停電中や親機から親機用ACアダプターが外れているときは…

親機	**受話器で電話をかけたり受けたりすることはできますが、その他の機能は使用できません。** ●停電時に電話をかけるときは、受話器をとり、「ツー」音が聞こえてから、ゆっくり長めにダイヤルしてください。 ●ナンバー・ディスプレイを契約している場合、ナンバー・ディスプレイははたらきません。電話がかかってくると、短い呼出音が鳴ります。このときは電話に出られません。(出ると電話が切れます。）呼出音が変わってから受話器をとってください。
子機	**電話機能は使用できません。** ●通話中に停電すると、通話は切れます。続いて「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…、ピピピ」音が鳴り、液晶画面に「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「 Y圏外 」が表示されます。

■ 日付・時刻の設定について

停電が終わると、親機の時計がお買い上げ時の状態に戻り、「2010年1月1日午前0時」から再び動き始めます。再度、親機の時計を合わせてください。（22～23ページ）子機1の時計が設定されていると、子機1の時計が自動的に親機に転送されます。

■ 留守番電話の用件再生中や、外線リモコン操作中に停電したとき

再生は停止します。外線リモコン操作中の場合、電話が切れます。

■ 電話帳に登録した内容・留守設定や用件録音の内容・各種設定について

登録内容・録音内容・各種設定は、停電復旧後も保持されます。（ただし、限定着信を「タイマーあり」で設定している場合は、限定着信の設定が解除されます。）

■ 停電が終わると、通常状態に戻るときに、約1秒程度回線とつながることがあります。

■ 停電が終わってからしばらくたっても、子機の液晶画面に「通話圏外」（または「親機サーチ中」）と「 Y圏外 」が表示されているときは、[☎]、[内線／保留／文字]または[ハンズフリー]のいずれかを押してください。

■ 正常に動作しないときは、リセット操作（右側）を行なってください。

リセットについて

ボタン操作を受けつけなくなった場合（強い外来ノイズや静電気、落雷を受けたときなど）や、正常に動作しない場合は、リセット操作を行なってください。また、本機は、自己診断機能により本機が異常と判断すると、自動的にリセット処理を行なう場合があります。

親機のリセット方法

親機から親機用ACアダプターを抜き、約1分経過してから、再度接続してください。（18ページ）

- 親機の時計がお買い上げ時の状態に戻り、「2010年1月1日午前0時」から再び動き始めます。再度、親機の時計を合わせてください。（22～23ページ）子機1の時計が設定されていると、子機1の時計が自動的に親機に転送されます。
- 限定着信（タイマーを設定している場合）は解除されます。（88～89ページ）
- 時計、限定着信（タイマーを設定している場合）以外の設定、登録した内容は保持されます。

子機のリセット方法

充電池ぶたを開け、充電池のプラグを抜き差ししてください。（19・118ページ）

- 子機の時計がお買い上げ時の状態に戻り、「2010年1月1日午前0時」から再び動き始めます。再度、子機の時計を合わせてください。(22～23ページ)
- タイマー呼出音量を設定中（110～111ページ）、子機のリセット操作を行なっても、設定したタイマー時間帯は保持されますが、子機の時計を合わせないと、設定してあるタイマー時間帯に呼出音量が正しく切りかわりません。
- 時計以外の設定、登録した内容は保持されます。

次ページへつづく

■ナンバー・ディスプレイをお使いの場合の接続について

- 1つの回線にはナンバー・ディスプレイ対応の機器は1台しかつなげません。2台以上の電話機をつなげてそのままお使いの場合、電話番号が表示されなかったり、かかってきた電話に出ることができないなどの原因となることがあります。
  2台以上お使いのときは、本機以外の機器（電話機やファクシミリなど）のナンバー・ディスプレイが**機能しないように**設定してください。

相手が電話をかけると

他の電話機

短い間隔の呼出音が鳴る

- 受話器をとらないでください。もし、受話器をとったときは、すぐに戻してください。
  受話器をとったままにすると、相手の方は「ツーツー…」と話し中になります。

↓

通常の呼出音が鳴る

- 受話器をとると、お話しできます。
- 他の電話機に留守番機能があるときは、他の電話機の留守番機能がはたらかないようにしてください。
- 短い間隔の呼出音で他の電話機が留守応答すると、本機のナンバー・ディスプレイ機能（76ページ）が使えなくなります。

本　機

呼出音が鳴らない

- 液晶画面に「着信」と表示されます。
  （電話番号などのデータを受信しています。）

↓

呼出音が鳴る

- ナンバー・ディスプレイをご利用の方は、液晶画面に電話番号などが表示されます。（76ページ）
- 受話器または子機をとる、または［受話器ボタン］を押すと、お話しできます。

● ファクシミリとの接続

ファクシミリの機種によっては、本機のナンバー・ディスプレイが表示されない、ファクシミリの受信ができないなど、本機と接続してご利用になれない場合があります。くわしくは、ファクシミリのメーカーにお問い合わせください。

● ホームテレホン、構内交換機（PBX）との接続

接続には、別途工事が必要の場合があります。くわしくは、ホームテレホン、構内交換機（PBX）のメーカーにお問い合わせください。また、ナンバー・ディスプレイ（76ページ）は、ご利用になれません。そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。

● ISDN回線のTAとの接続

ナンバー・ディスプレイ対応のTAをお使いください。くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。（なお、INSナンバー・ディスプレイをNTTとご契約後、ナンバー・ディスプレイの設定を本機とTAの両方で行なってください。）

・本機で行なう設定…ナンバー・ディスプレイの設定（78ページ）

・TAで行なう設定…ナンバー・ディスプレイの設定(くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。)

- 本機以外にナンバー・ディスプレイ対応のアダプター（表示器）は、お使いにならないでください。
  本機だけでナンバー・ディスプレイ（76ページ）がご利用になれます。
- 本機と並列に、他の電話機を接続しないでください。誤動作の原因となることがあります。

ADSLをご利用の場合は

■ 電話機での通話の声が大きい場合は、スプリッタ・TA設定（119ページ）を行なってください。
■ 電話をかけられない（フリーダイヤル、天気予報など）ときは、回線種別を手動で設定してください。（21ページ）

■ 困ったときは

- 回線種別を手動設定（21ページ）しても電話をかけられない
- 音量が小さい、雑音が多い
- ナンバー・ディスプレイで相手の電話番号が表示されない
- 携帯電話に電話をかけると、相手に「非通知」と表示される

本機の電話機コードを、ご自宅の電話機コード差込口に直接つないで確認してください。
正常の場合は、ADSLの事業者に相談してください。

NTTのISDN回線をご利用の場合は

■ 電話機での相手の声が大きい場合は、スプリッタ・TA設定（119ページ）を行なってください。
■ 接続したら回線種別を「プッシュ」に設定してください。（21ページ）

■ こんなときはTAの取扱説明書をお読みください。

- i・ナンバー、ダイヤルインを利用する
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンを利用する
- 携帯電話に電話をかけられない、受けられない・相手が切っても呼出音が鳴り続ける
（リバース[極性切替]スイッチ と DSU を切り離すスイッチを確認する）

- 接続についてくわしくは、ご利用のパソコン、ADSLモデム、スプリッタ、TAなどに付属の各取扱説明書をお読みください。
- ADSLなどをご利用になると、サービス会社や接続条件によっては下記のような症状が発生する場合があります。
  ・電話に雑音が入ることがあります。その場合は各ADSLサービス会社へご相談ください。
  ・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話・PHSに発信した場合は通知されない場合があります。
  ・発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990、186、184、122などをつけたときや、110、119、177、117などの番号にかけたときに、電話がかからない（つながらない）などの現象が発生することがあります。このようなときは、契約されている回線種別と電話機の回線設定が合っているかを確認し、手動で設定し直してください。（21 ページ）合っている場合は、各ADSLサービス会社へお問い合わせください。

仕様

＊ 仕様および外観は予告なしに変更することがあります。

型　番	TF-EV550D・EV553D・EV554D
使用周波数	2.4～2.4835GHz全帯域
変調方式	FH-SS方式
ダイヤル方式	ダイヤル回線：DP信号（10PPS／20PPS） プッシュ回線：PB信号
電　源	親機用ACアダプター(型番：VT--14) 専用充電池（型番：TF-BT10）
充電完了時　間	約10時間
使用時間	子　機：待ち受け時約180時間 ：連続通話時約6時間
消費電力	親　機：動作時最大約4.1W ：留守待機時約2.5W （留守セット時） 充電器：子機充電時約0.9W
直流抵抗	約279Ω
録音時間	応答メッセージ・用件・通話録音した内容などを含め約10分以内
用件録音時　間	1件につき約5分以内
寸　法（幅×高さ×奥行）	親　機：約191×88×237mm （突起部含まず） 子　機：約46×164×30mm 充電器：約85×40×83mm
質　量	親　機：約775g 子　機：約140g（充電池を含む） 充電器：約150g
使用環境	温度　5℃～35℃ 湿度　35%～85%

お手入れ

⚠注意

●お手入れの際は、安全のためにACアダプターおよび電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因になることがあります。ACアダプターを抜くと停電と同じ状態になります。（停電のときは　124ページ）

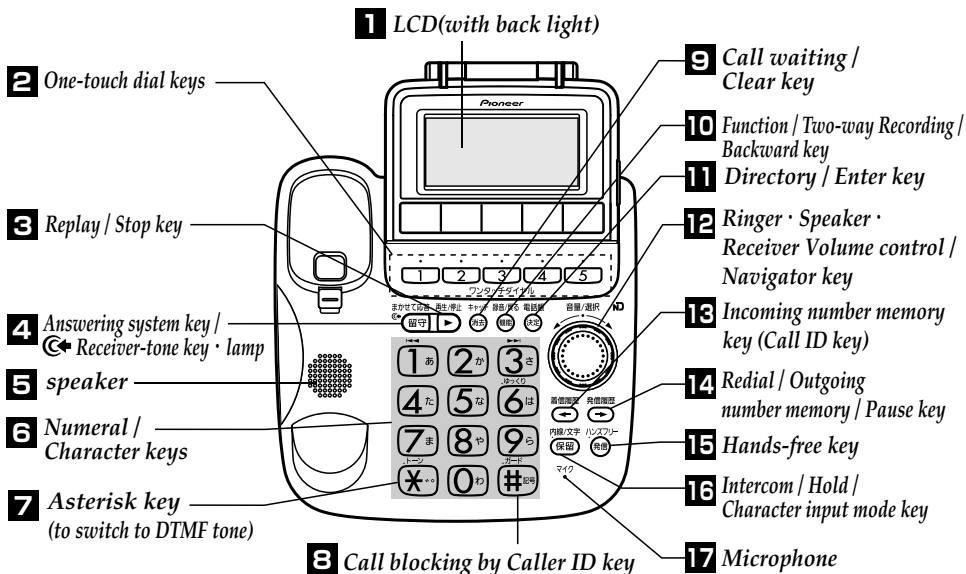
本体・コード類

- 柔らかい乾いた布でから拭きしてください。
- ぬれたぞうきんは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。またアルコール類や洗剤などは本体を傷める場合がありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、化学ぞうきんに添付の注意書をよくお読みください。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、本機の外装ケースを傷めますので避けてください。

子機・充電器

- 柔らかい乾いた布でから拭きしてください。
- ぬれたぞうきんは使用しないでください。

Quick Reference Guide

■ Parts Descriptions (Base Unit)

Basic Operations (Base Unit)

■ To make a call

Lift the handset. ➡ Dial.

■ To receive a call

When the phone rings... ➡ Lift the handset.

■ To adjust the ringer volume

With the handset placed on the base unit, press (10) .

➡Turn (12) until "音質・音量" on the LCD (1). ➡ Press (11).

➡Turn (12) until "呼出音量" on the LCD. ➡ Press (11).

➡Turn (12) to select the volume level(Silent,Vol.1〜Vol.4) . ➡ Press (11) to set .

➡Press (3).

■ To make a call using the Hands-free talk

Press (15). ➡ Dial. ➡ Talk to the microphone...To end the call , press (15).

■ To receive a call with the Hands-free talk

When the phone rings... ➡ Press (15). ➡ Talk to the microphone...

To end the call, press (15).

■ To place the current call on hold

Press (16) during a call. (You can place the handset on the base unit.)

■ To retrieve the held call

If you have returned the handset on the base unit, lift the handset.
If you have not returned the handset on the base unit, press (16) again.

■ To transfer the held call to the personal phone

Press (16) during a call. ➡ Press (1あ) ～ (4た) (6) (the extension number you want to transfer to). ➡ Place the handset on the base unit when the other party answers.

■ To use TAM(Telephone Answering Machine)

When you leave home, press (4) to turn the Answer lamp on.

(To deactivate, press (4) again to turn the Answer lamp off .)

➡ When receiving a call while TAM is active, it answers the call automatically in Japanese , and records the incoming messages.

Then, the (4) lamp starts blinking. ➡ When you return home, press (4) to play back the messages.

The (4) lamp turns off and the answering mode is deactivated.
To playback the message while TAM is deactivated , press (3).
During playing back the messages, press (9) to erase the message.

■ To erase all the message

With the handset placed on the base unit, press (10). ➡ "留守電操作"on the LCD (1). ➡ Press (11).

➡ Turn (12) until "用件全消去" on the LCD. ➡ Press (11). ➡ Press (3).

※Up to 59 messages can be recorded for approximately 10 minutes in total.

■ To record OGM（outgoing message)

With the handset placed on the base unit, press (10). ➡"留守電操作" on the LCD (1). ➡ Press (11).

➡Press (11). ➡ Turn (12) until "録音" on the LCD. ➡ Press (11).

➡Lift the handset to start recording. ➡ Speak to handset（up to 30sec）.

➡ Press (11) . ➡ Press (3).

■ To inhibit the cell phone pre-setting

With the handset placed on the base unit, press (10).

➡ Turn (12) until "電話回線" on the LCD(1). ➡ Press (11).

➡ Turn (12) until "携帯通話" on the LCD. ➡ Press (11).

➡ Turn (12) until "OFF" on the LCD. ➡ Press (11). ➡ Press (3).

■ To set a date

With the handset placed on the base unit, press (10).

➡ Turn (12) until "日時設定" on the LCD (1). ➡ Press (11).

➡ Enter the last 2 digits of the year, the month in 2 digits and date in 2 digits, and the time in 4 digits (Press (1あ) (1あ) (0わ) (9ら) (2か) (3さ) (1あ) (6は) (4た) (5な) 16:45 September 23th, 2011, for example).

➡ Press (11) . ➡ Press (3).

Quick Reference Guide

■ Parts Descriptions (Personal Phone)

1 *Earpiece*
2 *LCD (with back light)*
3 *Speed dial key*
4 *Navigator key (up/down, left/right)*
5 *Directory / Enter key*
6 *Numeral / Character keys · lamps*
7 *Asterisk key (to switch to DTMF tone)*
8 *Hands-free key*
9 *Call blocking by Caller ID key*
10 *Character input mode / Intercom / Hold key*
11 *Microphone*

Backside View

18 *Charge lamp*
19 *Speaker*
20 *Battery cover*

12 *Clear / Call waiting key*
13 *Incoming number memory key (Caller ID key)*
14 *Call / Receiver-tone key*
15 *Function / Two-way Recording / Backward key*
16 *Redial / Outgoing number memory / Pause key*
17 *End key*

Basic Operations (Personal Phone)

■ To make a call

Lift the personal phone from the cradle or press (14). ➡ Dial...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press (17).

■ To receive a call

When the phone rings... ➡ Lift the personal phone from the cradle or press (14). ➡ Talk...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press (17).

■ To adjust the ringer volume

After pressing the (17) , press (15).

➡Press down (4) 2 times to select ...“ 音質・音量 ” on the LCD (2).

➡Press (5). ➡ Press down (4) once to select...“ 呼出音量 ” on the LCD.

➡Press (5). ➡ Press (4) to select the volume level (Silent, Vol.1～Vol.4).

➡Press (5). ➡ Press (17).

■ To make a call using the Hands-free talk

Press (8). ➡ Dial . ➡ Talk to the microphone(11)...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press (17).

■ To receive a call with the Hands-free talk

When the phone rings... ➡ Press (8). ➡ Talk to the microphone...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press (17).

■ To place the current call on hold

Press (10) during a call.

■ To retrieve the held call

Press (14) or (10).

■ To transfer the held call to the base unit

Press (10) during a call . ➡ Press 0わ (6) (the base unit number).

➡Place the personal phone on the cradle or press (17) when the other party answers.

■ To transfer the held call to another personal phone

Press (10) during a call . ➡ Press 1あ ～ 4た (6) (the extension number you want to transfer to).

➡Place the personal phone on the cradle or press (17) when the other party answers.

■ To set a date

After pressing (17), press (15). ➡ Press down (4) 4 times.

➡To select "日時設定", press (5).

➡Enter the last 2 digits of the year, the month in 2 digits and date in 2 digits,

and the time in 4 digits (Press 1あ 1あ 0わ 9ら 2か 3さ 1あ 6は 4た 5な

for 16:45 September 23th, 2011, for example). ➡ Press (5). ➡ Press (17).

NOTICE
For Japanese standards only. This set operates on AC100V. Due to different standards of telephone line and different power requirements , this set cannot be used outside of Japan.

必要なときは

付録（区点コード　一覧表）

■漢字コードは左列の番号と上横列の番号を組み合わせた4桁の番号です。
（例）亜　漢字コード1601
■空白部分は、入力できません。ただし、0101（区点コード）は全角スペースとして入力することができます。

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	010		(SP)	、	。	，	．	・	：	；	？
	011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
	012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
	013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
	014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
	019	★	○	●	◎	◇					
	020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	021	→	←	↑	↓	〓					
	022							∈	∋	⊆	⊇
	023	⊂	⊃	∪	∩						
	024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
	026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
	027	∽	∝	∵	∫	∬					
	028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
	029					◯					
数字	031							0	1	2	3
	032	4	5	6	7	8	9				
アルファベット	033				A	B	C	D	E	F	G
	034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	036						a	b	c	d	e
	037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	039	z									
ひらがな	040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	048	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
	057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
	059										
特殊記号	060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
	070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
特殊記号	071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	073	Ь	Э	Ю	Я						
	074										а
	075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	078	ю	я								
	079										
	080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
	081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
	082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
	083	┥	┸	╂							
あ	160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	164	鞍	杏								
い	164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	169	引	飲	淫	胤	蔭					
	170		院	陰	隠	韻	吋				
う	170							右	宇	烏	羽
	171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	173	云	運	雲							
え	173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	178								於	汚	甥
	179	凹	央	奥	往	応					
	180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か	182									下	化
	183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	189	恢	懐	戒	拐	改					
	190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額

次ページへつづく

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か	196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	199	噛	鴨	栢	茅	萱					
	200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	207	贋	雁	頑	顔	願					
き	207						企	伎	危	喜	器
	208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	209	旗	既	期	棋	棄					
	210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	219	禦	魚	亨	享	京					
	220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	226										九
	227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	229	串	櫛	釧	屑	屈					
	230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	232	郡									
け	232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	239	建	憲	懸	拳	捲					
	240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	243	絃	舷	言	諺	限					
こ	243						乎	個	古	呼	固
	244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	249	効	勾	厚	口	向					
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
こ	257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	259	忽	惚	骨	狛	込					
	260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	261										些
	262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	269	鮭	笹	匙	冊	刷					
	270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し	273								仕	仔	伺
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	279	字	寺	慈	持	時					
	280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	289	綬	需	囚	収	周					
	290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	299	恕	鋤	除	傷	償					
	300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	309	醸	錠	嘱	埴	飾					
	310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す	315									笥	諏
	316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉

付録（区点コード　一覧表）

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
す	319	椙	菅	頗	雀	裾					
	320		澄	摺	寸						
せ	320					世	瀬	畝	是	凄	制
	321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	329	煽	旋	穿	箭	線					
	330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	332	全	禅	繕	膳	糎					
そ	332						噌	塑	岨	措	曾
	333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	339	霜	騒	像	増	憎					
	340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た	343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	349	諾	茸	凧	蛸	只					
	350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	354	暖	檀	段	男	談					
ち	354						値	知	地	弛	恥
	355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	359	丁	兆	凋	喋	寵					
	360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363								津	墜	椎
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	366							亭	低	停	偵
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	369	艇	訂	諦	蹄	逓					
	370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
と	373									兎	吐
	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	379	答	筒	糖	統	到					
	380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	386	頓	呑	曇	鈍						
な	386					奈	那	内	乍	凪	薙
	387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	388	軟	難	汝							
に	388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	389	虹	廿	日	乳	入					
	390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ	390									濡	
ね	390										禰
	391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	392	粘									
の	392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	393	脳	膿	農	覗	蚤					
は	393						巴	把	播	覇	杷
	394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	399	爆	縛	莫	駁	麦					
	400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ	405										匪
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	409	枇	毘	琵	眉	美					
	410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	415	敏	瓶								
ふ	415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	419	伏	副	復	幅	服					
	420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	422							丙	併	兵	塀
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	426	鞭									

次ページへつづく

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ほ	426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	429	抱	捧	放	方	朋					
	430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	436	本	翻	凡	盆						
ま	436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	439	繭	麿	万	慢	満					
	440		漫	蔓							
み	440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む	441										務
	442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	442										冥
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も	444							摸	模	茂	妄
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	447	紋	門	匁							
や	447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	449	鑓									
ゆ	449		愉	愈	油	癒					
	450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	452										予
	453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	458									利	吏
	459	履	李	梨	理	璃					
	460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る	466	瑠	塁	涙	累	類					
れ	466						令	伶	例	冷	励
	467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	469	漣	煉	簾	練	聯					
	470		蓮	連	錬						
ろ	470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	473	肋	録	論							
わ	473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	475	碗	腕								

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
552	彝	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
706	聚	聟	聢	聯	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

必要なときは

操作早見表

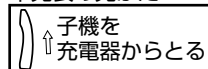
（親機）　＊受話器をのせたままで操作します。

早見表の見かた
受話器を親機からとる

操　作	手　順	参照ページ
回線種別を手動設定する	録音/戻る 機能 → 音量/選択 回して"電話回線"を選ぶ → 電話帳 決定 2回押す →（下へ続く） （続き）→ 音量/選択 回して回線種別を選ぶ → 電話帳 決定 → 再生/停止 ▶	P.21
電話をかける	受話器をとる →「ツー」音が聞こえたら → 電話番号	P.25
リダイヤルでかける	受話器をとる →「ツー」音が聞こえたら → 発信履歴 →	P.27
ハンズフリーでかける	ハンズフリー 発信 →「ツー」音が聞こえたら → 電話番号 → 相手が出たら、そのままハンズフリー通話する	P.30
保留する	外線通話中に 内線/文字 保留 ／ 通話に戻る（保留を解除する）には 内線/文字 保留	P.31
キャッチホンを受ける	外線通話中にキャッチホンの信号音（「プッ、プッ・・・」）が聞こえたら キャッチ 消去	P.31
内線通話する	内線/文字 保留 → 子機番号(1あ ～ 4た)のいずれか1つを押す → 子機が出たら話す	P.37
一斉呼出する（子機が2台以上のとき）	内線/文字 保留 → #記号 → 最初につながった子機と話す	P.39
留守セットする	留守 ／ 留守解除するには、留守セット中に 留守	P.44
用件を再生する	再生/停止 ▶ ／ 再生を止めるには 再生/停止 ▶	P.46～47
用件全消去	録音/戻る 機能 → 電話帳 決定 → 音量/選択 回して"用件全消去"を選ぶ → 電話帳 決定 → 再生/停止 ▶	P.48
特定番号を登録する	録音/戻る 機能 → 音量/選択 回して"ガード設定"を選ぶ → 電話帳 決定 → 音量/選択 回して"特定ガード"を選ぶ →（下へ続く） （続き）→ 電話帳 決定 2回押す → 市外局番から電話番号を入力する（最大20桁）→ 電話帳 決定 → 再生/停止 ▶	P.90～91

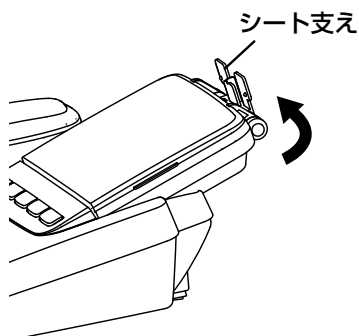
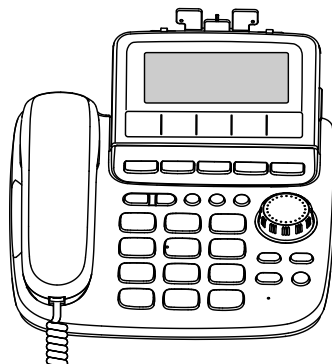
必要なとき

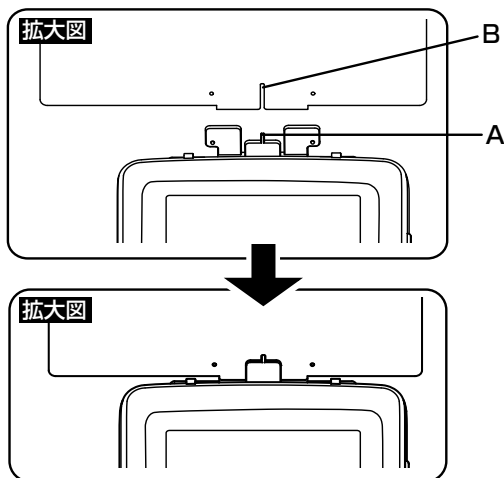
（子機）　＊ 切 を押してから操作します。

早見表の見かた
⇧子機を充電器からとる

操作	手順	参照ページ
電話をかける	⇧ または ☎ ➡「ツー」音が聞こえたら ➡ 電話番号	P.25
リダイヤルでかける	⇧ または ☎ ➡ 着信履歴 電話帳/決定 発信履歴 右を押す	P.27
ハンズフリーボタンでかける	ハンズフリー ➡「ツー」音が聞こえたら ➡ 電話番号 ➡ 相手がでたらそのままハンズフリー通話	P.30
保留する	外線通話中に 文字 内線/保留 ／通話に戻る（保留を解除する）には 文字 内線/保留	P.31
キャッチホンを受ける	外線通話中にキャッチホンの信号音（「プッ、プッ・・・」）が聞こえたら キャッチ 消去	P.31
内線通話する	文字 内線/保留 ➡ 子機が2台以上のときは 上または下を押して親機を選ぶ ➡ 電話帳/決定 ➡ 親機が出たら話す	P.38
子機間通話する（子機が2台以上のとき）	文字 内線/保留 ➡ 上または下を押して呼出したい子機を選ぶ ➡ 電話帳/決定 ➡ 子機が出たら話す	P.38
一斉呼出する（子機が2台以上のとき）	文字 内線/保留 ➡ #記号 ➡ 最初につながった親機または子機と話す	P.39
留守セットする／留守解除する	録音/戻る 機能 ➡ 下を1回押す ➡ 電話帳/決定 2回押す（下へ続く） （続き）➡ 上または下を押して“ON”または“OFF”を選ぶ ➡ 電話帳/決定 ➡ 切	P.45
用件を再生する	録音/戻る 機能 ➡ 電話帳/決定 2回押す ／ 再生を止めるには 切	P.46～47

操作案内シートの取り付け方

操作案内シートを親機に取り付けると、まかせて応答や受話音量などの操作方法を本機の近くに表しておくことができます。

❶ 図のようにシート支えを起こします。

❷ 親機を正面に向けます。

❸ ご覧になりたい操作案内シートの面を手前に向け、シートの溝（B）を下にし、両手で持ち、両方の親指でシートを押して内側にたわませ、シート支えの突起部（A）にシートの溝（B）を差し込みます。

次ページへつづく

ボタン操作を受け付けない、または以下の処置をしても正常に動作しない場合は、リセット操作を行なってください。（124ページ）

	症　状	原因と処置
電話をかけたり、受けたりできない（続く）	受話器をとっても「ツー」という音が聞こえない	●電話機コードと受話器コードの差し込みが、確実に接続されているか確認してください。（18ページ） ●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●ホームテレホンなどに接続すると、必要以上の電流などにより、故障・発熱・火災などの原因となることがあります。事前にホームテレホンのメーカー、または設置業者にお問い合わせください。 ●ISDN回線やADSLをご利用の場合、モデムやTAの接続・設定をご確認ください。 ➡くわしくは、ご利用の電話会社（またはモデムやTAのメーカー）などにご相談ください。 ●ファクシミリや他の機器などに接続のとき、その機器の接続や設定などが原因となる場合があります。原因と思われる機器のメーカーなどにご相談ください。 ➡【他の機器：セキュリティー機器、通信カラオケ、BSチューナー、CSチューナー、地上波デジタル用チューナー、CAT（キャットというカード会社の信用照会端末）など】 ●構内交換機（PBX）を利用していて、0（ゼロ）発信しても「ツー」という音が聞こえない。 ➡携帯通話プリセット機能を解除してください。または「0000」を押してからダイヤルしてください。（99ページ）
	電話をかけることができない	●回線種別（プッシュ／ダイヤル）を正しく設定してください。(21ページ) ➡ＩP電話をご利用の場合、発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990、186、184、122などをつけたときや、110、119、177、117などの番号にかけたときに、電話がかからない場合は、契約されている回線種別と電話機の回線設定が合っているかを確認し、手動で設定し直してください。それでもかけられないときは、ご契約のIP電話サービス事業者にお問い合わせください。 ➡ISDN回線をご利用の場合は、“プッシュ”に設定してください。 ●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。
	携帯電話にかけることができない	●以下の場合は携帯通話プリセット機能を解除してください。(24ページ)または「0000」を押してからダイヤルしてください。(99ページ) ➡ひかり電話や直収電話サービス（NTT東日本・NTT西日本を除く）をご利用の場合 ➡構内交換機（PBX）をご利用の場合、0（ゼロ）発信しても「ツー」という音が聞こえない ➡ＩP電話をご利用の場合（ＩP電話の発信を優先させる場合）
	電話をかけようとすると警告音が鳴ってかけることができない	●親機または子機が回線使用中のときや、ガード機能がはたらいているときは、電話をかけることができません。液晶画面が通常状態（15・17ページ）に戻ってから、電話をかけ直してください。
	電話をかけると違う相手とつながる	●前の相手との通話が終わり、電話を切ったあと、少し時間をおいてもう一度かけ直してください。
	電話をかけたとき相手につながるまで時間がかかる	●携帯通話プリセット機能（98〜103ページ）がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは事業者識別番号の付与判断を行なっているためです。故障ではありません。

故障かな？と思ったら

<table>
<tr><th colspan="2">症　状</th><th>原因と処置</th></tr>
<tr><td rowspan="5">電話をかけたり、受けたりできない（続き）</td><td>電話にでると時々切れたり、つながらないことがある</td><td>●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話機のナンバー・ディスプレイの設定を確認し、解除されている場合は、ナンバー・ディスプレイを設定してください。（78ページ）
➡ナンバー・ディスプレイの回線で電話機の設定を解除していると、かかってきた電話にでたとき「ジャー」という音が聞こえ、電話が切れてしまう場合があります。電話をかけてきた相手には、「ツー、ツー・・」という話中音が聞こえ、電話がつながらない状態になります。
➡INSナンバー・ディスプレイをご利用の場合、ナンバー・ディスプレイを解除していると、外から自宅に電話をかけたとき「…おかけになった電話番号には、お客様と通信できる機器が接続されていないか、または故障中と思われます。」などのガイダンスが流れます。</td></tr>
<tr><td>呼出音が1～2回鳴って切れる</td><td>●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。
●同じ回線で使用しているファクシミリ、モデム、ガス自動検針器、その他の通信機器が影響している場合があります。通信機器を外して症状がなくなる場合、原因と思われる通信機器のメーカーにお問い合わせください。
●NTTの転送サービスをご利用の場合、ナンバー・ディスプレイを解除してください。(78ページ)　お買い上げ時は設定されています。
➡転送サービスとナンバー・ディスプレイの併用はできません。くわしくは、NTT窓口(お客様サービス116番)へお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>呼出音が鳴らない</td><td>●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。
●ISDN回線やファクシミリやADSLモデムなどに接続している場合、それらの機器の設定や動作が原因で呼出音が鳴らないことがあります。くわしくは原因と思われる機器のメーカーまたはご利用サービスの会社にご相談ください。
●親機の液晶画面にガードの表示（ ガード 表示）があるときは、原因となる不要なガードを解除してください。（86～91ページ）
●呼出音量やタイマー呼出音量を消音に設定している場合、呼出音は鳴りません。消音を解除してください。（104～105・110～111ページ）</td></tr>
<tr><td>呼出音の鳴り出しが遅い</td><td>●TAに接続して、ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、TAと電話機との通信の相互作用で多少遅くなる場合があります。</td></tr>
<tr><td>呼出音の鳴り方が変わった</td><td>●親機に親機用ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。
➡外れていると親機の呼出音が小さく鈴虫のように鳴り、子機の呼出音は鳴りません。
●タイマー呼出音量を設定（110～111ページ）していると、タイマー時間帯になると子機の呼出音の音量が変わります。
●ナンバー・ディスプレイの回線では電話機のナンバー・ディスプレイを設定してください。（78ページ）
➡解除していると、呼出音が最初短く鳴ります。
●鳴り分けが設定されている相手と、そうでない相手では、呼出音が変わります。鳴り分けが不要な場合は解除してください。（84～85ページ）
●お知らせ着信を設定していると、親機の電話帳に登録していない相手からの電話のときは親機の呼出音が「ピーローピーロー…」となります。（88～89ページ）</td></tr>
</table>

次ページへつづく

<table>
<tr><th colspan="2">症　状</th><th>原因と処置</th></tr>
<tr><td rowspan="7">通話中での症状</td><td>通話の音声がとぎれたり割れたりして聞きとりにくい</td><td>●スプリッタ・TA設定を行なってご使用ください。（119ページ）
➡事務所など騒音の激しい場合や電話回線の事情により声が反響する場合、聞きとりにくいことがあります。</td></tr>
<tr><td>ハンズフリー通話（30ページ）のとき、音声がとぎれたり、割れたりして聞きとりにくい</td><td>●相手の話が終わったところで話すようにしてください。
➡相手と同時に話をすると会話の最初の部分がとぎれやすくなります。
●静かな場所でご利用ください。
➡周りの音（相手側、またはこちら側）が大きい場合、声がとぎれやすくなります。
●口もとからマイクまでの距離は約50cmを目安にしてください。
➡近すぎると、声が割れて相手に聞きとりにくくなります。</td></tr>
<tr><td>自分の声が
相手に聞こえない</td><td>●受話器や子機のマイクを指や顔などでふさがないでください。</td></tr>
<tr><td>雑音や異音が聞こえる</td><td>●ご契約の電話会社（NTTの場合、故障受付113番など）にお問い合わせください。
➡親機と子機間の内線通話に雑音が入らない場合は、電話機以外の要因と考えられます。
●ダイヤル回線をご利用の場合、ダイヤルすると「プツプツ・・」という音が聞こえます。故障ではありません。
●キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合、キャッチホンが入ると「ピポ」と聞こえ、電話番号データを受信するために数秒ほど無音の状態になります。（76～77ページ）</td></tr>
<tr><td>通話がとぎれたり、
雑音が入る</td><td>●雑音の原因となる他の機器から電話機を約3m以上離して設置してください。
➡他の電気製品、ACアダプター、充電器、モデム、TAなどの近くに電話機を設置すると、通話がとぎれたり、雑音が入ることがあります。（9ページ）</td></tr>
<tr><td>通話が反響して相手の声が聞きとりにくい</td><td>●スプリッタ・TA設定を行なってください。（119ページ）
改善しない場合は、ご利用の電話会社などにご相談ください。
●ファクシミリやADSLモデムやISDN機器などに接続している場合、それらの機器が原因で反響することがあります。くわしくは原因と思われる機器のメーカーまたはご利用サービスの会社などにご相談ください。（125～126ページ）</td></tr>
<tr><td>キャッチホンが切りかわらない</td><td>●TA、モデム、ホームテレホン、構内交換機（PBX）などが原因で、キャッチホンの切りかえができない場合があります。TA、モデム、ホームテレホン、構内交換機（PBX）などのメーカー、または設置業者へお問い合わせください。</td></tr>
</table>

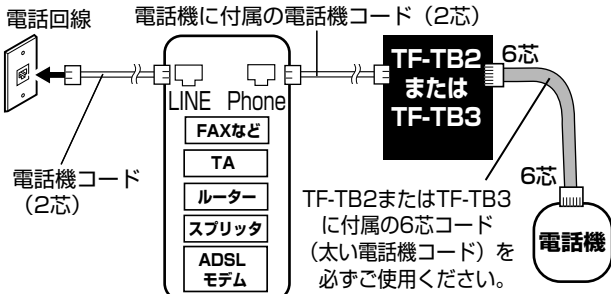
故障かな？と思ったら

	症　状	原因と処置
親機での症状	保留や留守番などの機能がはたらかない	●親機用ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。（18ページ）
	「ピピピ」と鳴り電話がかけられない	●子機が回線使用中のときは、親機から電話をかけることはできません。（「 回線使用中 」と表示されます。）子機の使用が終わってからかけ直してください。
	親機に名称を登録できない	●子機と違い、親機は通常状態で、画面全体に時計表示しているためできません。子機のみの機能です。（114～115ページ）
	壁掛けにすると受話器が滑り落ちる	●親機の受話器をひっかけるために、壁掛け用フックを差しかえてください。（122ページ）

	症　状	原因と処置
子機での症状（続く）	ボタン／ランプが反応／点灯しない	●親機用ACアダプター、充電器の電源プラグが正しく接続されているか確認してください。（18～19ページ）なお、停電などで親機の電源が入っていないときは、ご使用になれません。（124ページ） ●子機のリセット操作を行なってください。（124ページ） ●充電容量が少ないときは、充電し始めてから約10分くらいは、充電ランプは赤点灯しません。（20ページ） ●数週間充電をしないで放置された場合、約10時間以上充電しても、充電ランプが赤点灯しないことがあります。新しい充電池に交換し、充電してください。（118ページ）
	液晶画面に「親機サーチ中」（または「通話圏外」)と「 Y圏外 」が表示されて使えない	●親機に親機用ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。（18ページ）また、停電などで電源が入っていないときも、子機はご使用になれません。（124ページ） ●親機に近づいたり、場所を変えたりしてください。（12ページ） ●設置環境などノイズの影響で発生するケースは、故障ではありません。再度、[☎] を押すか親機をご使用ください。原因となる電気機器（携帯電話の充電器、ファクシミリ、ADSLモデムやISDN機器、AV／OA機器など）から親機や子機を離すことで軽減します。（9・126ページ）
	充電ができない、通話が切れる 充電器に置いても、液晶画面に何も表示されなかったり、充電ランプが消えている	●充電器の電源プラグが正しく接続されているか確認してください。（19ページ） ●充電ランプが赤点灯するまで約10分程度かかることがあります。 ➡約10分たっても点灯しない場合は、子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。（20ページ） ●数週間充電しないで放置すると、急速に充電池が消耗し、充電できなくなる場合があります。（20ページ） ➡新しい充電池に交換し、充電してください。（118ページ）
	充電器上で充電ランプが赤点灯のまま変わらない	●充電が完了しても充電ランプは赤点灯のまま変わりません。（19ページ） ➡充電中は子機や充電器が多少あたたかくなりますが異常ではありません。充電し続けても故障することはありません。（20ページ）
	充電器からとっても [☎] を押さないと通話状態にならない	●クイック通話を解除している場合は「ON」に設定してください。（114～115ページ）

次ページへつづく

	症　状	原因と処置
子機での症状（続き）	通話中に切れる	●子機の充電池が消耗している場合は、約10時間以上充電してください。それでも切れるときは新しい充電池に交換してください。（118ページ） ➡充電池交換の目安は約2年ですが、短い時間の通話と充電をくり返した場合、新しい充電池でも、一時的に充電容量が少なくなる場合があります。この場合は数日間充電をやめ、いったん充電容量を使いきること（ボタンを押しても反応がない状態）で解消します。あらためて約10時間以上充電してご使用ください。
	通話がひびく、とぎれる、雑音が聞こえる	●親機から離れすぎた場合など、声がとぎれたらすみやかに親機に近づいてください。（12ページ） ●2.4GHzの電波を使用する機器（無線LAN、ルーター、AV機器・防犯機器など）から親機や子機を約3m以上離してください。（10ページ） ●2.4GHzの無線LANなど電波干渉の影響があるときは、回避チャンネル設定をお試しください。（120ページ） ●電子レンジやADSLモデムやISDN機器、携帯電話の充電器などから、親機や子機を約3m以上離してください。（9・126ページ） ●1つの事務所内（部屋内）にデジタルコードレスホンを複数設置しないでください。（9ページ） ●同じ部屋の中でも電波の弱くなるところがあり、その位置で通話すると声がとぎれて聞きとりにくくなります。この場合は少し移動すると改善します。 ●建物の構造や壁の材質によって電波を通しにくい場合があり、症状の原因となります。 ➡特に金属の構造物、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラスなどは電波を通しません。（12ページ）
	増設した子機が使えない	●登録操作に失敗していると、ご使用になれません。もう一度、「増設子機の登録」を行なうとご使用になれます。（116ページ） ●登録操作中は、親機や子機を使用しないでください。（116ページ）

	症　状	原因と処置
留守番機能（続く）	留守ランプが赤点滅している	●まだ聞いていない録音内容をすべて再生してください。(46～47ページ)
	留守セットができない	●「設定できません。録音がいっぱい・・・」と聞こえるときは、録音内容をすべて聞いたあと消去してください。(46～47・48ページ)
	留守セット中の呼出音や留守応答中の相手の声が小さい、または聞こえない	●録音中の相手の声が小さいときは、スピーカー音量を大きくしてください。(107ページ) ●呼出音量が消音に設定されているときは呼出音や相手の声は聞こえません。消音を解除してください。(104～105ページ)
	用件再生中の相手の音声が小さい	●スピーカー音量を大きくしてください。(107ページ)
	「ツー・・」という音しか録音されていない	●録音のはじめで相手が電話を切ったとき「ツー・・」という音が録音されることがあります。
	用件が録音されていない／応答メッセージが変わった	●録音の残り時間がなくなったときや、録音件数が59件に達したときは、自動的に固定応答専用メッセージに切りかわります。用件は録音されません。不要な用件は、消去してください。（48ページ）
	応答メッセージが流れない	●小さい声または音で自作メッセージが録音されていると思われますので、録音し直してください。（50～51ページ） ●同じ回線に接続した他の機器が先に電話を受けてしまう場合、本機は留守応答できませんので、本機が先につながるようにしてください。 ➡本機の留守応答の呼出回数を2回など少ない回数に設定すると、先につながる場合があります。（49ページ）

	症　状	原因と処置
留守番機能（続き）	留守セットしていないのに応答する	●暗証番号を登録すると呼出音の約15回目に自動的に留守応答します。暗証番号を消去すると、この動作は行ないません。（56ページ） ●各種ガード（非通知・公衆電話・表示圏外・特定番号）を設定しているときは、ガードメッセージを流し、自動的に電話を切ります。ガード応答させたくないときは、設定されているガード内容を確認し不要なものを解除してください。（86〜91ページ）
	留守番につながる呼出音の回数が変わってしまう	●呼出回数が「トールセーバ」に設定されています。 ➡呼出回数を変えてください。（49・56ページ）
	リモコン操作ができない	●あらかじめ暗証番号を登録してください。（54ページ） ●暗証番号や操作するボタンを押し間違えていませんか。 ●プッシュホンまたはトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出せる電話機から操作してください。（55ページ） ●公衆電話から操作していますか。ボタンをゆっくり押してください。 ●周囲に音楽などの流れていない状況で、応答メッセージが流れてから約30秒内に約8秒以内の入力間隔で暗証番号をゆっくり長めに押してください。それでも操作できない場合は、短めに押してください。（55ページ）

	症　状	原因と処置
ナンバー・ディスプレイ（続く）	かけてきた相手の電話番号などが表示されない	●NTTへナンバー・ディスプレイのお申し込みが必要です。くわしくはNTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合わせください。契約後、本機のナンバー・ディスプレイを設定してください。（78ページ） ●同じ回線には、ナンバー・ディスプレイ表示器や、他の併用の電話機やファクシミリや、ホームテレホンなどを接続しないでください。（77ページ） ●同じ回線に他の機器（ISDNのTA／ルーター、ADSLモデム／スプリッタ、セキュリティー機器、通信カラオケ、BSチューナー、CSチューナー、CAT（キャットというカード会社の信用照会端末））などが接続されている場合、それらの機器が原因で、ナンバー・ディスプレイがはたらかない場合や電話がつながらない場合があります。くわしくは原因と思われる機器のメーカー、または関連のサービス会社などにご相談ください。（77ページ） ➡ISDN回線でご使用のTAが旧バージョンの場合に、ファームウエアを最新バージョンに変更すると改善する場合があります。 ➡TAがナンバー・ディスプレイ対応機種でなければ表示できません。 ➡TA側の設定（電話機を接続するアナログポートでナンバー・ディスプレイを使用する）が必要です。設定方法はTAに付属の取扱説明書をご覧ください。 ➡ADSLをご利用の場合は、スプリッタやモデムなどを外し、電話機を回線に直接つないだ状態でナンバー・ディスプレイが表示される場合、スプリッタやモデムなどの原因と考えられます。 ●ホームテレホン、構内交換機（PBX）に接続した場合、ナンバー・ディスプレイはご利用になれません。（77ページ） ●マンション独自の電話設備の関係でナンバー・ディスプレイがはたらかない場合があります。マンションの管理会社などにお問い合わせください。
	電話帳に登録している相手の名前が正しく表示されない	●電話帳に電話番号を登録するときは、同一市内でも必ず、市外局番から登録してください。また、同一の電話番号を別の名前などで複数登録しないでください。（58〜59ページ）

次ページへつづく

症　状		原因と処置
ナンバー・ディスプレイ（続き）	キャッチホンの電話番号が表示されない	●NTTの「ナンバー・ディスプレイ」・「キャッチホン・ディスプレイ」・「キャッチホン」の3つのサービスへのご契約が必要です。さらに電話機のキャッチホン・ディスプレイの設定を行なってください。（78ページ）設定操作を行なっても、キャッチホン・ディスプレイの契約をしていないと、相手の電話番号は表示されません。 ●通話中の子機が、一度親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所に移動したあと（「圏外」表示）、「圏外」が消える場所まで移動した場合は、通話に戻ることはできますが、通話を終えるまで、キャッチホンの電話番号は表示されません。（故障ではありません。）通話を終えると、正常な表示や動作に戻ります。
	携帯電話の番号は表示するが一般電話からの番号は「表示圏外」になる	● ISDN回線をご利用のときは、INSナンバー・ディスプレイの申込が必要です。NTT窓口(お客様サービス116番)にお問い合わせください。
	電話をかけた相手に「非通知」と表示されてしまう	●お客様の回線が通常非通知（回線ごと非通知）の場合は、電話番号の前に186を付けてダイヤルしてください。その通話に限り電話番号を通知します。（78ページ） ➡通常通知に変更の場合は、NTT窓口(お客様サービス116番）にお問い合わせください。 ●ＩＰ電話をご利用の場合には、相手もＩＰ電話のときや、相手が携帯電話・PHSのときは、相手に非通知と表示される場合があります。くわしくはＩＰ電話の提供元（プロバイダーなど）にお問い合わせください。（126ページ） ●ISDN回線をご利用のときは、TAの設定を「通知」に変更してください。くわしくは、TAのメーカーへお問い合わせください。
	ガード機能がはたらかない	●キャッチホン・ディスプレイをご契約していても、キャッチホンでかかってきたときは、ガード機能（非通知・公衆電話・表示圏外・限定着信・特定番号）がはたらきません。（86ページ）

故障かな？と思ったら

	症　状	原因と処置
ドアホンに接続したとき	呼出や話ができない ・回線にファクシミリなど他の機器を接続したらドアホンが使えなくなった。 ・ISDNを利用したらドアホンが使えなくなった。 ・ひかり電話、またはADSLのＩＰ電話を利用したらドアホンが使えなくなった。	●ドアホンターミナルボックス（TF-TB2またはTF-TB3）と電話機の間には、ファクシミリ／TA／ルーターなどの機器を接続しないでください。接続の順番は下記のイメージ図を参照してください。 電話回線 / 電話機に付属の電話機コード（2芯） / LINE / Phone / FAXなど / TA / ルーター / スプリッタ / ADSLモデム / TF-TB2またはTF-TB3 / 6芯 / 6芯 / 電話機 / 電話機コード（2芯） / TF-TB2またはTF-TB3に付属の6芯コード（太い電話機コード）を必ずご使用ください。
	ドアホンから「ピンポン」と聞こえても、電話機は鳴らず、話もできない	●電話機とドアホンターミナルボックスを接続する電話機コードは、必ず6芯コード（ドアホンターミナルボックスに付属の太い電話機コード）をご使用ください。2芯コードはご使用になれません。
	ドアホンターミナルボックスのTF-TB1をTF-TB2に変えたらドアホン通話ができない	●TF-TB2 と電話機を接続する 6 芯コード（太い電話機コード）は、TF-TB2 に付属のもの（白：プラグ反転型）を必ずご使用ください。TF-TB1 に付属のもの（黒：プラグ非反転型）はご使用になれません。
	ドアホンから聞こえる声が小さい	●ドアホンターミナルボックスの裏面にある受話音量の調節スイッチを、TF-TB2の場合は小⇒大に、TF-TB3の場合は中⇒大に切りかえてください。くわしくは、TF-TB2、TF-TB3に付属の取扱説明書をご覧ください。
	電話機から聞こえるドアホンの相手の声が小さい	●ドアホンターミナルボックスの裏面にある送話音量の調節スイッチを、TF-TB2の場合は小⇒大に、TF-TB3の場合は中⇒大に切りかえてください。くわしくは、TF-TB2、TF-TB3に付属の取扱説明書をご覧ください。
	ドアホンの呼出音が鳴っているのにドアホンに応答することができない	●親機または子機が外線・内線・ドアホン通話中の場合、ドアホンに出ることはできません。通話を終わらせてから、ドアホンに応答してください。（97 ページ）
	ドアホンの応答を終了してもドアホン側の呼出音が鳴る	●ドアホンの呼出音が鳴っているときに応答し、すぐに受話器や子機を戻すとドアホン側の呼出音が鳴ることがあります。（故障ではありません。）

	症　状	原因と処置
その他	ACアダプターが少し熱い	●ACアダプターは多少の熱を発します。（18ページ）夏場の室温上昇で触って熱いと感じられる場合もありますが、非常に熱くなったときは、ACアダプターをコンセントから抜き、弊社お客様相談室（151ページ）へお問い合わせください。

次ページへつづく

警告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐにACアダプターまたは電源プラグをコンセントから抜き、内部などを開けずに煙が出なくなるのを確認して修理窓口または販売店に修理をご依頼ください。特に、電話機が異常に熱くなっている場合は、やけどの危険性がありますので、絶対に触らないでください。お客様による修理、確認などは危険ですので、絶対におやめください。

保証書（本書の裏表紙）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です。

本機の保証は持込修理となっています。**出張修理や引取修理をご希望の場合は保証期間内でも出張料金や配送料金が別途必要となります**。あらかじめご了承願います。
保証期間中および保証期間後を問わず何らかの原因により各種の登録、設定、録音内容が損なわれた場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承願います。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書に記載の当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期限

本機の補修用性能部品は製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談、ご質問

お買い求めの販売店へご依頼ください。転居されたり、ご贈答品などで販売店へ修理の依頼ができない場合は、修理受付窓口（151ページ）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」（141～148ページ）を参考に調べていただき、なお異常があるときは、必ずACアダプターや電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または修理窓口に修理をご依頼ください。お持込みになる場合や引取修理の場合は、必ず親機・子機・充電器・ACアダプターを一緒にして修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときは、下記の事項を確認してください。

1 品名、機種（システム名）
（例：コードレス留守番電話機　TF-EV550D/EV553D/EV554D）
2 故障の内容
（どのような症状か・どんなときに症状がでるか・いつもでるか・時々なのか）
3 お買い上げ年月日（○年○月○日）
4 お名前、ご住所、ご連絡先電話番号

保証書とアフターサービスについて

持込修理について

本機の保証は「持込修理」扱いです

お買い求めの販売店にお持込みください。
弊社へご依頼のときは、お近くの修理窓口（サービス拠点）へ直接お持込みください。
（152～153ページ）

引取修理について

配送料金（保証適用外）が別途かかります。
当社指定の宅配業者が修理品の回収、お届けを行ないます。修理期間の代替機の用意はできません。

出張修理について

サービスステーションからの距離に応じて出張料金（保証適用外）が別途かかります。
当社のサービスマンが訪問して修理いたします。

愛情点検

長年ご使用の電話機の点検を！

このような症状はありませんか
- ACアダプターや電源プラグやコードが異常に熱くなる。
- ACアダプターや電源プラグやコードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、煙、臭いがする。

すぐに使用を中止し、ACアダプターまたは電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため、必ず販売店にご相談ください。

お客様相談窓口・修理窓口

次ページへつづく

修理、取り付け、他の製品との接続などに関してはお買い求めの販売店へお問い合わせください。
お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合はパイオニア修理受付窓口へお問い合わせください。
＊番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします。

操作・取扱のお問い合わせや、故障か判断に迷われたときは

【お客様相談室】

東日本地区（埼玉県所沢市）
☎04ー2949ー5131

西日本地区（大阪市）
☎06ー6533ー0099

専用FAX：04ー2949ー5501

受付　月曜～金曜　9：30～17：30（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

＜下記窓口へのお問い合わせ時のご注意＞
「0120」で始まるフリーコールおよびフリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので、発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

修理（出張修理、引取修理）のご依頼、お問い合わせは

【パイオニア修理受付窓口】

＊修理の受付のみお受けいたします。本機の操作・設定・故障か判断に迷われたときは「お客様相談室」にご相談ください。

※沖縄県の方は、沖縄サービス認定店でお受けします。（153ページ）
ご希望により出張修理、引取修理も承ります。
保証期間内でも出張料金、配送料金はお客様のご負担となります。

TEL：フリーコール 0120ー5ー81028（ゴーパイオニア）　一般電話：044ー572ー8100
FAX：フリーコール 0120ー5ー81029

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

部品（付属品、取扱説明書など）のご購入については

【パイオニア部品受注センター】

TEL：フリーコール 0120ー5ー81095　一般電話：044ー572ー8107
FAX：フリーコール 0120ー5ー81096

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■上記の電話番号・受付時間などは、変更する場合がありますのでご了承ください。（平成23年7月現在）

さくいん

アルファベット順

50音順

【あ行】

【か行】

【さ行】

【た行】

【な行】

【は行】

【ま行】

【や行】

【ら行】

【わ行】

Pioneer　# 保証書　持込修理

品　名	コードレス留守番電話機	システム名	TF-EV550D TF-EV553D TF-EV554D
保証対象	本　　体	保証期間	（お買い上げ日より）**1年間**
※お買い上げ日	年　月　日		
※お客様 お名前	様	ご住所 電話番号	（　　）
※販売店	店名・住所・電話番号		

SAMPLE

※印欄は必ずご記入ください。

<無料修理規定>

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または修理窓口が無料修理いたします。
2.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご持参ください。その際には本書をご提示ください。
3.ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合や、お近くの修理窓口がない場合は、修理受付窓口へご相談ください。
4.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　（イ）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
　（ロ）お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、冠水等による故障および損傷
　（ハ）火災、地震、水害、**落雷**その他の天災地変、公害、塩害、虫害、**異常電圧**などによる事故および損傷
　（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用への長時間使用、車両・船舶への搭載等）
　（ホ）消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
　（ヘ）本書の提示がない場合
　（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
　（チ）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
　（リ）出張修理をご希望されたときの出張費用、引取修理をご希望の場合の引取・お届けの配送費用
5.本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

（修理メモ）

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中および経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口・修理窓口にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後5年間保有しています。

パイオニアコミュニケーションズ株式会社
〒359－1167　埼玉県所沢市林2－70－1